

Prominy Sound Library ▶▶

# LPC

Electric Distortion & Clean Guitar

ユーザーマニュアル

# 目次

目次	2
ライセンス - 使用規約	8
イントロダクション	9
必要環境	12
[重要] DFD 設定について	13
SPM (Super Performance Multi)	14
SPMの機能	15
- メイン・インストゥルメント	16
キー・スイッチ	16
リリース・タイム・アジャストメント	17
オート・オルタネーション (ストローク自動検出)	17
トーン・コントロール	18
ハイ・ベロシティ・スレッショルド・レベル	18
オート・サスティン	19
optionボタン	19
プレイ・キー (ホールド・キーおよびストップ・キー)	20
backボタン	20
- ハイ・ベロシティ・インストゥルメント	21
キー・スイッチ・レンジおよびベロシティ・スレッショルド・レベル	21
- リリース・インストゥルメント	22
プレイ・キー (ホールド・キーおよびストップ・キー)	22
キー・スイッチ・レンジ	22
- LPC Super Performance Monitor	23
SPM - マルチ	24
マルチ: LPC_SPM	25
マルチ: LPC_all_chords	31
SPM - インストゥルメント	33
インストゥルメント: 4th_legato_slide	34
インストゥルメント: 4th_repetition	35
インストゥルメント: 5th_legato_slide	36
インストゥルメント: 5th_repetition	37
インストゥルメント: 5th_velocity_switch	37
インストゥルメント: single_hammer_on_pull_off	38
インストゥルメント: single_legato_slide	39
インストゥルメント: single_vibrato	40
インストゥルメント: single_note_RR	40
インストゥルメント: single_repetition	41
インストゥルメント: Scrape	41
インストゥルメント: tremolo_picking	42
インストゥルメント: trill_half	42
インストゥルメント: trill_whole	42
インストゥルメント: unison_bend	43

インストゥルメント: picking_harmonic_hi_velo .....	43
インストゥルメント: bridge_mute_noise_rel .....	44
インストゥルメント: fret_noise_rel .....	44
インストゥルメント: pick_stop_noise_rel .....	44
<b>追加SPMインストゥルメント - chords -</b> .....	<b>45</b>
インストゥルメント: 01_139_major_6rt .....	46
インストゥルメント: 02_139_major_5rt .....	46
インストゥルメント: 03_140_minor_1rt .....	46
インストゥルメント: 04_140_minor_3rt .....	46
インストゥルメント: 05_141_7th_6rt .....	47
インストゥルメント: 06_141_7th_5rt .....	47
インストゥルメント: 07_142_m7_6rt .....	47
インストゥルメント: 08_142_m7_5rt .....	47
インストゥルメント: 09_143_maj7_6rt .....	48
インストゥルメント: 10_143_maj7_5rt .....	48
インストゥルメント: 11_144_add9 .....	48
インストゥルメント: 12_145_7th_9th .....	49
インストゥルメント: 13_146_maj7th_9th .....	49
インストゥルメント: 14_159_m9 .....	50
インストゥルメント: 15_147_sus4_6rt .....	50
インストゥルメント: 16_147_sus4_5rt .....	50
インストゥルメント: 17_154_major3rd_vib .....	51
インストゥルメント: 18_148_dim7_6rt .....	51
インストゥルメント: 19_148_dim7_5rt .....	51
インストゥルメント: 20_156_sharp9 .....	52
インストゥルメント: 21_155_opn_chord .....	52
インストゥルメント: 22_158_other_chords .....	55
<b>Normal インストゥルメント</b> .....	<b>58</b>
<b>Single note (シングル・ノート)</b> .....	<b>59</b>
001_single_sustain .....	59
003_single_staccato .....	59
004_single_slide_down_1fret ~ 027_single_slide_up_12fret .....	60
028_single_mute .....	60
031_single_trill .....	60
032_single_hammer_on .....	60
033_single_pull_off .....	60
034_single_picking_harmonics .....	61
035_single_bend .....	61
036_s_bend_pick_harm .....	61
126_tremolo_picking .....	61
<b>5th-dyad chord (5度コード)</b> .....	<b>62</b>
037_5th_sustain .....	62
040_5th_slide_down_1fret ~ 063_5th_slide_up_12fret .....	62
064_5th_mute .....	62

065_5th_gliss_down	63
4th-dyad chord (4度コード)	64
071_4th_sustain	64
074_4th_slide_down_1fret ~ 088_4th_slide_up_3fret	65
098_4th_mute	65
Octave (オクターブ)	66
101_octave_sustain	66
102_octave_slide_down_1fret ~ 125_octave_slide_up_12fret	66
Noise, Special FX (ノイズ・効果音その他)	67
127_single_picking_noise	67
128_5th_picking_noise	67
129_4th_picking_noise	67
130_brush_noise	67
133_fret_noise	68
135_other_noise	68
153_pick_stop_noise	68
157_crunch_brush_noise	68
Additional bend techniques (その他のチョーキング)	69
136_unison_bend	69
137_stationary_bend	69
138_double_bend	69
Various Chords (色々なコード)	70
139_major	70
140_minor	70
141_7th	71
142_m7	71
143_maj7th	71
144_add9	72
145_7th_9th	72
146_maj7th_9th	72
147_sus4	73
148_dim7	73
154_major3rd_vibrato	73
155_open_chords	74
156_#9	76
158_other_chords	76
159_m7(9)	79
マッピングおよびキー・レンジ	80
Single note (シングル・ノート)	81
001_single_sustain	81
003_single_staccato	81
028_single_mute	81
004_single_slide_down_1fret	82
005_single_slide_down_2fret	82

006_single_slide_down_3fret	82
007_single_slide_down_4fret	83
008_single_slide_down_5fret	83
009_single_slide_down_6fret	83
010_single_slide_down_7fret	84
011_single_slide_down_8fret	84
012_single_slide_down_9fret	84
013_single_slide_down_10fret	85
014_single_slide_down_11fret	85
015_single_slide_down_12fret	85
016_single_slide_up_1fret	86
017_single_slide_up_2fret	86
018_single_slide_up_3fret	86
019_single_slide_up_4fret	87
020_single_slide_up_5fret	87
021_single_slide_up_6fret	87
022_single_slide_up_7fret	88
023_single_slide_up_8fret	88
024_single_slide_up_9fret	88
025_single_slide_up_10fret	89
026_single_slide_up_11fret	89
027_single_slide_up_12fret	89
031_single_trill	90
032_single_hammer_on	92
033_single_pull_off	93
034_single_picking_harmonics	94
035_single_bend	95
036_s_bend_pick_harm	95
126_tremolo_picking	95
5th-dyad chord (5度コード)	96
037_5th_sustain	96
040_5th_slide_down_1fret	97
041_5th_slide_down_2fret	97
042_5th_slide_down_3fret	97
043_5th_slide_down_4fret	98
044_5th_slide_down_5fret	98
045_5th_slide_down_6fret	98
046_5th_slide_down_7fret	99
047_5th_slide_down_8fret	99
048_5th_slide_down_9fret	99
049_5th_slide_down_10fret	100
050_5th_slide_down_11fret	100
051_5th_slide_down_12fret	100
052_5th_slide_up_1fret	101

053_5th_slide_up_2fret	101
054_5th_slide_up_3fret	101
055_5th_slide_up_4fret	102
056_5th_slide_up_5fret	102
057_5th_slide_up_6fret	102
058_5th_slide_up_7fret	103
059_5th_slide_up_8fret	103
060_5th_slide_up_9fret	103
061_5th_slide_up_10fret	104
062_5th_slide_up_11fret	104
063_5th_slide_up_12fret	104
064_5th_mute	105
065_5th_gliss_down	106
4th-dyad chord (4度コード)	107
071_4th_sustain	107
098_4th_mute	107
074_4th_slide_down_1fret	109
075_4th_slide_down_2fret	110
076_4th_slide_down_3fret	111
086_4th_slide_up_1fret	112
087_4th_slide_up_2fret	113
088_4th_slide_up_3fret	114
Octave (オクターブ)	115
101_octave_sustain	115
102_octave_slide_down_1fret	116
103_octave_slide_down_2fret	116
104_octave_slide_down_3fret	116
105_octave_slide_down_4fret	116
106_octave_slide_down_5fret	117
107_octave_slide_down_6fret	117
108_octave_slide_down_7fret	117
109_octave_slide_down_8fret	117
110_octave_slide_down_9fret	118
111_octave_slide_down_10fret	118
112_octave_slide_down_11fret	118
113_octave_slide_down_12fret	118
114_octave_slide_up_1fret	119
115_octave_slide_up_2fret	119
116_octave_slide_up_3fret	119
117_octave_slide_up_4fret	119
118_octave_slide_up_5fret	120
119_octave_slide_up_6fret	120
120_octave_slide_up_7fret	120
121_octave_slide_up_8fret	120

122_octave_slide_up_9fret	121
123_octave_slide_up_10fret	121
124_octave_slide_up_11fret	121
125_octave_slide_up_12fret	121
Noise, Special FX (ノイズ・効果音その他)	122
127_single_picking_noise	122
128_5th_picking_noise	123
129_4th_picking_noise	124
130_brush_noise	125
133_fret_noise	125
135_other_noise	128
153_pick_stop_noise	130
157_crunch_brush_noise	130
Additional bend techniques (その他のチョーキング)	131
136_unison_bend	131
137_stationary_bend	132
138_double_bend	132
Various Chords (色々なコード)	133
139_major	133
140_minor	133
141_7th	133
142_m7	134
143_maj7th	135
144_add9	135
145_7th_9th	135
146_maj7th_9th	136
147_sus4	136
148_dim7	137
154_major3rd_vibrato	137
155_open_chords	138
156_#9	138
158_other_chords	139
159_m7(9)	139
Credits	140

## ライセンス - 使用規約

すべてのサンプル、ファイル、データは Prominy の所有です。製品の購入者は、本使用規約に同意し、かつ音楽演奏および製作または映像に関連する音楽制作における使用を目的とした前提により、製品を使用するライセンス（使用許可権）を Prominy より与えられます。

このライセンスは本製品のデータを編集加工する、しないにかかわらず再販することを固く禁止します。またこのライセンス第三者に有料、無料にかかわらず転売または譲渡することも禁止します。またいかなる媒体（本製品がインストールされたコンピュータ、ハードディスク、DVD/CD ディスク、ブルーレイディスクなどのあらゆる媒体）を介しての再販または譲渡も禁止します。

この製品を第三者から転売または譲渡を受けた者は Prominy によるサポートを受ける権利は一切持たないものとします。Prominy は転売または譲渡された製品のユーザー登録は受け付けません。転売を行った時点で元の所有者のライセンスは消滅し、ライセンスに関連する一切の権利は直ちに失効します。

本製品のインストールおよび本製品に含まれるデータの使用に起因するいかなる問題もすべて使用者の責任において処理されるものとし、Prominy はそれに関し一切の責任を負わないものとします。

（この使用規約は予告なしに変更される場合があります）

Copyright © 2004-2009 Prominy All rights reserved.  
All sounds created by and property of Prominy

## イントロダクション

### LPC エレクトリック・ギター

約150,000サンプル（約60GB\*）に及ぶ、Gibson® Les Paul™ Custom のパワフルかつ繊細なサウンド

#### 1. 究極のリアルタイム操作性・柔軟性 - LPC SPM (Super Performance Multi)

LPC SPM (Super Performance Multi) インストゥルメントはリアルタイム演奏時にいまだかつて無い素晴らしいリアルなギターサウンドを提供します。ギタリストが行う様々な奏法（以下参照）に、演奏をストップすること無く瞬時にアクセスすることが可能です。

##### ●シングル・ノート

リアルタイム・レガート・スライド  
リアルタイム・ハンマリング&プリング  
ビブラート (deep fast, light fast, deep slow, light slow)  
ミュートおよびピッキング・ノイズ  
トレモロ  
トリル  
ピッキング・ハーモニクス

##### ●5thコード

リアルタイム・レガート・スライド  
ビブラート  
ミュートおよびピッキング・ノイズ

##### ●4thコード

リアルタイム・レガート・スライド  
ビブラート  
ミュートおよびピッキング・ノイズ

##### ●様々なコード（リアル・コード）

- major, minor, 7th, m7, major7, add9, 7<sup>(9)</sup>, major7<sup>(9)</sup>, sus4, dim7, #9, minor9, major3rd, オープンコード、他

##### ●その他

ユニゾン・チョーキング (Unison bend)  
スクラッチ (scrape)  
フレット・ノイズ  
ピック・ストップ・ノイズ  
ブリッジ・ミュート・ノイズ

#### 2. ストローク自動検出 (Auto Stroke Detection)

SPMのプログラムがテンポおよび現在の拍子位置を自動的に検出し、自動的に最適なストローク方向（ダウン・ストロークまたはアップ・ストローク）を決定します。また、強制オルタネート、強制ダウン・ストローク、強制アップ・ストロークなどのモードも選択可能です。MIDIコントロールチェンジによりモードを曲の途中で変更することも可能です。）

### 3. リアル・コード

LPGには本物のコード・サンプルを使用した様々なコードが収録されています。

他社製品の多くは、シングル・ノートのサンプルを演奏時にプログラムで組み合わせて鳴らしているので、ギター特有の「コード」サウンドとは違うものになり、やはり単バラバラの音を組み合わせて鳴らしている感じがしてしまいます。特に、エレクトリック・ギターにおいてはその違いは顕著に現れます。

LPGには実際に演奏された膨大な数のコード・サンプルが収録されており、Prominy独自のプログラミングによりそれらを容易に演奏することが可能です。コードの音を出した瞬間、それがすぐに単音サンプルの積み重ねではなく、「本物のコードの響き」であるとわかります。

- major, minor, 7h, m7, major7, add9, 7<sup>(9)</sup>, major7<sup>(9)</sup>, sus4t dim7, #9, m9, major3rd (ビブラートあり・なし、ピッキング・ハーモニクス付き・なし), open chordsなど。

これらはすべてSPMインストゥルメントとして他のすべてのSPMインストゥルメントに組み合わせて使用でき、様々なギター・コードに瞬時に切り換えて演奏できます。先述の ストローク方向自動検出機能 (Auto Stroke Detection) により、SPMのプログラムがテンポおよび現在の拍子位置を自動的に検出し、自動的に最適なストローク方向 (ダウン・ストロークまたはアップ・ストローク) を決定します。

### 4. アサインブル・キー・スイッチ

すべてのSPM用インストゥルメントはユーザーが任意のキー・スイッチをアサインすることが可能です。頻繁に使用する奏法を一番押しやすいキーに割り当てるなど、様々な状況に合わせた最適なセッティングを作ることができます。SPMのカスタマイズは自由です。好きなSPM用インストゥルメントを組み合わせ、それぞれに任意のキー・スイッチをアサインし、独自のSPMのセッティングを構築することができます。

### 5. リアルタイム・レガート・スライド

実際のギターで演奏されたレガート・スライドが録音された本物のレガートスライド・サンプルを使用したリアルタイム・レガート・スライドにより、他社製品に見られるピッチ変換 (ポルタメント) による擬似レガート・スライドでは到底実現出来ないリアルなレガート・スライドをリアルタイム演奏で行うことができます。

フレット上を指が移動し、弦をこすりながら音程が変化するギター独特のサウンドを忠実に再現します。リアルタイム・レガート・スライドは、シングル・ノート、5thコード、4thコード、オクターブ奏法に用意されています。

## 6. ピッキング・ノイズも複数のフォームで全ての弦、全てのフレットを収録

リアルなギタートラックを作る上で、ピッキング・ノイズをはじめとするさまざまなノイズは非常に重要な役割を果たします。一般的なギターライブラリにおいて、ピッキング・ノイズは非常に少ない収録数なので、ピッキング・ノイズをギター・パートに加える時に本来のポジションをは違うピッキング・ノイズ使用しなければならず、そのためサスティンのサウンドとピッキング・ノイズの音の間に違和感が生じるという問題がありました。様々な抑え方のピッキング・ノイズを全てのポジションで収録しているこのライブラリでは、サスティンのサウンドとピッキング・ノイズの間における違和感の無い、リアルなギタートラックの作成を実現します。正しいポジションのピッキング・ノイズを正しいタイミングで入れる事が、シーケンサー上でリアルなギタートラックを作る重要な鍵となります。

## 7. Marshall アンプによるディストーションサウンドとクリーンサウンド\*

完成された極上のディストーションサウンドとアンプシミュレータ等を通して幅広い音作りが可能なクリーンサウンド

\* LPC Electric Distortion & Clean Guitar

### 録音機材:

#### Clean

Microphone: AKG® C414 B-ULS,

Amplifier: Marshall® Power Amp Model 9005

#### Distortion

Microphone: ElectroVoice® RE20 and a Shure SM57

Amplifier: Marshall® 1959SLP

Guitar Strings: D'addario® XL

Pick: PICKBOY® Carbon Nylon 14mm

## 12. その他の特徴

- ・ 単一楽器としては世界でもっとも大きなヴァーチャル・インストゥルメント  
膨大な波形収録数および奏法バリエーションによる圧倒的な表現力
- ・ 全ての弦、全てのフレットを音を余すところ無く収録（一部奏法を除く）、ハイポジションでの演奏の再現も可能
- ・ 単音、5度コード、4度コード、オクターブ奏法、ビブラート、チョーキング、ユニゾン・チョーキング、ステーションナリー・チョーキング、ダブル・チョーキング、レガート・スライド、ピッキング・ハーモニクス、様々なコード、ピッキング・ノイズ、スクラッチ、など

## 必要環境

Mac:

OS 10.4.x, G4 1.4 GHz or Intel® Core™ Duo 1.66 GHz, 1 GB RAM

Win:

Windows XP or Windows Vista (32 bit), Pentium or Athlon 1.4 GHz, 1 GB RAM

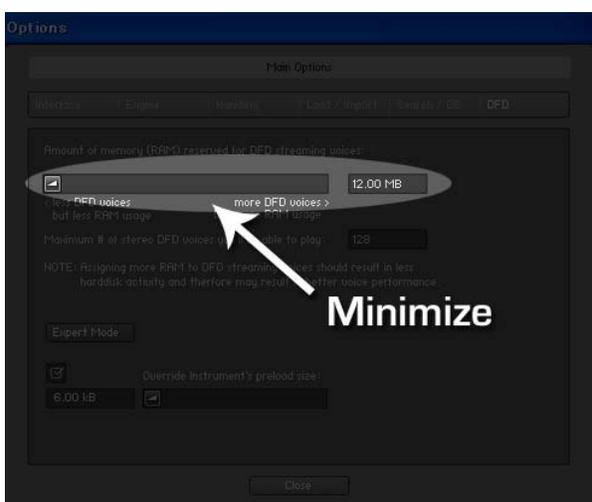
70 GB のハードディスク空容量, DVDドライブ

Native Instruments Kontakt 2 / 3

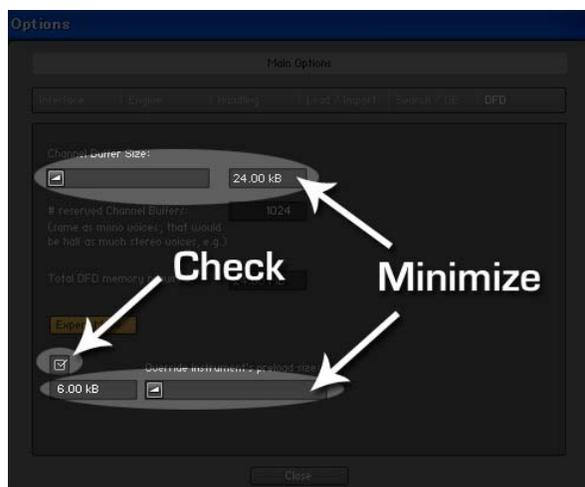
## [重要] DFD 設定について

ロードする前に Kontakt3 の DFD 設定を確認してください。

LPCエレクトリック・ギターはロードの際に非常に数多くのサンプル読み込むので、Kontakt3のDFDの設定を適切な値にすることをお勧めします。Kontakt3のDFDのプリロードのサイズの初期設定はかなり大きめに設定されています。DFDの設定が初期設定のままであれば、以下の説明にしたがって設定を変更してください。この変更により、ロード時間が大きく短縮されるとともにRAM使用量を大幅に減少させることができます。



1. Kontakt3の設定画面のDFDのタブをクリックするとDFDの設定項目が表示されます。  
‘Amount of memory (RAM) reserved for...’の値を最小に (Minimize) してください。



2. ‘Expert Mode’ ボタンをクリック
3. ‘Channel Buffer Size’ を最小化 (Minimize) してください。
4. ‘Override Instrument’ s preload size’ のチェックボックスにチェックを入れてください。

もしサンプルがスムーズに再生されず音切れ等が生じる場合は必要に応じて ‘Override Instrument’ s preload size’ の値を大きくしてください。お使いのコンピュータによって異なりますが、通常は6 -12 kbで問題なくサンプルが再生されます。

# **SPM (Super Performance Multi)**

## SPMの機能



LPC SPM (Super Performance Multi)を使用することにより、リアルタイムに非常にリアルなギターサウンドを演奏することができます。演奏を止めることなく膨大な数のギターの奏法に瞬時にアクセスし、リアルで完成度の高いギター・パートの作成を素早く行うことが可能です。

SPM インストゥルメントには3つの種類があります。

### メイン・インストゥルメント



### ハイ・ペロシティ・インストゥルメント



### リリース・インストゥルメント



## - メイン・インストゥルメント



### キー・スイッチ

すべてのSPMインストゥルメントには任意のキー・スイッチを割り当てる機能があります。ロードしたマルチに新たなSPMインストゥルメントを加え、それに任意のキー・スイッチを割り当てるができます。演奏者が弾き易いようにキー・スイッチの配置を自由にカスタマイズすることが可能です。



キー・スイッチの割り当て方:

プルダウン・メニューをクリックしてキー・スイッチとして使用したいキーを選択します。



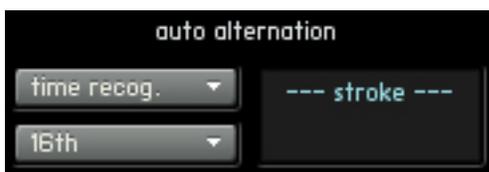
MIDIノート番号を直接ナンバー・ボックスに入力して設定することも可能です。

## リリース・タイム・アジャストメント



オート・サスティン機能がオンの状態で次の音が打鍵された時、前の音は自動的にノート・オフされます。その時リリースされる前の音のリリース・タイムをこの機能で調節することができます。この値を適切に設定することによって前の音と次の音がスムーズにつながります。推奨値は0 - 30msの範囲内ですが、これはインストゥルメント、テンポ、使用されるエフェクターやアンプ（どの程度までディストーションをかけるか）等によって異なります。リリース・タイムはナンバー・ボックスに値を直接入力するか、またはMIDI CC# 62により変更できます。

## オート・オルタネーション（ストローク自動検出）



## オート・オルタネーション・モード



4つのストロークモードがあります。プルダウン・メニューより選択、またはMIDI CC# 58により変更可能です。

<b>time recognition</b> (MIDI CC# 58: 0 - 31)	自動認識モード：SPMが現在のテンポと拍子位置および設定された検知解像度から最適なストローク方向（ダウンまたはアップ）を自動的に割り出します。
<b>forced</b> (MIDI CC# 58: 32 - 63)	強制オルタネート・モード：強制的にダウン・ストローク/アップ・ストロークを交互に繰り返します。
<b>down only</b> (MIDI CC# 58: 64 - 95)	強制ダウン・モード：強制的にダウン・ストロークが行われます。
<b>up only</b> (MIDI CC# 58: 96 - 127)	強制アップ・モード：強制的にアップ・ストロークが行われます。

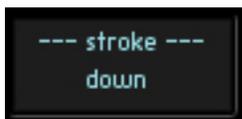
## レゾリューション（検知解像度）



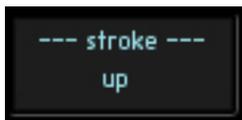
‘time recognition’（自動認識モード）が選択されている場合の検知解像度です。プルダウン・メニューより選択、またはMIDI CC# 57により変更可能です。

midi CC# 57	resolution
0 - 25	8分
26 - 50	8分（3連）
51 - 75	16分
76 - 100	16分（3連）
101 - 127	32分

## ストローク・インフォメーション・ウインドウ



‘ダウン・ストローク’が検出されている（または‘down only’モードが有効になっている）



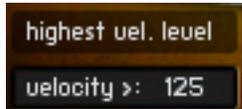
‘アップ・ストローク’が検出されている（または‘up only’モードが有効になっている）

## トーン・コントロール



このノブで実際のギターについているトーン・コントロールのように、音の高域をカットすることができます。MIDI CC# 59でもコントロール可能です。

## ハイ・ベロシティ・スレッショルド・レベル



このナンバー・ボックスでマルチ内にロードされている[ハイ・ベロシティ・インストゥルメント](#)をトリガーするためのベロシティのスレッショルド（しきい値）を設定することができます。打鍵された時のベロシティの値が設定されたスレッショルド・レベルよりも高い場合、現在選択されているメイン・インストゥルメントに代わってハイ・ベロシティ・インストゥルメントがトリガーされます。このスレッショルド・レベルはMIDI CC# 55でも変更可能です。

**重要：** この値はマルチにロードされているハイ・ベロシティ・インストゥルメントのスレッショルド・レベルの値と同一でなくてはなりません。もしハイ・ベロシティ・インストゥルメントを使用していない場合はこの値は127である必要があります。（ハイ・ベロシティ・インストゥルメントを使用しない状態でスレッショルドより強いベロシティで打鍵した場合は何も音が鳴りません。）この機能を使用しない場合は必ず値を127にしてください。

## オート・サスティン



いくつかのSingle note（シングル・ノート）インストゥルメントにはこのボタンがついています。オート・サスティンがオフの場合、ノート・オフ時に音はストップします。（通常のキーボード演奏のように）また、この時ポリフォニック（和音）での演奏ができます。MIDI CC# 54にてオート・サスティンのオン・オフが行えます。

### ヒント - サスティンペダルを使用してアルペジオを演奏する:

SPMインストゥルメントでアルペジオを演奏したい場合、サスティンペダル(MIDI CC# 64)を使用してそれを行うことができます。サスティンペダルがONの時、オート・サスティンは自動的にオフになり、瞬時にポリフォニックの演奏が可能になります。また、サスティンペダルを踏んでいるので、鍵盤から手を離れた後も音は鳴り続けます。新しい次の音が前の音と同じ場合には前の音は自動的にキャンセルされ、通常のサスティンペダルのように音が2重に鳴ることが無いようにプログラムされています。サスティンペダルがOFFになった瞬間に再びオート・サスティンは自動的にONになります。

### オート・サスティン機能について:

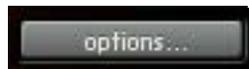
これはより実際のギター演奏に近い感覚でギターのサウンドをキーボード上で演奏するための機能です。ピックで弦を弾くと、意図的に音を止めるまで音は鳴り続けます。

SPMインストゥルメントの使用時は同じ音を繰り返し演奏する際、（一般的に実際のギター演奏においては、キーボード演奏時よりも同じ音の繰り返しが頻繁に行われます）ノート・オフした時の音切れを避けることができます。オート・オンの後、音は以下の事が起こるまで鳴り続けます。

- 次の音がノート・オンされる
- ホールド・キーまたはストップ・キーがトリガーされる
- サンプルが最後まで再生される

次のノート・オンまで音は鳴り続けるので、次の音を打鍵するまでは両手は自由に使えます。これにより、演奏をストップする事無くキー・スイッチを押したりコントローラを動かしたりして次の音に備えるための時間を得ることができます。これもSPMが様々なコントロールや多彩な奏法を単一のMIDIチャンネルでスムーズに行うことのできる理由のひとつです。

## optionボタン



このボタンをクリックするとそのインストゥルメントのさらなる設定画面が表示されます。

## プレイ・キー（ホールド・キーおよびストップ・キー）



### Hold keys（ホールド・キー）

演奏中にホールド・キーを押さえたままその音をノート・オフすると、その音はリリースされホールド・キーで設定された音が鳴ります。左の写真の場合、C1を押さえながらノート・オフすると、元の音はリリースされてフィンガー・リリース・ノイズが鳴ります。C#1を押さえながらノート・オフした場合、C#1には何も割り当てられていないので、元の音がリリースされた後は何も鳴りません。

りません。



### Stop keys（ストップ・キー）

演奏中にストップ・キーを押した瞬間、元の音はリリースされ、ストップ・キーで設定された音が鳴ります。左の写真の場合、D1が押された時に元の音はリリースされ、ピッキング・ノイズが鳴ります。また、D#1が押されると元の音は止まりますが、D#1には何も割り当てられていないので、元の音がリリースされた後は何も鳴りません。

MIDI CC# 115、116、117、118を使ってプレイ・キーの設定を行うこともできます。

プレイ・キー	MIDI CC#	ボタン
hold key 1	115	0: すべて OFF
hold key 2	116	1: ピッキング・ノイズ - ON
stop key 1	117	2: ピック・ストップ・ノイズ - ON
stop key 2	118	3: フィンガー・リリース・ノイズ - ON
		4: ピッキング・ノイズ + ピック・ストップ・ノイズ - ON
		5: ピッキング・ノイズ + フィンガー・リリース・ノイズ - ON
		6: ピック・ストップ + フィンガー・リリース・ノイズ - ON
		7: すべて ON
		(数字はMIDIコントロールチェンジの値)

### backボタン



このボタンを押すと前の設定画面に戻ります。

## - ハイ・ベロシティ・インストゥルメント



### キー・スイッチ・レンジおよびベロシティ・スレッシュヨルド・レベル



最大4つのキー・スイッチ・レンジを設定できます。例えば上の写真の場合、B-1からB0のいずれかのキー・スイッチにアサインされたメイン・インストゥルメントが125を超えるベロシティで演奏された時、このハイ・ベロシティ・インストゥルメント（ピッキング・ハーモニクス）が鳴ります。キー・スイッチがA#-1に設定されたメイン・インストゥルメントを演奏時はベロシティが125（= ベロシティ・スレッシュヨルド・レベル）を超えてもこのハイ・ベロシティ・インストゥルメントはなりません。（なぜならA#-1はこのハイ・ベロシティ・インストゥルメントのキー・スイッチ・レンジに入っていないからです）キー・スイッチ・レンジを設定することにより、複数のメイン・インストゥルメントで一つのハイ・ベロシティ・インストゥルメントを共有することができます。

ベロシティ・スレッシュヨルド・レベルはMIDIコントロール・チェンジ・ナンバー55でも変更可能です。この値はそのハイ・ベロシティ・インストゥルメントのキー・スイッチ・レンジ内にあるメイン・インストゥルメントのベロシティ・スレッシュヨルド・レベルと同じである必要があります。（異なる値が入っていると、スレッシュヨルド・レベルを超えたときに無音になる場合や、メイン・インストゥルメントとハイ・ベロシティ・インストゥルメントが同時に鳴ってしまう場合があります）

## - リリース・インストゥルメント



### プレイ・キー（ホールド・キーおよびストップ・キー）

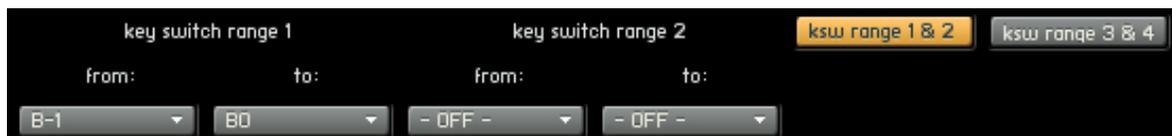


リリース・インストゥルメントは4つのプレイ・キーにて演奏することができます。（[‘プレイ・キー’](#) についての詳細は‘メイン・インストゥルメント’のセクションを参照してください）。メイン・インストゥルメントのプレイ・キーと同じ働きをしますが、リリース・インストゥルメントにはメイン・インストゥルメントには含まれていないサンプルが使用されており、メイン・インストゥルメントから独立したインストゥルメントであると言えます。

### キー・スイッチ・レンジ

リリース・インストゥルメントのキー・スイッチ・レンジの機能はハイ・ベロシティ・インストゥルメントのキー・スイッチ・レンジと同じです。キー・スイッチ・レンジを設定することにより、複数のメイン・インストゥルメントで一つのリリース・インストゥルメントを共有することができます。最大4つのキー・スイッチ・レンジを設定できます。

キー・スイッチ・レンジ3および4を設定するときは‘ksw range 3&4’ ボタンを押してください。



## - LPC Super Performance Monitor



これはLPC Super Performance Multi の動作状態を表示するモニターです。このインストゥルメントはあくまでモニターなのでこれ自体がサンプルを再生したりマルチ内のインストゥルメントをコントロールしたりするものではありません。

初期設定のキー・スイッチを変更した場合；

もしメイン・インストゥルメントのキー・スイッチ設定をカスタマイズした場合は、モニターの‘options...’ ボタンをクリックし、変更したメイン・インストゥルメントと同一のキー・スイッチのMIDIノート番号を入力してください。これにより、モニターが現在選択されているインストゥルメントを正しく表示できるようになります。



## SPM - マルチ

(それぞれの SPMインストゥルメントについての詳細は、[‘SPM – インストゥルメント’](#) および  
‘LPC\_controller\_chart.pdf’ を参照してください)

#### ヒント:

‘additional\_SPM\_instrument’ という名前のフォルダにデフォルトのSPMマルチには含まれていないオプションのSPMインストゥルメントがあります。デフォルトマルチにそれらを加えたり、使用しないインストゥルメントをマルチから削除してマルチを自由にカスタマイズしたりすることができます。

### マルチ: LPC\_SPM

/Multis/に収録

#### このマルチに含まれる奏法:

Single note (シングル・ノート)

- リアルタイム・レガート・スライド
- リアルタイム・ハンマリング&プリング
- ビブラート (deep fast, light fast, deep slow, light slow)
- ミュート、ピッキング・ノイズ
- ピッキング・トレモロ
- トリル
- ピッキング・ハーモニクス

5th-dyad chord (5度コード)

- リアルタイム・レガート・スライド
- ビブラート
- ミュート、ピッキング・ノイズ

4th-dyad chord (4度コード)

- リアルタイム・レガート・スライド
- ビブラート
- ミュート、ピッキング・ノイズ

Unison bend (ユニゾン・チョーキング)

Scrape (スクラッチ)

Noises (フレット・ノイズ、ピック・ストップ・ノイズ、ブリッジ・ミュート・ノイズ)

#### キー・スイッチ (初期設定)

**B0:** Single note リアルタイム・レガート・スライド  
**A#0:** Single note リアルタイム・ハンマリング&プリング  
**A0:** Single note レガート・スライド無し  
**G#0:** Single note repetition (連打用)  
**G0:** picking tremolo  
**F#0:** trill whole 全音トリル  
**F0:** trill half 半音トリル  
**E0:** 5th-dyad chord リアルタイム・レガート・スライド  
**D#0:** 5th-dyad chord repetition (連打用)  
**D0:** 5th-dyad chord ベロシティ・スイッチ  
**C#0:** 4th-dyad chord リアルタイム・レガート・スライド  
**C0:** 4th-dyad chord repetition (連打用)  
**B-1:** unison bend ユニゾン・チョーキング

## Single note

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサスティン / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

サスティン音とミュートおよびピッキング・ノイズの切り替えはモジュレーション・ホイール(MIDI CC# 1)で行うことができます。

### ビブラート (Aftertouch)

アフタータッチを使用してビブラートの音を出すことができます。(もしお使いのMIDIキーボードの鍵盤がアフタータッチ機能を持たない場合は、コントローラが割り当て可能なスライダーやノブがあればそれらにアフタータッチをアサインし、ビブラートをコントロールすることができます。(お使いのMIDIキーボードにアサイン可能なスライダー/ノブがない場合は、シーケンサーからアフタータッチのデータを送信することによってコントロールすることも可能です。)また、MIDIコントロールチェンジ5を使用してビブラートの深さを選択することができます。

*(MIDI CC# 5はくまでビブラートの深さを選択する目的のみで使用されます。アフタータッチによりビブラート音が有効になっていない限り、このMIDI CC# 5を変更してもビブラート音は鳴りません)*

### ビブラート・タイプ (MIDI CC# 5)

0 - 31: deep fast

32 - 63: light fast

64 - 95: deep slow

96 - 127: light slow

アフタータッチの送信方法についての詳細は、お使いのMIDIキーボードまたはシーケンサーのマニュアルでご確認ください。

### キー・スイッチ [B0]: リアルタイム・レガート・スライド

このインストゥルメントが選択されている場合、前の音を押さえたまま次の音を打鍵するとレガート・スライドを演奏することができます。

### キー・スイッチ [A#0]: リアルタイム・ハンマリング&プリング

このインストゥルメントが選択されている場合、前の音を押さえたまま次の音を打鍵するとハンマリングおよびプリングを演奏することができます。

### キー・スイッチ [A0]: リリース・トリガー repetition (連打) モード

このインストゥルメントが選択されている場合、ノート・オフ時に同じ音がもう一度トリガーされます。(リリース・トリガー)これにより、速いスピードで音を途切れさせることなく同じ音を連打することができます。速いテンポに合わせた同音連打のみならず、速度可変のトレモロ演奏用としても使用することができます。

キー・スイッチ [G#0]: レガート・スライド無し

キー・スイッチ [G0]: ピッキング・トレモロ  
レコーディングされた本物のトレモロのサンプルが鳴ります。

キー・スイッチ [F#0]: 全音トリル

キー・スイッチ [F0]: 半音トリル

---

## 5th-dyad chord (5度コード)

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサスティン / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

サスティン音とミュートおよびピッキング・ノイズの切り替えはモジュレーション・ホイール(MIDI CC# 1)で行うことができます。

### ビブラート (Aftertouch)

アフタータッチを使用してビブラートの音を出すことができます。(もしお使いのMIDIキーボードの鍵盤がアフタータッチ機能を持たない場合は、コントローラが割り当て可能なスライダーやノブがあればそれらにアフタータッチをアサインし、ビブラートをコントロールすることができます。(お使いのMIDIキーボードにアサイン可能なスライダー/ノブがない場合は、シーケンサーからアフタータッチのデータを送信することによってコントロールすることも可能です。)

*アフタータッチの送信方法についての詳細は、お使いのMIDIキーボードまたはシーケンサーのマニュアルでご確認ください。*

### キー・スイッチ [E0]: リアルタイム・レガート・スライド

このインストゥルメントが選択されている場合、前の音を押さえたまま次の音を打鍵するとレガート・スライドを演奏することができます。

### キー・スイッチ [D#0]: リリース・トリガー repetition (連打) モード

このインストゥルメントが選択されている場合、ノート・オフ時に同じ音がもう一度トリガーされます。(リリース・トリガー)これにより、速いスピードで音を途切れさせることなく同じ音を連打することができます。速いテンポに合わせた同音連打のみならず、速度可変のトレモロ演奏用としても使用することができます。

### キー・スイッチ [D0]: ペロシティ・スイッチ・モード

このインストゥルメントが選択されている場合、ペロシティの強弱により、サスティン音とミュート/ピッキング・ノイズを瞬時に切り替え、5度コードを使用した(主にROCKの)パッキングを簡単に演奏することができます。

ペロシティ =

0-110: ミュート

95-125: サスティン

126-127: ピッキング・ハーモニクス - このスレッシュホールドは変更可能です。

---

## 4th-dyad chord (4度コード)

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサステイン / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

サステイン音とミュートおよびピッキング・ノイズの切り替えはモジュレーション・ホイール(MIDI CC# 1)で行うことができます。

### ビブラート (Aftertouch)

アフタータッチを使用してビブラートの音を出すことができます。(もしお使いのMIDIキーボードの鍵盤がアフタータッチ機能を持たない場合は、コントローラが割り当て可能なスライダーやノブがあればそれらにアフタータッチをアサインし、ビブラートをコントロールすることができます。(お使いのMIDIキーボードにアサインナブル・スライダー/ノブがない場合は、シーケンサーからアフタータッチのデータを送信することによってコントロールすることも可能です。)

アフタータッチの送信方法についての詳細は、お使いのMIDIキーボードまたはシーケンサーのマニュアルでご確認ください。

### キー・スイッチ [C#0]: リアルタイム・レガート・スライド

このインストゥルメントが選択されている場合、前の音を押さえたまま次の音を打鍵するとレガート・スライドを演奏することができます。

### キー・スイッチ [C0]: リリース・トリガー repetition (連打) モード

このインストゥルメントが選択されている場合、ノート・オフ時に同じ音がもう一度トリガーされます。(リリース・トリガー)これにより、速いスピードで音を途切れさせることなく同じ音を連打することができます。速いテンポに合わせた同音連打のみならず、速度可変のトレモロ演奏用としても使用することができます。

---

## Unison Bend (ユニゾン・チョーキング)

### キー・スイッチ [G-1]

### Fast bend / slow bend (MIDI CC# 1)

0 - 63: 速いチョーキング

64 - 127: 遅いチョーキング

---

## Scrape

(キー・レンジ: D5 - C6)

選択されているインストゥルメントにかかわらず、いつでもD5からC6の範囲の鍵盤を弾くとスクラッチのサンプルを鳴らすことができます。

---

### **Pinch Harmonics (ピッキング・ハーモニクス)**

<ハイ・ベロシティ・インストゥルメント>

ノート・ベロシティがスレッショルド・レベルの125(初期設定)より高い場合、ピッキング・ハーモニクスが鳴ります。

---

### **Pick stop noise (ピック・ストップ・ノイズ)**

<リリース・インストゥルメント>

ホールド・キー；C1を押さえたままノート・オフするとピック・ストップ・ノイズ(弦の振動を弦に当てて止める時になるノイズ)が鳴り、音が止まります。

### **Fret noise (フレット・ノイズ)**

<リリース・インストゥルメント>

ホールド・キー；C#1を押さえたままノート・オフするとフレット・ノイズが鳴り、音が止まります。

### **Pick stop noise (ピック・ストップ・ノイズ)**

<リリース・インストゥルメント>

ストップ・キー；D0を打鍵するとピック・ストップ・ノイズ(弦の振動を弦に当てて止める時になるノイズ)が鳴り、音が止まります。

### **Bridge mute noise (ブリッジ・ミュート・ノイズ)**

<リリース・インストゥルメント>

ストップ・キー；D#0を打鍵するとブリッジ・ミュート・ノイズ(ブリッジに手を置いた時に鳴るノイズ)が鳴り、音が止まります。

## マルチ: LPC\_all\_chords

/Multis/に収録

### キー・スイッチ (初期設定)

**B0:** major (string 6 root) 6弦ルート  
**A#0:** major (string 5 root) 5弦ルート  
**A0:** minor (string 6 root) 6弦ルート  
**G#0:** minor (string 5 root) 5弦ルート  
**G0:** 7th (string 6 root) 6弦ルート  
**F#0:** 7th (string 5 root) 5弦ルート  
**F0:** minor 7th (string 6 root) 6弦ルート  
**E0:** minor 7th (string 5 root) 5弦ルート  
**D#0:** major 7th (string 6 root) 6弦ルート  
**D0:** major 7th (string 5 root) 5弦ルート  
**C#0:** add9  
**C0:** 7th-9th  
**B-1:** major 7th-9th  
**A#-1:** minor 9th  
**A-1:** sus4 (string 6 root) 6弦ルート  
**G#-1:** sus4 (string 5 root) 5弦ルート  
**G-1:** major 3rd vibrato  
**F#-1:** dim7 (string 6 root) 6弦ルート  
**F-1:** dim7 (string 5 root) 5弦ルート  
**E-1:** #9  
**D#-1:** open chord & low chord  
**D-1:** other chords

---

### ピッキング・ノイズ

ストップ・キー: D1を打鍵するとピッキング・ノイズが鳴り、音が止まります。(前回打鍵した音に合わせて適切なフレットポジションのピッキング・ノイズのサンプルが自動的選択されます。)

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1: モジュレーション・ホイール)

0 - 31: 通常のススティン音

32 - 126: ミュート

(64 - 126: ミュートとピッキング・ノイズのクロスフェード・ゾーン)

127: ピッキング・ノイズ

ストップ・キー: D1でもピッキング・ノイズを鳴らすことができます (上記参照)。

### Bridge mute noise (ブリッジ・ミュート・ノイズ) <リリース・インストゥルメント>

ストップ・キー；D#1を打鍵するとブリッジ・ミュート・ノイズ（ブリッジに手を置いた時に鳴るノイズ）が鳴り、音が止まります。

### Fret noise (フレット・ノイズ) <リリース・インストゥルメント>

ホールド・キー；C#1を押さえたままノート・オフするとフレット・ノイズが鳴り、音が止まります。

### Finger release noise (フィンガー・リリース・ノイズ) <リリース・インストゥルメント>

ホールド・キー；G1を押さえたままノート・オフするとフィンガー・リリース・ノイズ（弦をフレットに押さえた状態から指を浮かせた時のノイズ）が鳴り、音が止まります。

### Fast / slow stroke (MIDI CC# 4)

0 - 63 (速いストローク)

64 - 127 (遅いストローク)

---

### 追加機能 (一部のインストゥルメントのみ)

いくつかのSPMインストゥルメントにはそのインストゥルメント特有の機能があります。

### major 3rd vibrato (キー・スイッチ: G-1)

MIDI CC# 4:

0 - 63 (4+3+2弦)

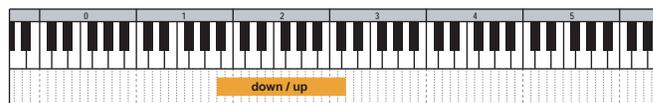
64 - 127 (3+2+1弦)

### #9 (キー・スイッチ: E-1)

Velocity > 125 (変更可能): gliss down

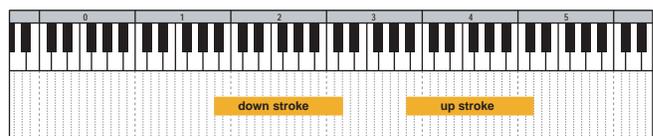
### クラシック・モード・ボタン

クラシック・モード: OFF (初期設定)



SPMはストローク自動検出機能の設定に従って自動的にダウン・ストロークまたはアップ・ストロークを選択して鳴らします。この時オート・サスティン機能も有効になります。

クラシック・モード: ON



アップ・ストロークのサンプルはダウン・ストロークがマッピングされている2（または3）オクターブ上にマッピングされます。この時オート・サスティン機能は無効になります。

## SPM - インストゥルメント

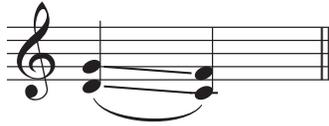
## インストゥルメント: 4th\_legato\_slide

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

4th-dyad chord Realtime Legato Slide (4度コード リアルタイム・レガート・スライド)

### リアルタイム・レガート・スライド

4th-dyad chord legat slide (down)



4th-dyad chord legat slide (up)



前のノートを押さえたまま次のノートを弾くことにより、レガート・スライド演奏ができます。

レガート・スライドの音程：最大 +/- 3フレット (1音半)

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサステイン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

## インストゥルメント: 4th\_repetition

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

4th-dyad chord Repetition (4度コード連打モード)

### Release trigger repetition リリース・トリガーによる連打

このSPMインストゥルメントでは鍵盤をリリースした時(ノート・オフ時)にもう一度同じ音が鳴ります。この機能により、音が途切れることなく高速で同じ音を連打することができます。このインストゥルメントは、リズム・バッキングのみならず、速度可変のトレモロ演奏を行う場合にも使用できます。

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のススティン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

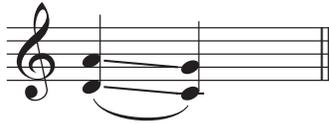
## インストゥルメント: 5th\_legato\_slide

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

5th-dyad chord Realtime Legato Slide (5度コード リアルタイム・レガート・スライド)

### リアルタイム・レガート・スライド

5th-dyad chord legato slide (down)



5th-dyad chord legato slide (up)



前のノートを押さえたまま次のノートを弾くことにより、レガート・スライド演奏ができます。

レガート・スライドの音程：最大 +/- 12フレット (1オクターブ)

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のススティン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール (CC#1) を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。( 'options...' ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

## インストゥルメント: 5th\_repetition

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

5th-dyad chord Repetition (5度コード連打モード)

### Release trigger repetition リリース・トリガーによる連打

このSPMインストゥルメントでは鍵盤をリリースした時(ノート・オフ時)にもう一度同じ音が鳴ります。この機能により、音が途切れることなく高速で同じ音を連打することができます。このインストゥルメントは、リズム・バッキングのみならず、速度可変のトレモロ演奏を行う場合にも使用できます。

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のススティン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

## インストゥルメント: 5th\_velocity\_switch

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

5th-dyad chord Velocity Switch (5度コード ベロシティ・スイッチ)

### ミュート/ ピッキング・ノイズ (サブ・ベロシティ・スイッチ・スレッシュホールド・レベル)

**mute threshold:**

**velocity <: 100**

このSPMインストゥルメントでは、ベロシティが設定されたスレッシュホールド・レベルより低い場合にミュートまたはピッキング・ノイズが鳴ります。この機能により、通常のススティン音とミュート / ピッキング・ノイズを他のコントローラを使用せずに瞬時に切り替えることが可能です。

(MIDI CC# 1)

0 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ピッキング・ノイズはホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

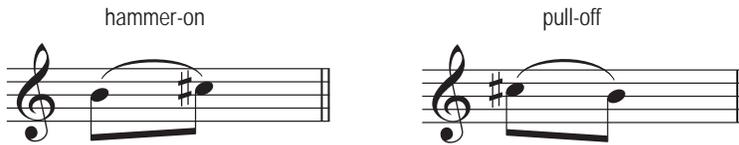
## インストゥルメント: single\_hammer\_on\_pull\_off

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Single note Realtime hammer-on & pull-off

(シングル・ノート リアルタイム・ハンマリング&プリング)

### リアルタイム・ハンマリング&プリング



前のノートを押さえたまま次のノートを弾くことにより、ハンマリングおよびプリングの演奏ができます。

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサステイン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール (CC#1) を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。( 'options...' ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

MIDI CC# 5を使用してビブラートの種類を選択することができます。

(このコントローラはあくまでビブラートの種類を選択するコントローラであり、ビブラートのサンプルを再生させるコントローラではありません。ビブラート音を出すにはアフタータッチを送信してください)

### ビブラートの種類 (MIDI CC# 5)

0 - 31: deep fast

32 - 63: light fast

64 - 95: deep slow

96 - 127: light slow

### ホールド・リトリガー

ある音を押さえた状態で他の音をノート・オフした時に押さえたままの音をもう一度鳴らすことができます。例えば、C3キーを押さえたままD3キーを打鍵し、D3キーをノート・オフすると自動的にC3キーの音が鳴ります。この機能により、実際のギターのとリル演奏と同じ感覚でトリルをプレイすることができます。また、ノート・オフのタイミングを変えることによってトリルの速度も変えることができます。

## インストゥルメント: **single\_legato\_slide**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

### Single note Realtime Legato Slide

(シングル・ノート リアルタイム・レガート・スライド)

#### リアルタイム・レガート・スライド

legato slide (down)



legato slide (up)



前のノートを押さえたまま次のノートを弾くことにより、レガート・スライド演奏ができます。

レガート・スライドの音程：最大 +/- 12フレット (1オクターブ)

#### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサステイン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options...’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

#### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

MIDI CC# 5を使用してビブラートの種類を選択することができます。

(このコントローラはあくまでビブラートの種類を選択するコントローラであり、ビブラートのサンプルを再生させるコントローラではありません。ビブラート音を出すにはアフタータッチを送信してください)

#### ビブラートの種類 (MIDI CC# 5)

0 - 31: deep fast

32 - 63: light fast

64 - 95: deep slow

96 - 127: light slow

## インストゥルメント: **single\_vibrato**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

このインストゥルメントは *'single\_legato\_slide'* と一緒にロード、それと同一のキー・スイッチを割り当てて使用してください。

## インストゥルメント: **single\_note\_RR**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Single note (no legato slide) シングル・ノート レガート・スライド無し

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のサステイン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール (CC#1) を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。( 'options...' ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

MIDI CC# 5を使用してビブラートの種類を選択することができます。

(このコントローラはあくまでビブラートの種類を選択するコントローラであり、ビブラートのサンプルを再生させるコントローラではありません。ビブラート音を出すにはアフタータッチを送信してください)

### ビブラートの種類 (MIDI CC# 5)

0 - 31: deep fast

32 - 63: light fast

64 - 95: deep slow

96 - 127: light slow

### ホールド・リトリガー

ある音を押さえた状態で他の音をノート・オフした時に押さえたままの音をもう一度鳴らすことができます。例えば、C3キーを押さえたままD3キーを打鍵し、D3キーをノート・オフすると自動的にC3キーの音が鳴ります。この機能により、実際のギターのとリル演奏と同じ感覚でトリルをプレイすることができます。また、ノート・オフのタイミングを変えることによってトリルの速度も変えることができます。

## インストゥルメント: single\_repetition

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Single note Repetition (シングル・ノート 連打モード)

### Release trigger repetition リリース・トリガーによる連打

このSPMインストゥルメントでは鍵盤をリリースした時(ノート・オフ時)にもう一度同じ音が鳴ります。この機能により、音が途切れることなく高速で同じ音を連打することができます。このインストゥルメントは、リズム・バッキングのみならず、速度可変のトレモロ演奏を行う場合にも使用できます。

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)

0 - 31: 通常のスステイン音 / ビブラート

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

### ビブラート

アフタータッチを送信してビブラートのサンプルを鳴らすことができます。

MIDI CC# 5を使用してビブラートの種類を選択することができます。

(このコントローラはあくまでビブラートの種類を選択するコントローラであり、ビブラートのサンプルを再生させるコントローラではありません。ビブラート音を出すにはアフタータッチを送信してください)

### ビブラートの種類 (MIDI CC# 5)

0 - 31: deep fast

32 - 63: light fast

64 - 95: deep slow

96 - 127: light slow

## インストゥルメント: Scrape

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

D5 から C6 の範囲内の鍵盤を弾くとスクラッチのサンプルを鳴らすことができます。

インストゥルメント: tremolo_picking
----------------------------

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Single note tremolo (シングル・ノート トレモロ)



**ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)**

0 - 31: トレモロ

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

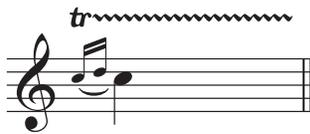
インストゥルメント: trill_half
-----------------------

インストゥルメント: trill_whole
------------------------

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Single note trill (half step trill and whole step trill)

(シングル・ノート トリル 全音および半音)



**ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1)**

0 - 31: トリル

32 - 126: ミュート

127: ピッキング・ノイズ

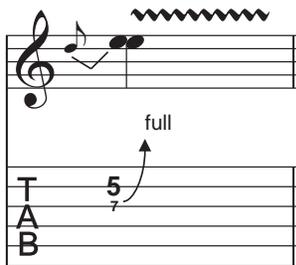
ミュートおよびピッキング・ノイズの音をモジュレーション・ホイール(CC#1)を使って鳴らすことができます。またホールド・キーやストップ・キーを使って鳴らすことも可能です。(‘options…’ ボタンをクリックしてホールド・キーやストップ・キーの設定を行ってください)

インストゥルメント: **unison\_bend**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/ に収録

Unison bend (fast bend and slow bend)

ユニゾン・チョーキング (立ち上がりの速いチョーキングと遅いチョーキング)



**Fast bend / slow bend (MIDI CC# 4)**

0 - 63: 速いチョーキング

64 - 127: 遅いチョーキング

インストゥルメント: **picking\_harmonic\_hi\_velo**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/high\_velocity\_instrument に収録

Single note pinch harmonics

シングル・ノート ピッキング・ハーモニクス (ハイ・ベロシティ・インストゥルメント)



**harmonics 1 / harmonics 2 (MIDI CC# 4)** 2種類のハーモニクス音が含まれています。

0 - 63: ハーモニクス 1

64 - 127: ハーモニクス 2

**インストゥルメント: bridge\_mute\_noise\_rel**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/release\_instrument に収録

bridge mute noise ブリッジ・ミュート・ノイズ (リリース・インストゥルメント)

ブリッジに手を置いた時に出るノイズです。

**インストゥルメント: fret\_noise\_rel**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/release\_instrument に収録

Fret noise フレット・ノイズ (リリース・インストゥルメント)

指がフレット間を移動したときに出るノイズです。

**インストゥルメント: pick\_stop\_noise\_rel**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/release\_instrument に収録

Pick stop noise ピック・ストップ・ノイズ (リリース・インストゥルメント)

弦の振動をピックで止めた時に出るノイズです。

## 追加SPMインストゥルメント - chords -

---

### ピッキング・ノイズ

ストップ・キー；D1を打鍵するとピッキング・ノイズが鳴り、音が止まります。（前回打鍵した音に合わせて適切なフレットポジションのピッキング・ノイズのサンプルが自動的選択されます。）

### ミュート / ピッキング・ノイズ (MIDI CC# 1: モジュレーション・ホイール)

0 - 31: 通常のススティン音

32 - 126: ミュート

(64 - 126: ミュートとピッキング・ノイズのクロスフェード・ゾーン)

127: ピッキング・ノイズ

ストップ・キー：D1でもピッキング・ノイズを鳴らすことができます（上記参照）。

### Finger release noise (フィンガー・リリース・ノイズ)

ホールド・キー；C1を押さえたままノート・オフするとフィンガー・リリース・ノイズ（弦をフレットに押さえた状態から指を浮かせた時のノイズ）が鳴り、音が止まります。

### Pick stop noise (ピック・ストップ・ノイズ)

ホールド・キーやストップ・キーにピック・ストップ・ノイズを割り当てることができます。（初期設定では割り当てられていません） ‘options…’ ボタンを押すと設定画面が表示されます。

### Fast / slow stroke (MIDI CC# 4)

0 - 63: 速いストローク

64 - 127: 遅いストローク

‘17\_154\_major3rd\_vib’ ではMIDI CC# 4はコード・フォームを切り替えるために使用されます。

---

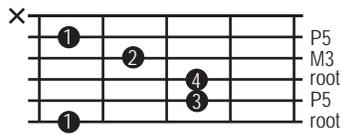
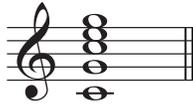
インストゥルメント: 01\_139\_major\_6rt

インストゥルメント: 02\_139\_major\_5rt

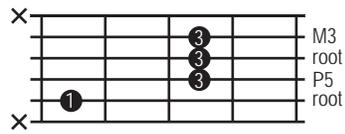
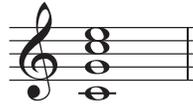
/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

メジャー・コード (6 弦ルートおよび 5 弦ルート)

form1: root = string 6



form2: root = string 5



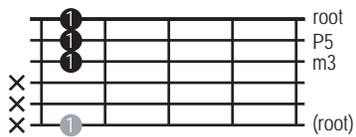
インストゥルメント: 03\_140\_minor\_1rt

インストゥルメント: 04\_140\_minor\_3rt

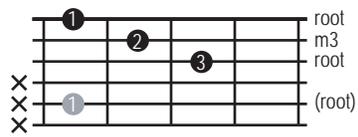
/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

マイナー・コード (6 弦ルートおよび 5 弦ルート)

form1: root = string 6



form2: root = string 5



インストゥルメント: 05\_141\_7th\_6rt

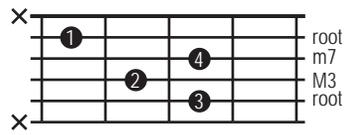
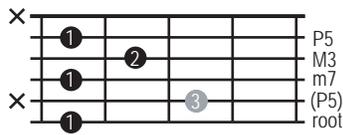
インストゥルメント: 06\_141\_7th\_5rt

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

7th コード (6 弦ルートおよび 5 弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5



インストゥルメント: 07\_142\_m7\_6rt

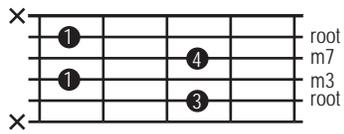
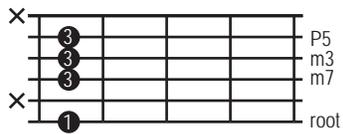
インストゥルメント: 08\_142\_m7\_5rt

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

マイナー7th コード (6 弦ルートおよび 5 弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5



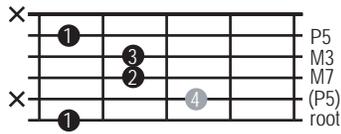
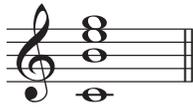
インストゥルメント: 09\_143\_maj7\_6rt

インストゥルメント: 10\_143\_maj7\_5rt

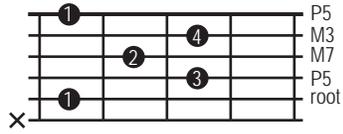
/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

△7thコード(6弦ルートおよび5弦ルート)

form1: root = string 6



form2: root = string 5

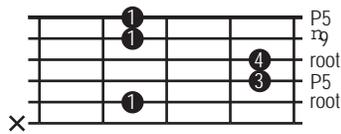
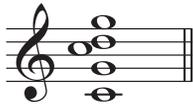


インストゥルメント: 11\_144\_add9

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

add9コード

root = string 5

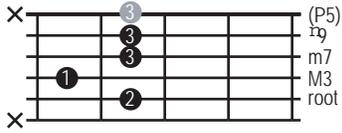


インストゥルメント: 12\_145\_7th\_9th

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

7th-9th コード

root = string 5

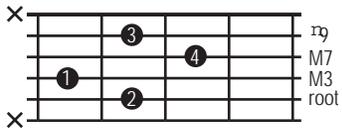
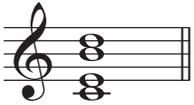


インストゥルメント: 13\_146\_maj7th\_9th

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

△7th-9th コード

root = string 5

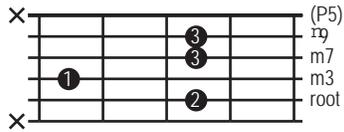


インストゥルメント: 14\_159\_m9

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

マイナー9thコード

root = string 5



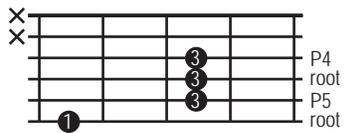
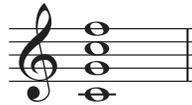
インストゥルメント: 15\_147\_sus4\_6rt

インストゥルメント: 16\_147\_sus4\_5rt

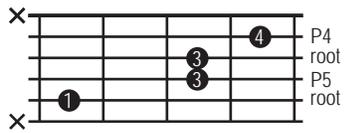
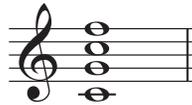
/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

sus4コード(6弦ルートおよび5弦ルート)

form1: root = string 6



form2: root = string 5



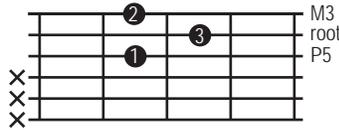
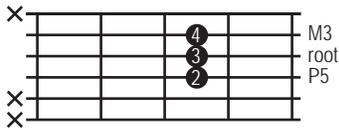
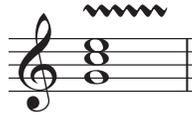
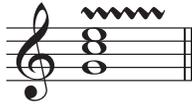
**インストゥルメント: 17\_154\_major3rd\_vib**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

メジャー3rd コード ビブラート付き (4+3+2 弦、3+2+1 弦)

form1: string 4+3+2

form2: string 3+2+1



**4+3+2弦 / 3+2+1弦の切り替え (MIDI CC# 4)**

0 - 63: 4+3+2弦

64 - 127: 3+2+1弦

**インストゥルメント: 18\_148\_dim7\_6rt**

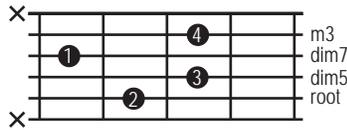
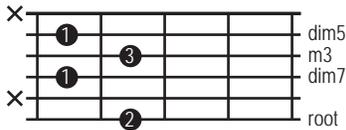
**インストゥルメント: 19\_148\_dim7\_5rt**

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

dim7 コード (6 弦ルートおよび 5 弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5

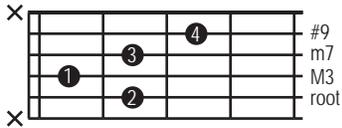


インストゥルメント: 20\_156\_sharp9

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

#9 コード

root = string 5



Gliss down グリス・ダウン (サブ・ベロシティ・スイッチ・スレッシュヨルド・レベル)



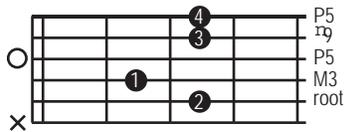
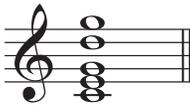
ノート・ベロシティが設定されたスレッシュヨルド・レベルより大きい場合、グリス・ダウンのサンプルが鳴ります。この機能により、通常のサスティン音とグリス・ダウンの音をを他のコントローラを使用せずに瞬時に切り替えることが可能です。

インストゥルメント: 21\_155\_opn\_chord

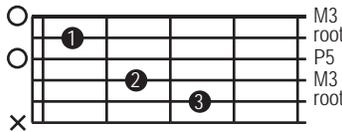
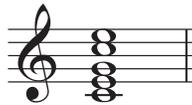
/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

オープン・コードおよびロー・コード (C, Cadd9, D, DonA, DonF#, E, F, G, Gomit3, GonB, A, B, Bm,)

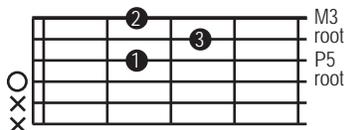
Cadd9



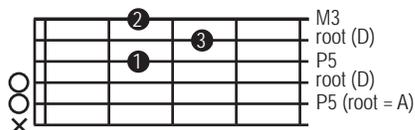
C



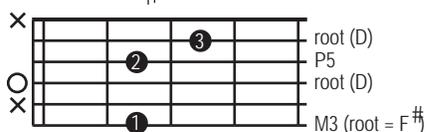
D



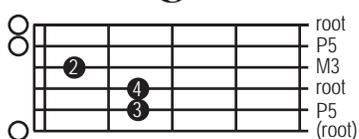
DonA



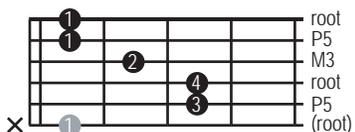
DonF#



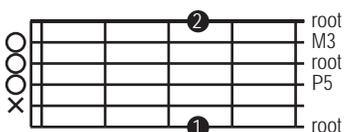
E



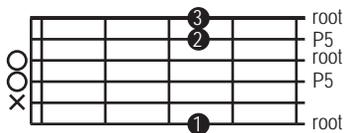
F



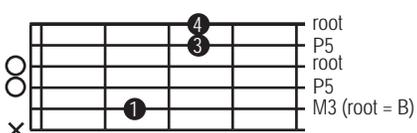
G



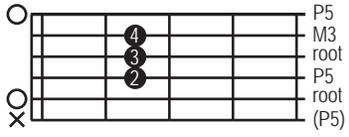
Gomit3



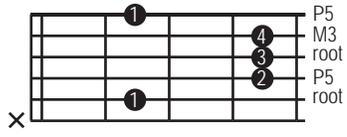
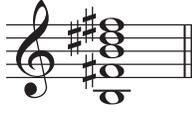
GonB



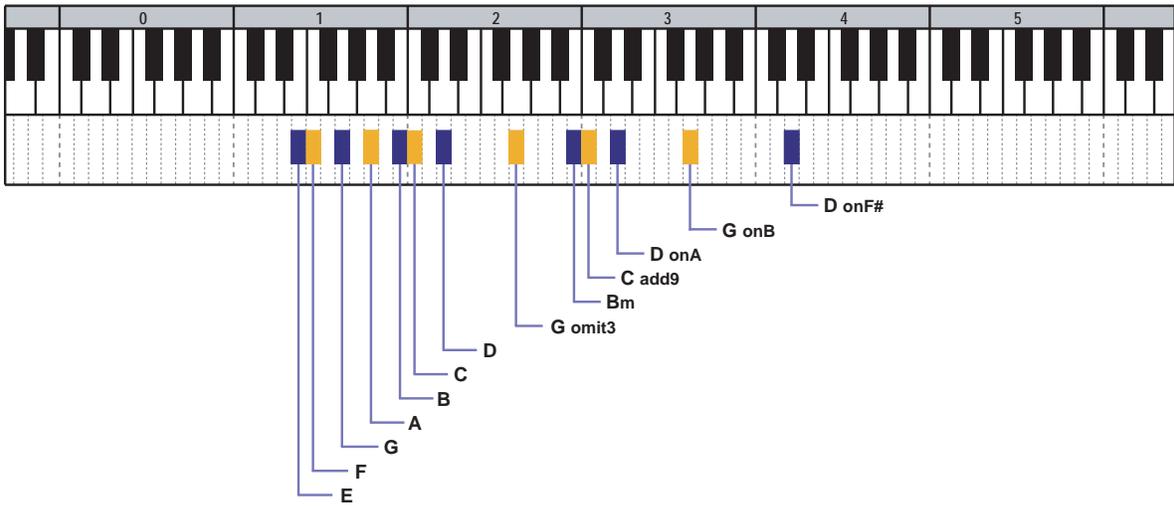
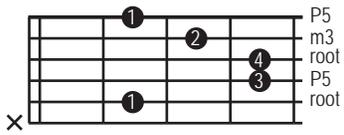
A



B



Bm



インストゥルメント: 22\_158\_other\_chords

/Instruments/01\_SPM\_instruments/additional\_SPM\_instrument/chords/ に収録

1 弦および 2 弦を解放したその他の特殊なコード

Chord 1:

E = B6 sus4(omit5)

Diagram 1: E chord. Treble clef, key signature of one sharp (F#). Notes: G#2, B2, D#3, E3, G#3, B3. Fingering: 2, 4, 3. Labels: root, P5, M3, root, P5.

Diagram 3: E chord. Bass clef, key signature of one sharp (F#). Notes: G#2, B2, D#3, E3, G#3, B3. Fingering: 2, 4, 3. Labels: root, P5, M3, root, P5.

Diagram 4: B6 sus4(omit5) chord. Bass clef, key signature of one sharp (F#). Notes: G#2, B2, D#3, E3, G#3, B3. Fingering: 2, 4, 3. Labels: P4, root, M6, P4, root.

Chord 2:

Fmaj7(#11) = Cmaj7(13)(omit5)

Diagram 5: Fmaj7(#11) chord. Treble clef, key signature of one sharp (F#). Notes: F3, A3, C4, E4, F4, A4, C5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: M7, #11, M3, root, P5.

Diagram 7: Fmaj7(#11) chord. Bass clef, key signature of one sharp (F#). Notes: F3, A3, C4, E4, F4, A4, C5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: M7, #11, M3, root, P5.

Diagram 8: Cmaj7(13)(omit5) chord. Bass clef, key signature of one sharp (F#). Notes: F3, A3, C4, E4, F4, A4, C5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: M3, M7, #13, #11, root.

Chord 3:

F#11 = C#m13(omit5)

Diagram 9: F#11 chord. Treble clef, key signature of two sharps (F#, C#). Notes: F#3, A#3, C#4, E4, F#4, A#4, C#5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: m7, #11, M3, root, P5.

Diagram 11: F#11 chord. Bass clef, key signature of two sharps (F#, C#). Notes: F#3, A#3, C#4, E4, F#4, A#4, C#5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: m7, #11, M3, root, P5.

Diagram 12: C#m13(omit5) chord. Bass clef, key signature of two sharps (F#, C#). Notes: F#3, A#3, C#4, E4, F#4, A#4, C#5. Fingering: 2, 4, 3. Labels: m3, m7, #13, #11, root.

**Chord 4:**

G6 = D6<sup>(9)</sup>sus4(omit5) = Em7

Diagram 1 (G6): M6, M3, M3, root, P5. Fingering: 3, 2, 4, 3.

Diagram 2 (D6<sup>(9)</sup>sus4(omit5)): ♭9, root, M6, P4, root. Fingering: 3, 2, 4, 3.

Diagram 3 (Em7): root, P5, P5, m3, m7. Fingering: 3, 2, 4, 3.

**Chord 5:**

Aadd9 = E6sus4

Diagram 1 (Aadd9): P5, ♭9, M3, root, P5. Fingering: 5, 2, 4, 3.

Diagram 2 (E6sus4): root, P5, M6, P4, root. Fingering: 5, 2, 4, 3.

**Chord 6:**

B11 = F#13 sus4(omit5)

Diagram 1 (B11): ♭11, root, M3, root, P5. Fingering: 7, 2, 4, 3.

Diagram 2 (F#13 sus4(omit5)): m7, P4, ♭13, P4, root. Fingering: 7, 2, 4, 3.

**Chord 7:**

Cmaj7 = G13(omit5)

Diagram 1 (Cmaj7): M3, M7, M3, root, P5. Fingering: 8, 2, 4, 3.

Diagram 2 (G13(omit5)): ♭13, M3, ♭13, P4, root. Fingering: 8, 2, 4, 3.

### Chord 8:

$D_6^{(9)} = A_6^{(9)}\text{sus}4 = Bm_{11}$

♯9, M6, M3, root, P5

P5, ♯9, M6, P4, root

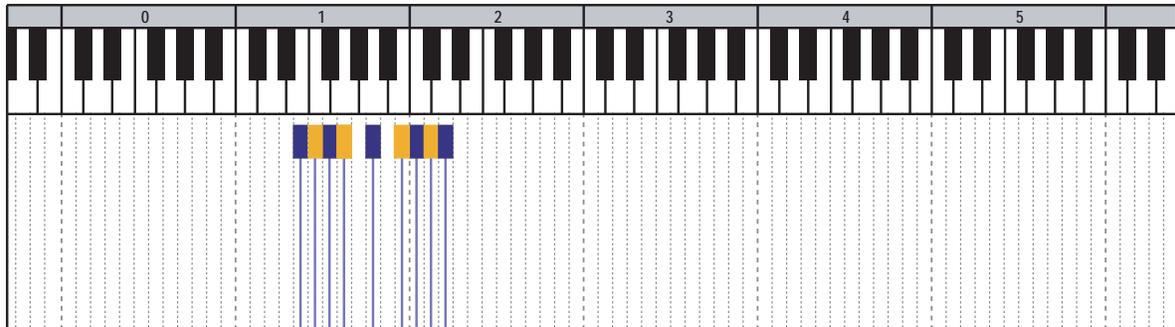
♯11, root, P5, m3, m7

### Chord 9:

$E = B_6\text{sus}4(\text{omit}5)$

root, P5, M3, root, P5

P4, root, M6, P4, root



- chord 9: E = B<sub>6</sub>sus4(omit5)
- chord 8: D<sub>6</sub><sup>(9)</sup> = A<sub>6</sub><sup>(9)</sup>sus4 = Bm<sub>11</sub>
- chord 7: Cmaj7 = G<sub>13</sub>(omit5)
- chord 6: B<sub>11</sub> = F<sub>13</sub>sus4(omit5)
- chord 5: Aadd9 = E<sub>6</sub>sus4
- chord 4: G<sub>6</sub> = D<sub>6</sub><sup>(9)</sup>sus4(omit5) = E<sub>m</sub>7
- chord 3: F<sub>11</sub> = C<sub>m</sub>13(omit5)
- chord 2: Fmaj7(♯11) = Cmaj7(13)(omit5)
- chord 1: E = B<sub>6</sub>sus4(omit5)

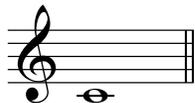
## Normal インストゥルメント

## Single note (シングル・ノート)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

### 001\_single\_sustain

通常のススティン



リアルタイム・レガート・スライド

前の音を押さえたまま次の音を弾いてください。

legato slide (down)



legato slide (up)



リアルタイム・ハンマリング&プリング

前の音を押さえたまま次の音を弾いてください。

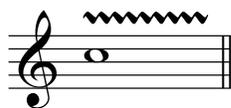
hammer-on



pull-off



ビブラート (深いビブラート&浅いビブラート)



### 003\_single\_staccato

シングル・ノート スタッカート



004\_single\_slide\_down\_1fret ~ 027\_single\_slide\_up\_12fret

シングル・ノート レガート・スライド

legato slide (down)

legato slide (up)



スライド幅: 12フレット (半音~オクターブ)

028\_single\_mute

シングル・ノート ミュート



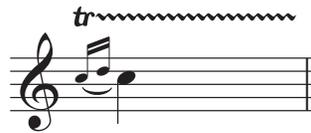
P.M.---|

031\_single\_trill

シングル・ノート トリル (半音トリル&全音トリル)

1 time trill

continuous trill



(1 time = 1回のみでのトリル、continuous = 連続トリル)

032\_single\_hammer\_on

シングル・ノート ハンマリング(全音&半音)



033\_single\_pull\_off

シングル・ノート プリング(全音&半音)



### 034\_single\_picking\_harmonics

シングル・ノート ピッキング・ハーモニクス（ビブラート無し）



P.H.---

シングル・ノート ピッキング・ハーモニクス（ビブラート有り）



P.H.---

### 035\_single\_bend

シングル・ノート チョーキング（半音チョーク、全音チョーク、1音半チョーク）



### 036\_s\_bend\_pick\_harm

シングル・ノート チョーキング+ピッキング・ハーモニクス  
（半音チョーク、全音チョーク、1音半チョーク）



P.H.

### 126\_tremolo\_picking

シングル・ノート トレモロ

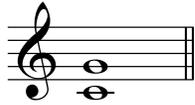


## 5th-dyad chord (5度コード)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

### 037\_5th\_sustain

通常のススティン

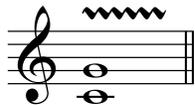


リアルタイム・レガート・スライド

前の音を押さえたまま次の音を弾いてください。



ビブラート



### 040\_5th\_slide\_down\_1fret ~ 063\_5th\_slide\_up\_12fret

5度コード レガート・スライド

5th-dyad chord legato slide (down)



5th-dyad chord legato slide (up)



スライド幅: 12フレット (半音~オクターブ)

### 064\_5th\_mute

5度コード ミュート



P.M.----+

065\_5th\_gliss\_down

5度コード グリス・ダウン

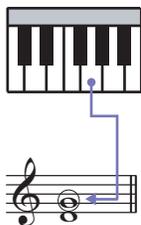


## 4th-dyad chord (4度コード)

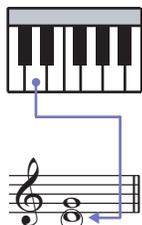
各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

4度コードには2つのマッピングがあります、'Top note = key' マッピングは上の音を主音とみなし、bottom note = key' マッピングは下の音を主音とみなします

'top note = key' mapping



'bottom note = key' mapping



## 071\_4th\_sustain

通常のススティン



リアルタイム・レガート・スライド

前の音を押さえたまま次の音を弾いてください。

4th-dyad chord legat slide (down)



4th-dyad chord legat slide (up)



ビブラート



074\_4th\_slide\_down\_1fret ~ 088\_4th\_slide\_up\_3fret

4度コード レガート・スライド

4th-dyad chord legat slide (down)



4th-dyad chord legat slide (up)



スライド幅: 上下3フレット (半音~一音半)

098\_4th\_mute

4度コード ミュート



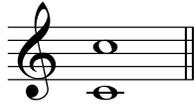
P.M.:----|

## Octave (オクターブ)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

### 101\_octave\_sustain

通常のススティン



リアルタイム・レガート・スライド

前の音を押さえたまま次の音を弾いてください。

octave legato slide (down)



octave legato slide (up)



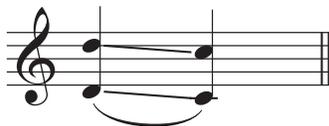
ビブラート



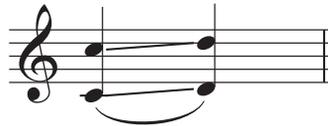
### 102\_octave\_slide\_down\_1fret ~ 125\_octave\_slide\_up\_12fret

オクターブ レガート・スライド

octave legato slide (down)



octave legato slide (up)



スライド幅: 12フレット (半音~オクターブ)

## Noise, Special FX (ノイズ・効果音その他)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

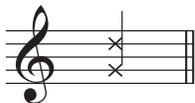
### 127\_single\_picking\_noise

シングル・ノート ピッキング・ノイズ



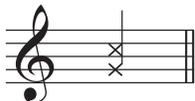
### 128\_5th\_picking\_noise

5度コード ピッキング・ノイズ

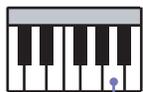


### 129\_4th\_picking\_noise

4度コード ピッキング・ノイズ



'top note = key' mapping



'bottom note = key' mapping



### 130\_brush\_noise

バレー・コード・ブラッシング (ピッキング) ノイズ  
(フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)



### 133\_fret\_noise

フレット・ノイズ (6弦、5弦、4弦)

スライド幅: 6フレット (半音~4音半)

### 135\_other\_noise

Scrape スクラッチ (6+5弦, 5+4弦)

ブラッシング・ノイズ+ハーモニクス (第3フレット&第4フレット)

ブリッジ・ミュート・ノイズ

フィンガー・リリース・ノイズ

### 153\_pick\_stop\_noise

ピック・ストップ・ノイズ

### 157\_crunch\_brush\_noise (ディストーション・バージョンのみに収録)

このインストゥルメントはディストーション・バージョンの使用時にディストーション・レベルが「クランチ」の以下のコード (括弧内は収録フォルダ名) :

7th (141\_7th)

m7 (142\_m7)

maj7 (143\_maj7th)

7<sup>(9)</sup> (145\_7th\_9th)

maj7<sup>(9)</sup> (146\_maj7th\_9th)

dim7 (148\_dim7)

m7<sup>(9)</sup> (159\_m7(9))

のバレー・コード・ブラッシング・ノイズとして「130\_brush\_noise」の変わりに使用するためのものです。

バレー・コード・ブラッシング (ピッキング) ノイズ

(フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)



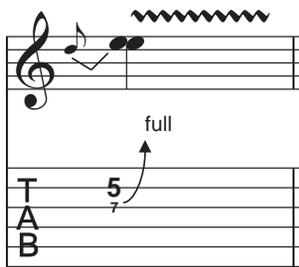
## Additional bend techniques (その他のチョーキング)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

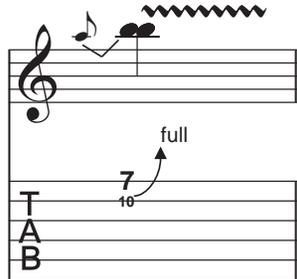
### 136\_unison\_bend

ユニゾン・チョーキング

string 3+2



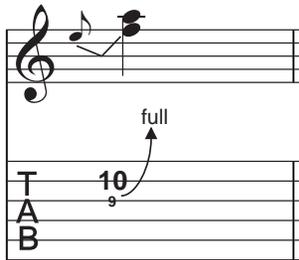
string 2+1



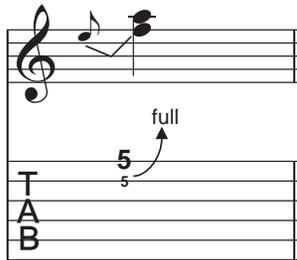
### 137\_stationary\_bend

ステーションナリー・チョーキング

string 3+2

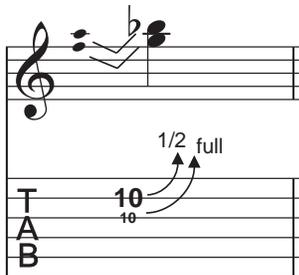


string 2+1



### 138\_double\_bend

ダブル・チョーキング



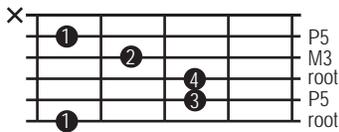
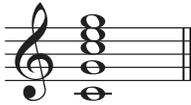
## Various Chords (色々なコード)

各インストゥルメントのMIDIコントローラ等についての詳細は'LPG\_controller\_chart.pdf'を参照してください

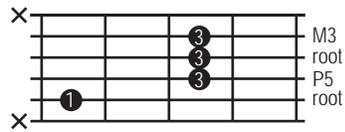
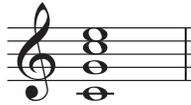
### 139\_major

メジャー・コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6



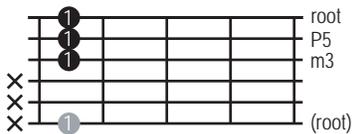
form2: root = string 5



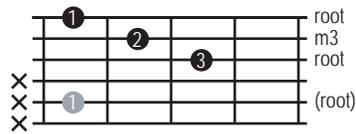
### 140\_minor

マイナー・コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6



form2: root = string 5



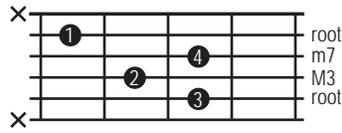
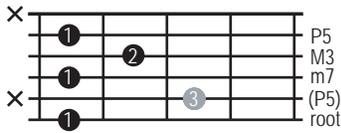
## 141\_7th

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル：クラッチ)

7thコード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5



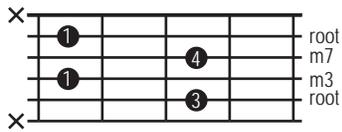
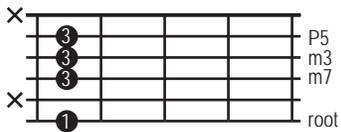
## 142\_m7

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル：クラッチ)

m7コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5



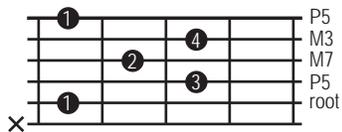
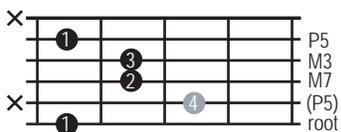
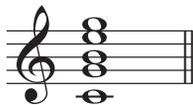
## 143\_maj7th

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル：クラッチ)

△7コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6

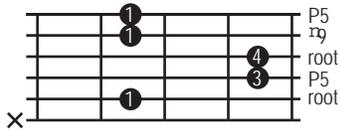
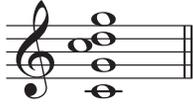
form2: root = string 5



## 144\_add9

add9コード (5弦ルート)

root = string 5

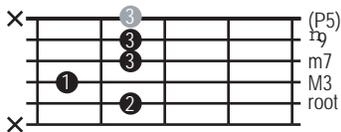


## 145\_7th\_9th

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル: クランチ)

7<sup>(9)</sup>コード (5弦ルート)

root = string 5

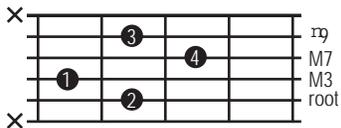
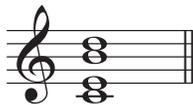


## 146\_maj7th\_9th

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル: クランチ)

Δ7<sup>(9)</sup>コード (5弦ルート)

root = string 5



147\_sus4

sus4コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5

148\_dim7

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル: クランチ)

dim7コード (フォーム1: 6弦ルート、フォーム2: 5弦ルート)

form1: root = string 6

form2: root = string 5

154\_major3rd\_vibrato

長3度コード+ビブラート (フォーム1: 4+3+2弦、フォーム2: 3+2+1弦)

長3度コード+ビブラート+ピッキング・ハーモニクス (フォーム1: 4+3+2弦)

form1: string 4+3+2

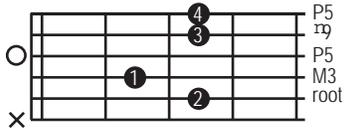
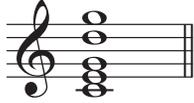
form2: string 3+2+1

155\_open\_chords

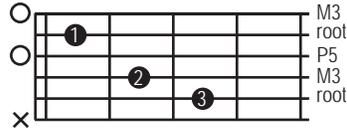
オープン・コードおよびロー・コード

(G, Gomit3, GonB, C, Cadd9, D, DonA, DonF#, E, F, A, B, Bm,)

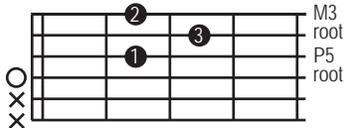
Cadd9



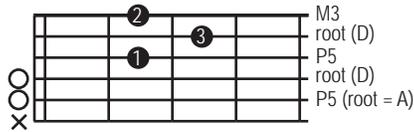
C



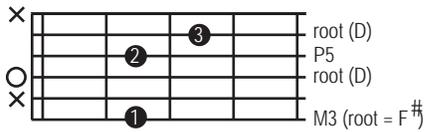
D



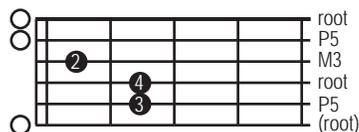
DonA



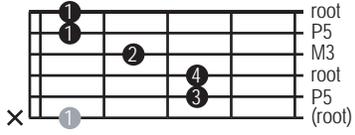
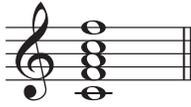
DonF#



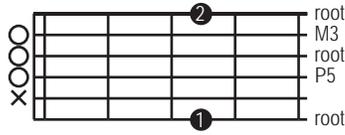
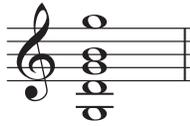
E



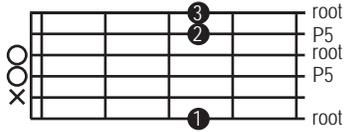
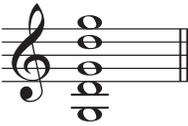
F



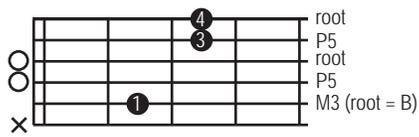
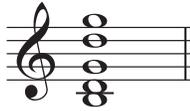
G



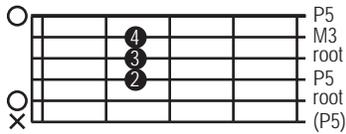
Gomit3



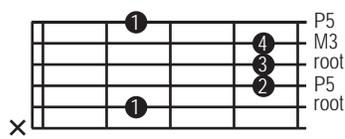
GonB



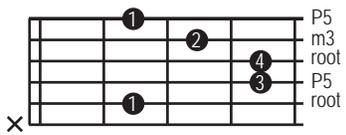
A



B



Bm

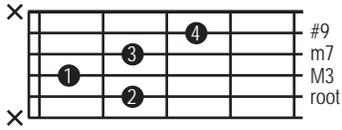


156\_#9

7(#9)コード

7(#9)コード グリス・ダウン

root = string 5



158\_other\_chords

1弦と2弦を解放した9つの特殊なコード（アーミング・エフェクト有り/無し）

Chord 1:

E = B6 sus4(omit5)

Chord 2:

Fmaj7(#11) = Cmaj7(13)(omit5)

**Chord 3:**

F#11 = C#m13(omit5)

Diagram 1 (F#11): m7, ♭11, M3, root, P5

Diagram 2 (C#m13(omit5)): m3, m7, ♭13, ♭11, root

**Chord 4:**

G6 = D6<sup>(9)</sup>sus4(omit5) = Em7

Diagram 1 (G6): M6, M3, M3, root, P5

Diagram 2 (D6(9)sus4(omit5)): ♭9, root, M6, P4, root

Diagram 3 (Em7): root, P5, M3, root, m7

**Chord 5:**

Aadd9 = E6sus4

Diagram 1 (Aadd9): P5, ♭9, M3, root, P5

Diagram 2 (E6sus4): root, P5, M6, P4, root

**Chord 6:**

B11 = F#13 sus4(omit5)

Diagram 1 (B11): ♭11, root, M3, root, P5

Diagram 2 (F#13 sus4(omit5)): m7, P4, ♭13, P4, root

**Chord 7:**

Cmaj7 = G13(omit5)

Musical notation for Cmaj7 and G13(omit5) chords. The Cmaj7 chord is shown in treble clef with notes C4, E4, G4, Bb4, and C5. The G13(omit5) chord is shown in treble clef with notes G4, Bb4, D5, F5, and G5.

Diagram 1 (Cmaj7):

- String 6: 8
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: M3, M7, M3, root, P5

Diagram 2 (G13(omit5)):

- String 6: 8
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: b13, M3, b13, P4, root

**Chord 8:**

D6(9) = A6(9)sus4 = Bm11

Musical notation for D6(9), A6(9)sus4, and Bm11 chords. D6(9) has notes D4, F#4, A4, C5, D5, F#5. A6(9)sus4 has notes A4, C5, E5, F#5, A5. Bm11 has notes B4, D5, F#5, A5, B5, D6.

Diagram 1 (D6(9)):

- String 6: 10
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: b9, M6, M3, root, P5

Diagram 2 (A6(9)sus4):

- String 6: 10
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: P5, b9, M6, P4, root

Diagram 3 (Bm11):

- String 6: 10
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: b11, root, P5, m3, m7

**Chord 9:**

E = B6sus4(omit5)

Musical notation for E and B6sus4(omit5) chords. E has notes E4, G#4, B4, E5. B6sus4(omit5) has notes B4, D5, F#5, B5.

Diagram 1 (E):

- String 6: 12
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: root, P5, M3, root, P5

Diagram 2 (B6sus4(omit5)):

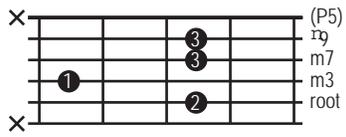
- String 6: 12
- String 5: 2
- String 4: 4
- String 3: 3
- String 2: (open)
- String 1: (open)
- Labels: P4, root, M6, P4, root

159\_m7 (9)

(ディストーション・バージョンにおけるディストーション・レベル: クランチ)

m7<sup>(9)</sup> コード

root = string 5

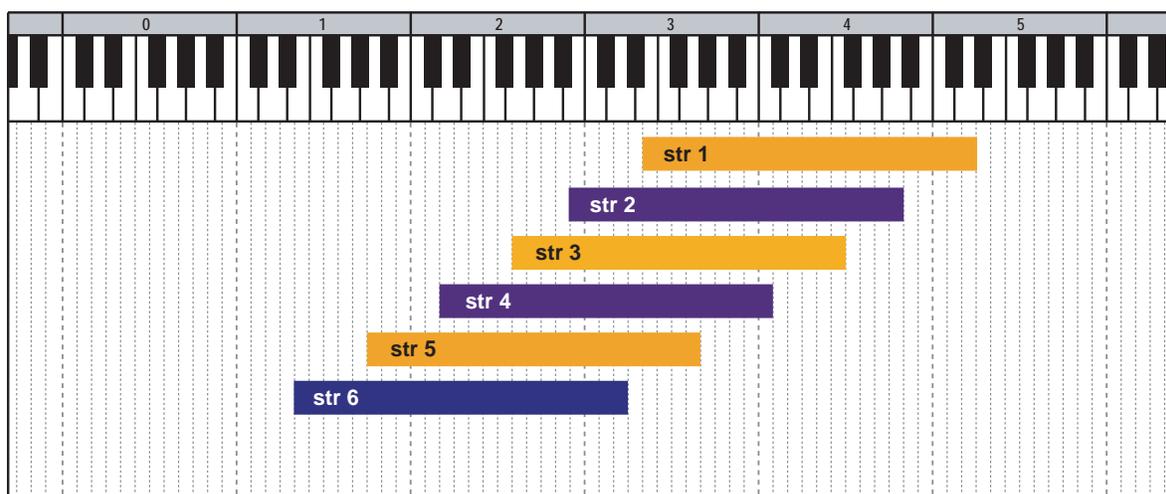


## マッピングおよびキー・レンジ

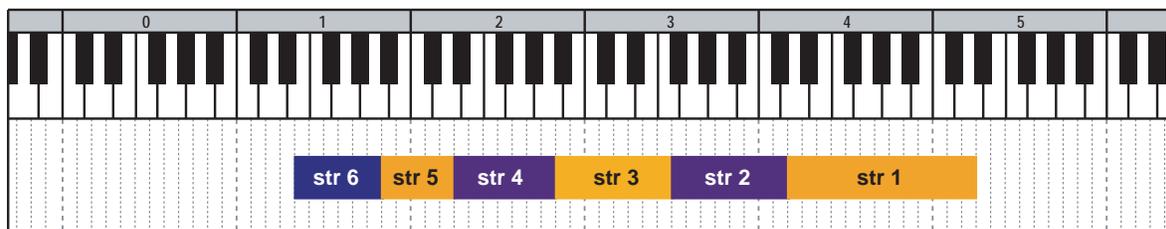
## Single note (シングル・ノート)

001\_single\_sustain  
003\_single\_staccato  
028\_single\_mute

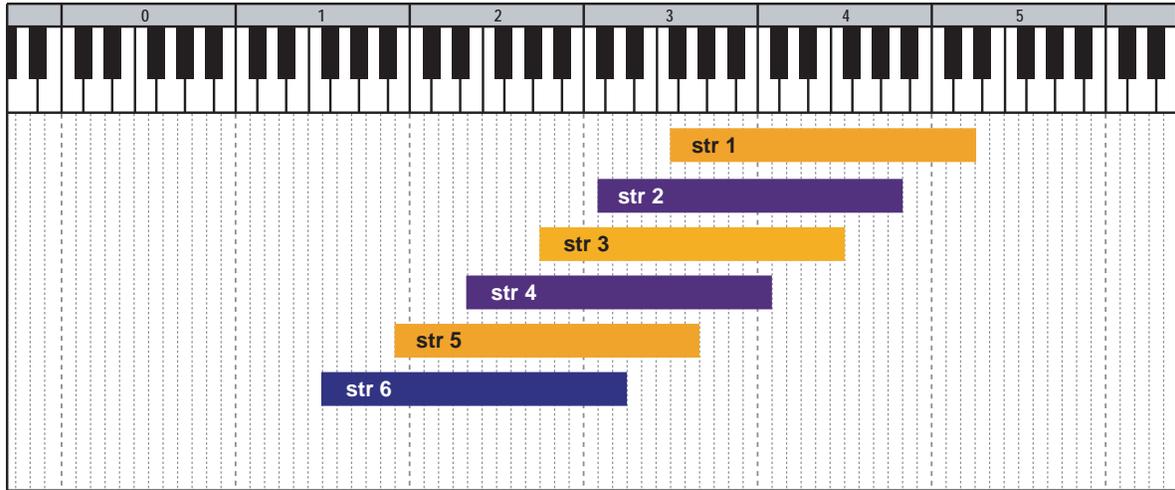
### フル・マッピング



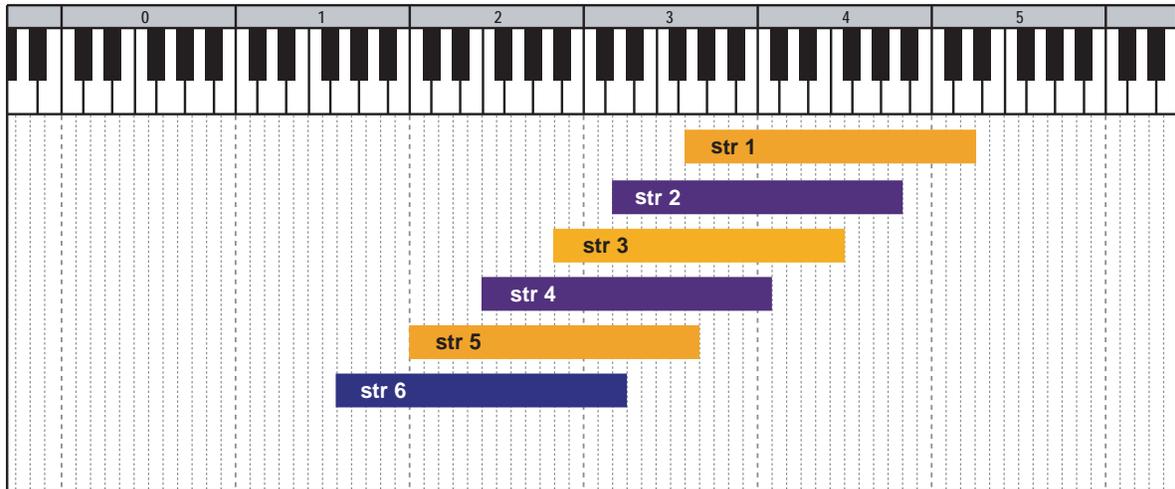
### 最適化・マッピング



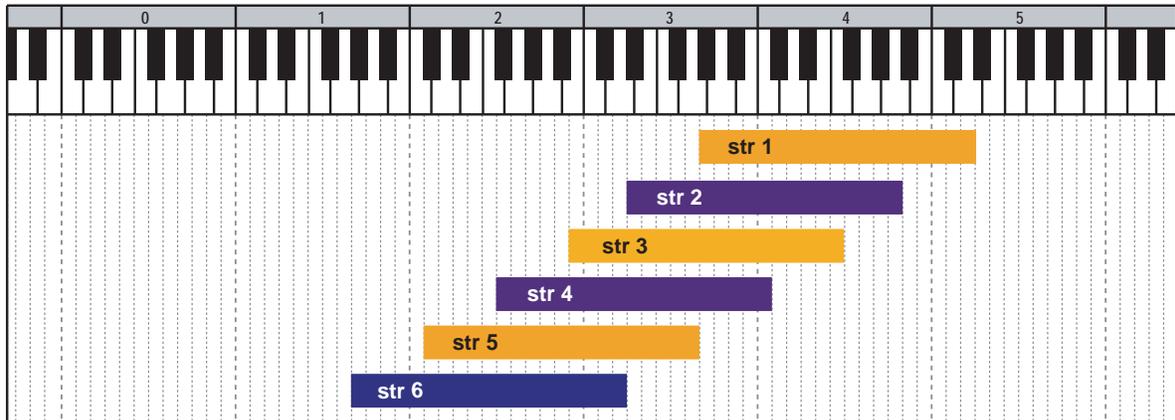
004\_single\_slide\_down\_1fret



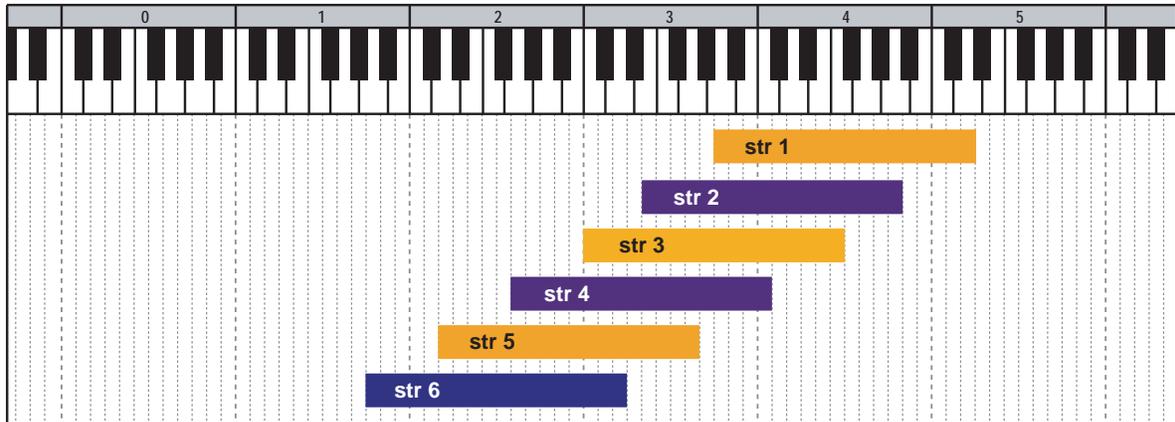
005\_single\_slide\_down\_2fret



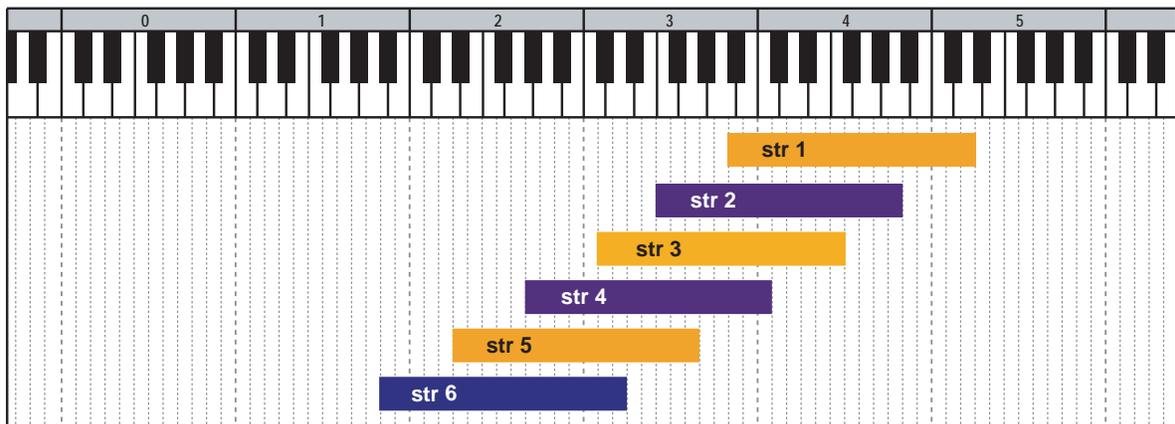
006\_single\_slide\_down\_3fret



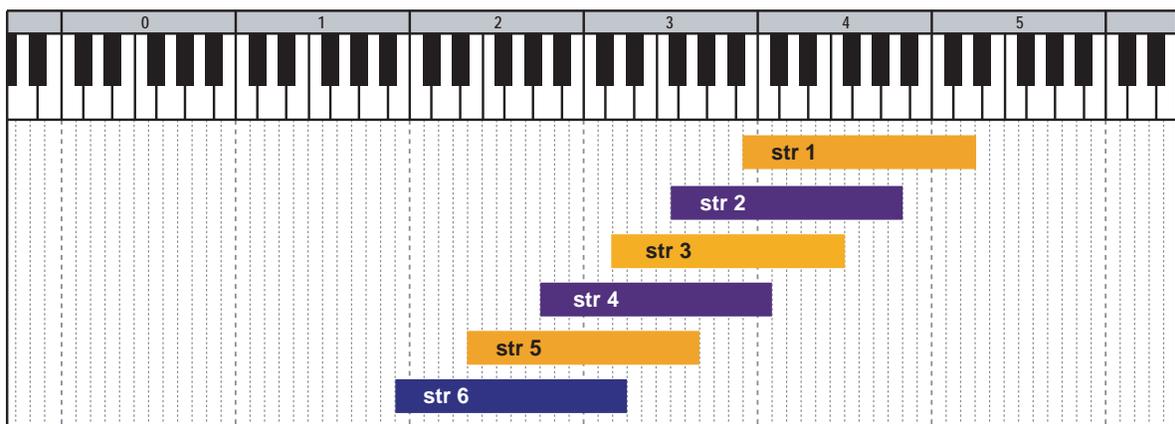
007\_single\_slide\_down\_4fret



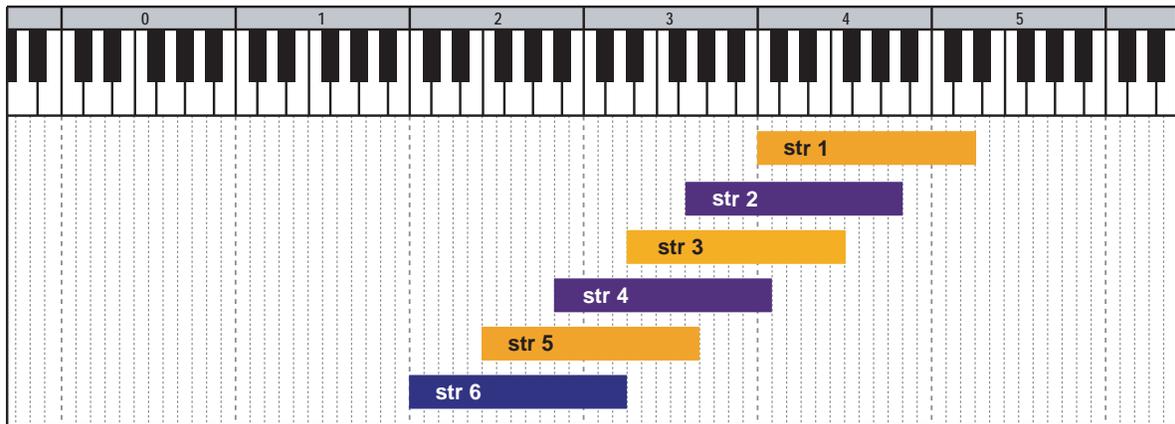
008\_single\_slide\_down\_5fret



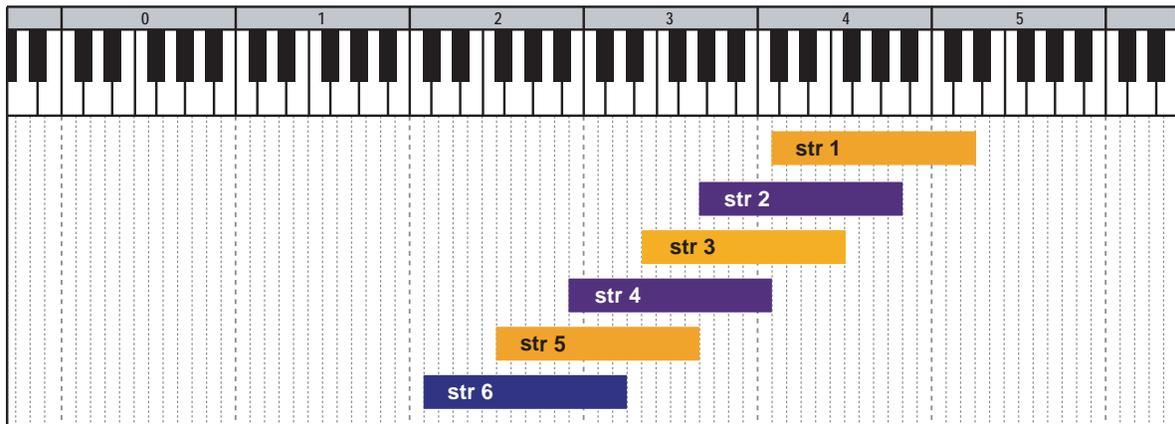
009\_single\_slide\_down\_6fret



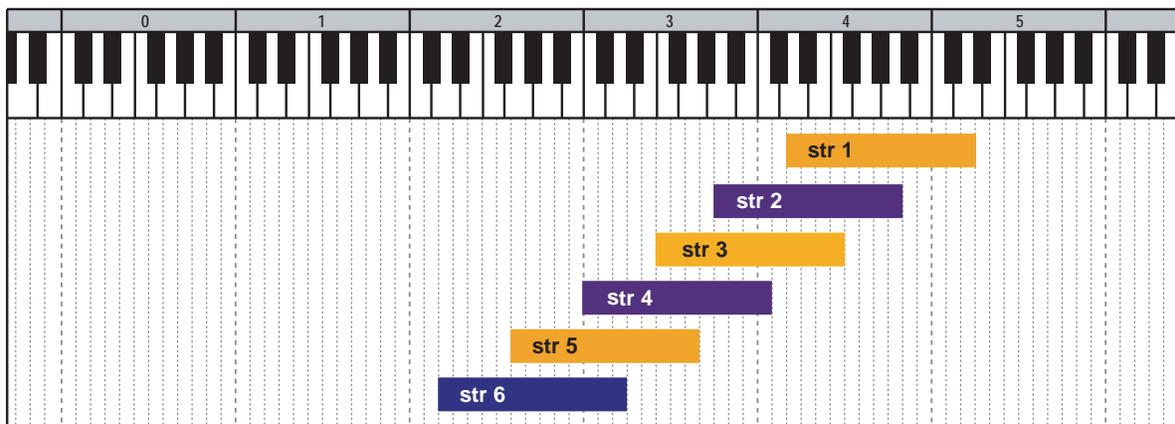
010\_single\_slide\_down\_7fret



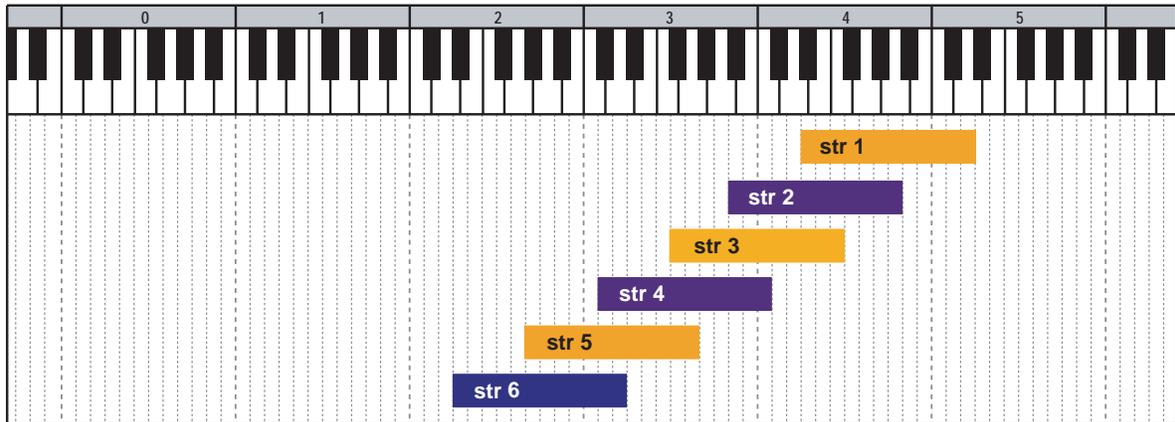
011\_single\_slide\_down\_8fret



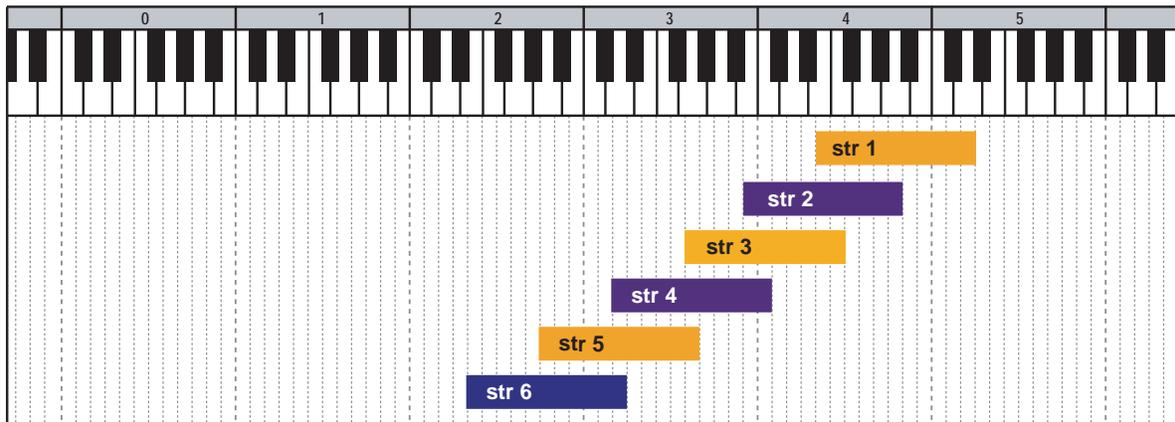
012\_single\_slide\_down\_9fret



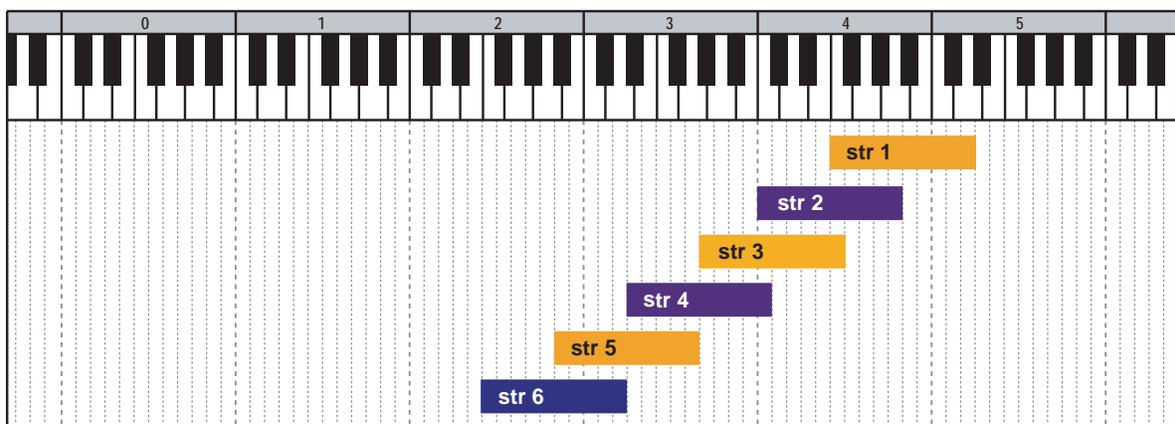
013\_single\_slide\_down\_10fret



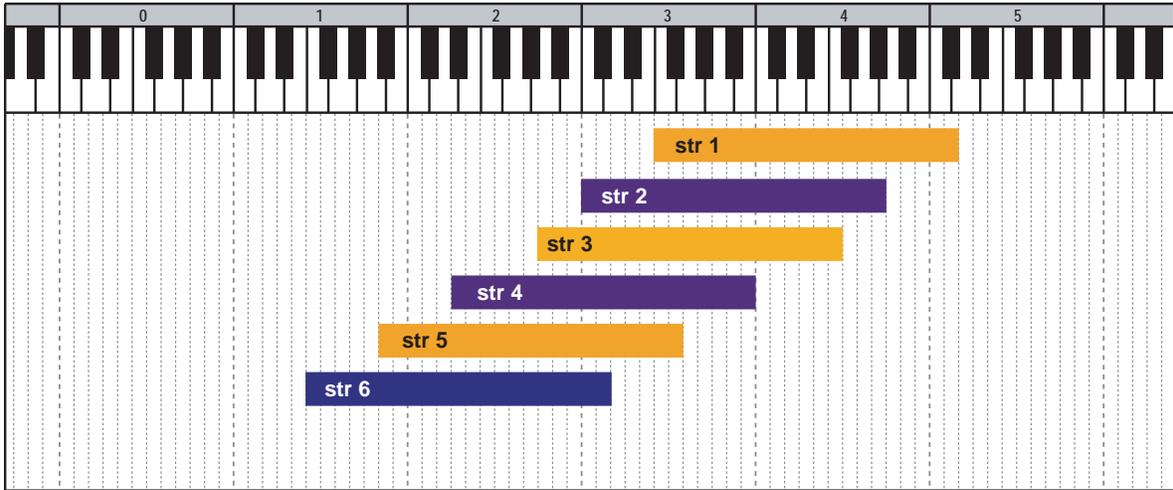
014\_single\_slide\_down\_11fret



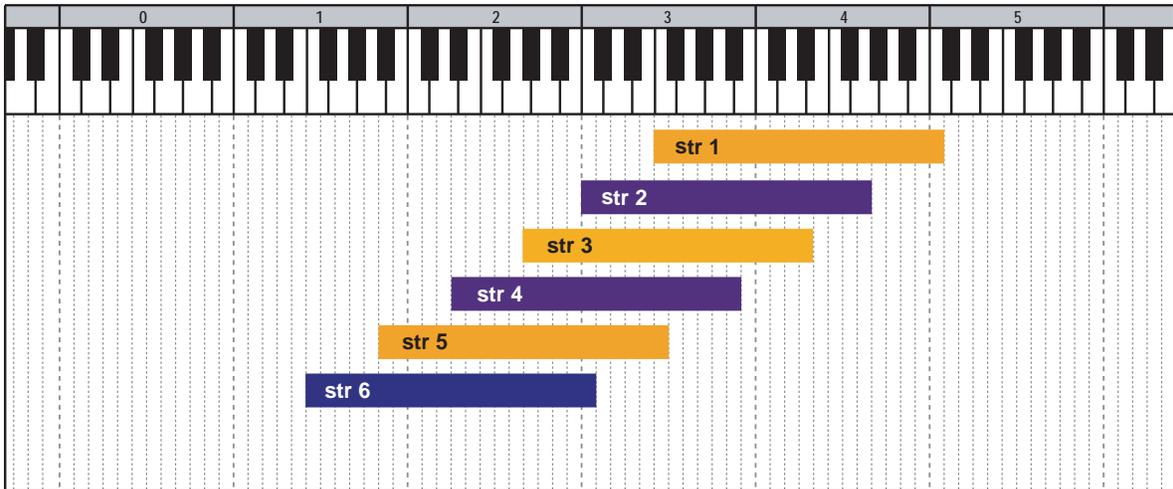
015\_single\_slide\_down\_12fret



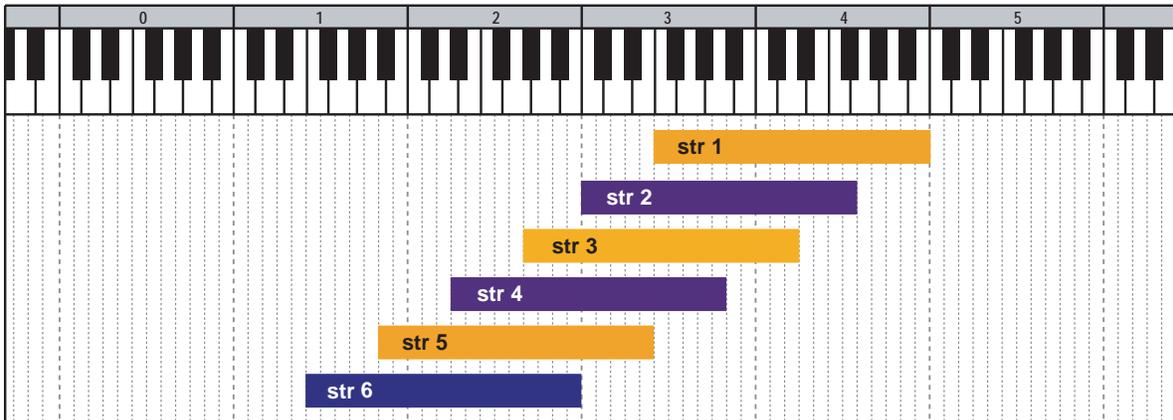
016\_single\_slide\_up\_1fret



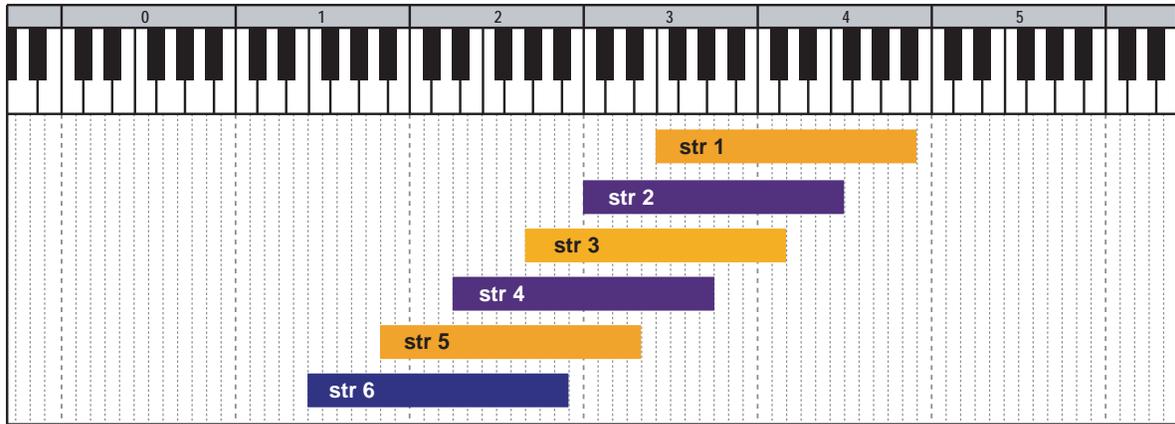
017\_single\_slide\_up\_2fret



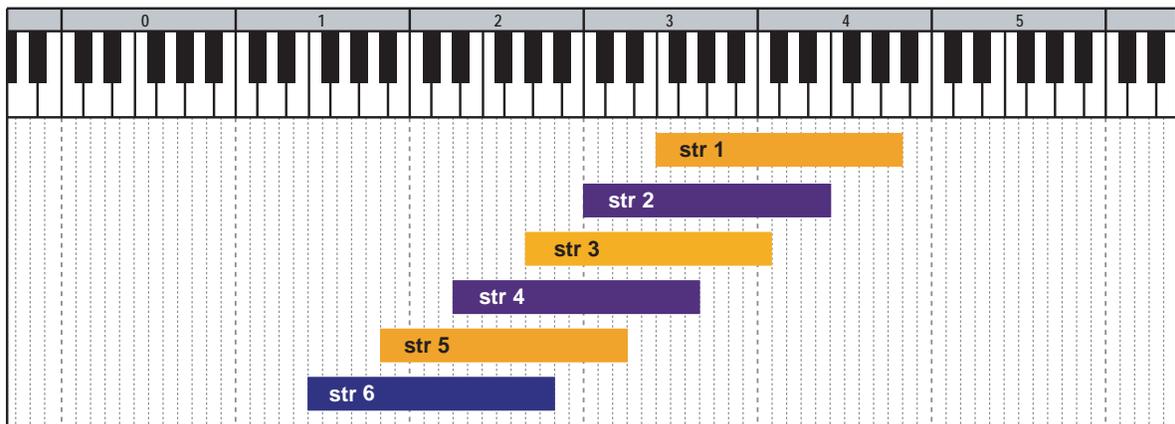
018\_single\_slide\_up\_3fret



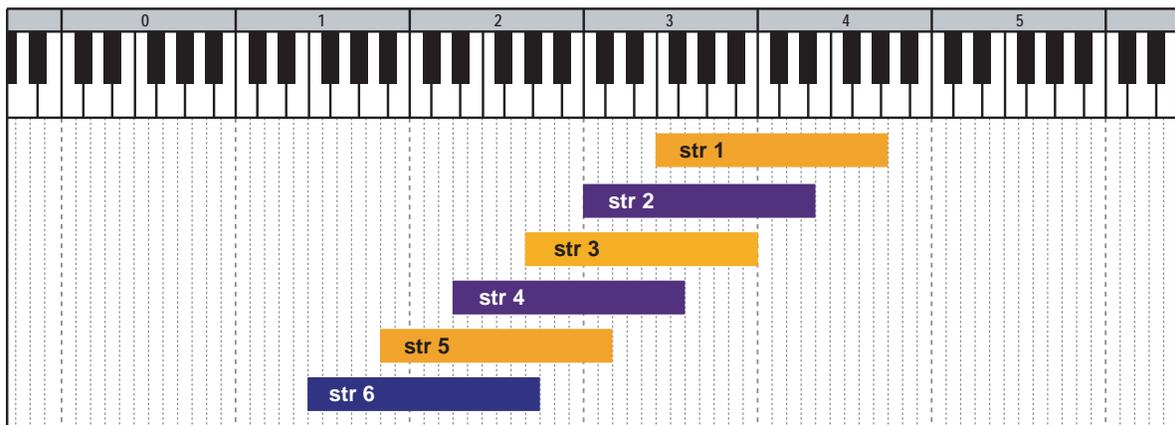
019\_single\_slide\_up\_4fret



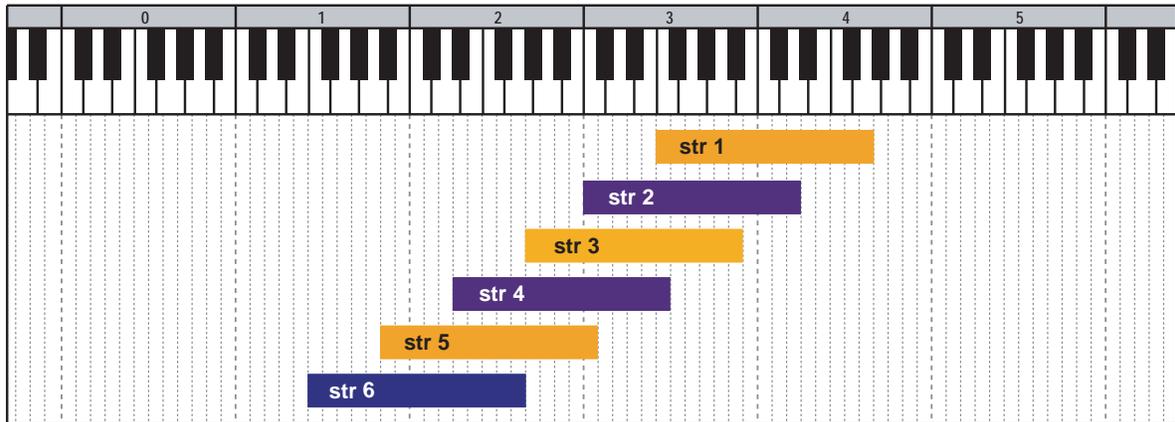
020\_single\_slide\_up\_5fret



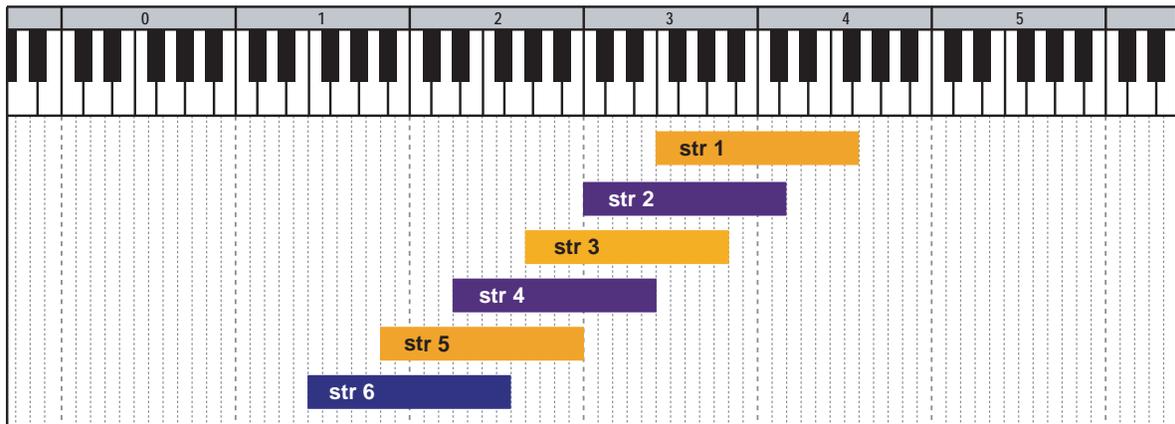
021\_single\_slide\_up\_6fret



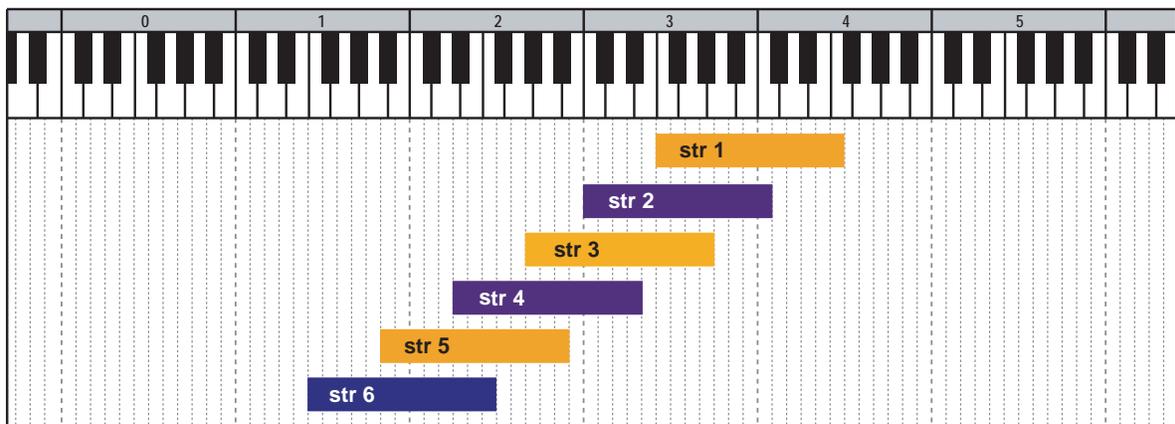
022\_single\_slide\_up\_7fret



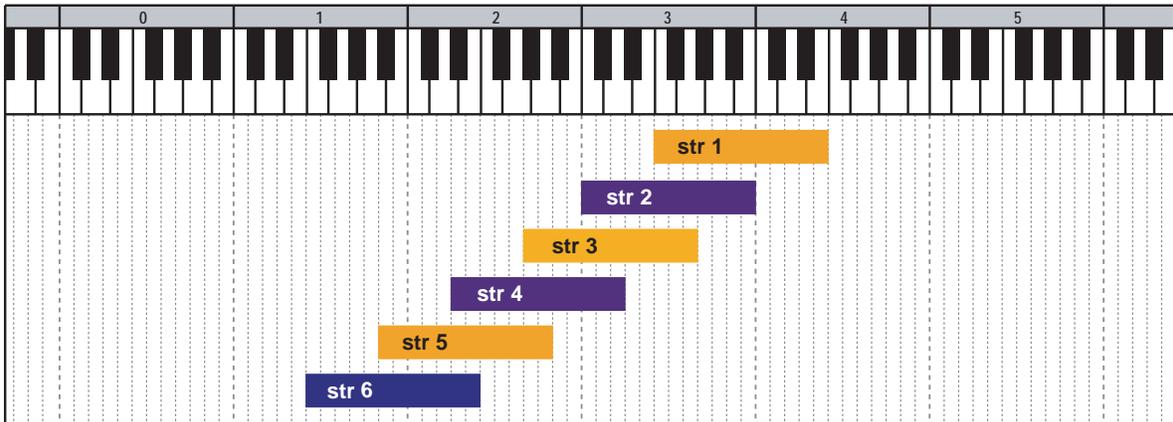
023\_single\_slide\_up\_8fret



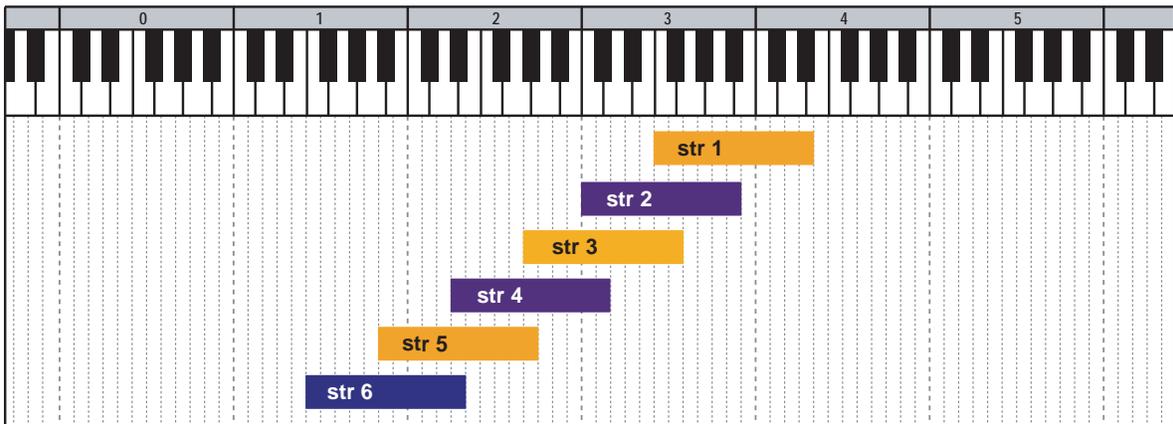
024\_single\_slide\_up\_9fret



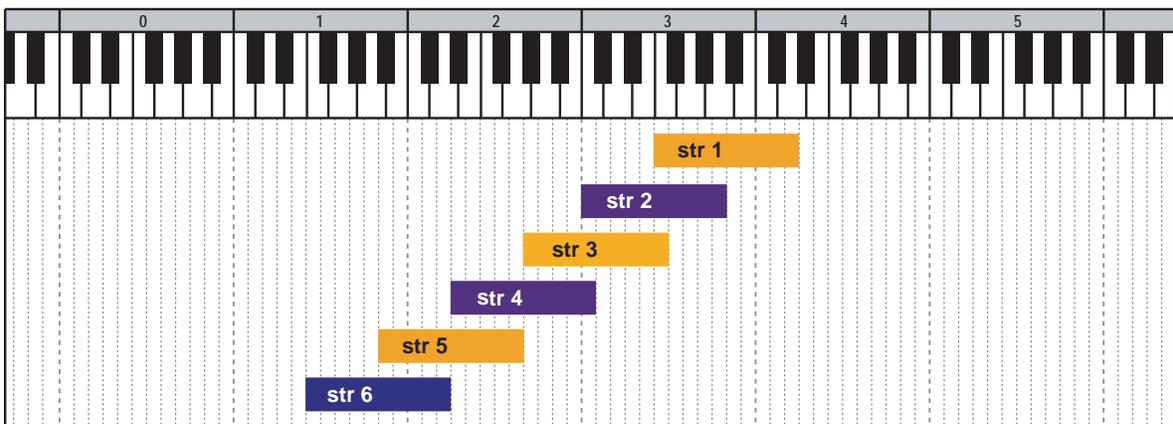
025\_single\_slide\_up\_10fret



026\_single\_slide\_up\_11fret

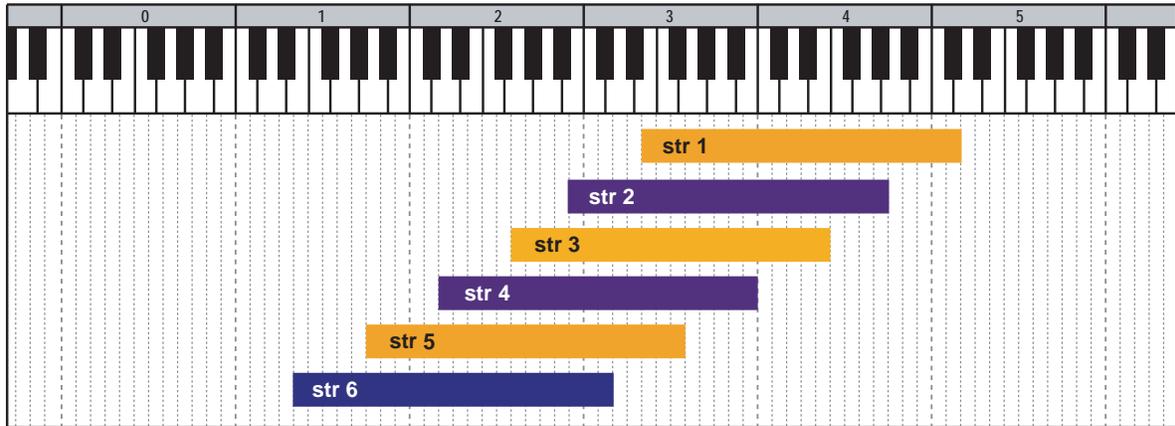


027\_single\_slide\_up\_12fret

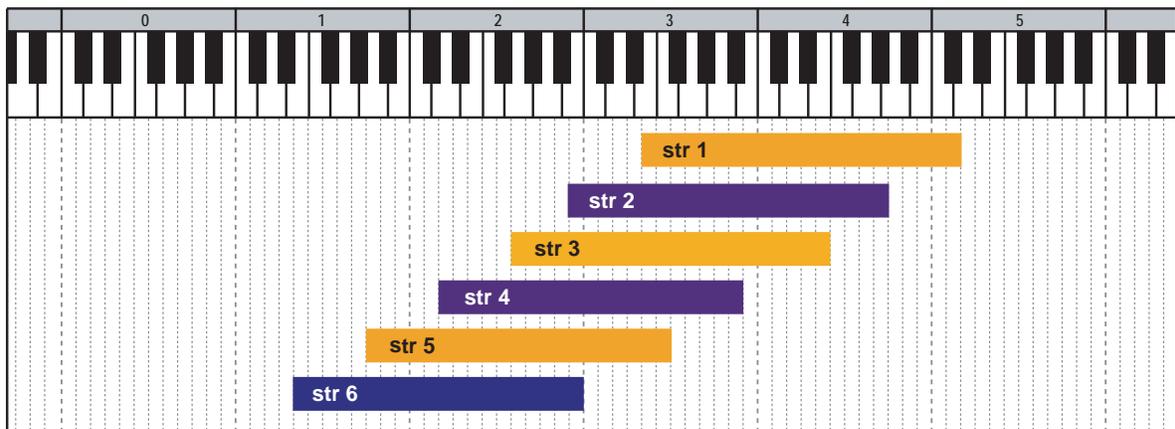


031\_single\_trill

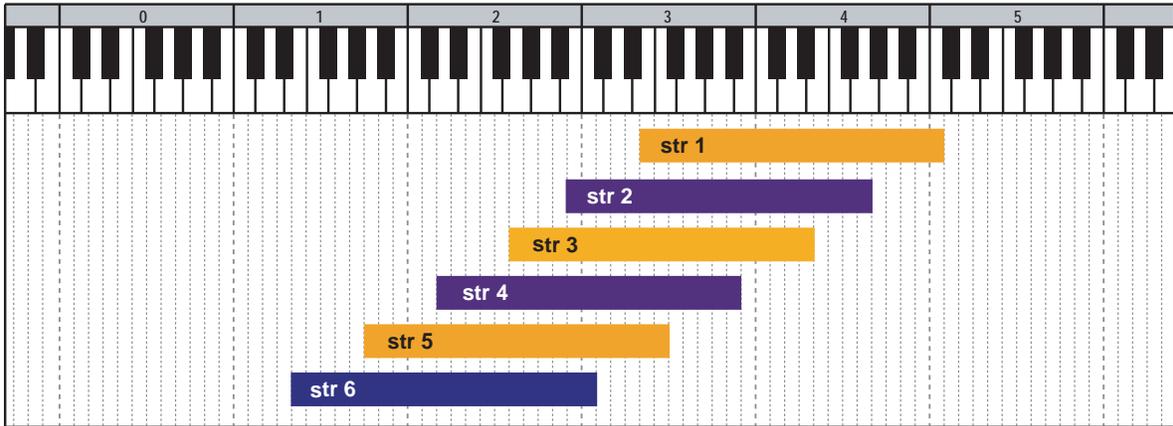
フル・マッピング (半音・単発トリル)



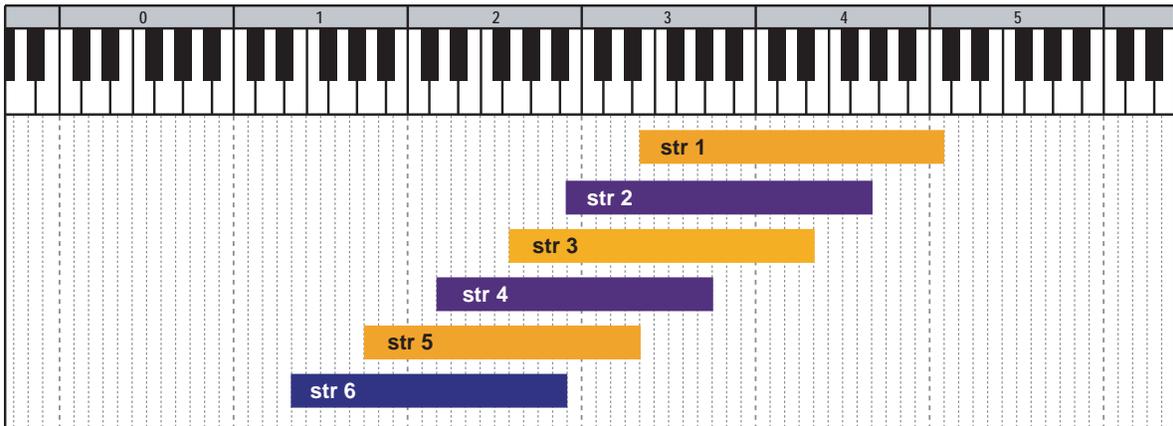
フル・マッピング (半音・連続トリル)



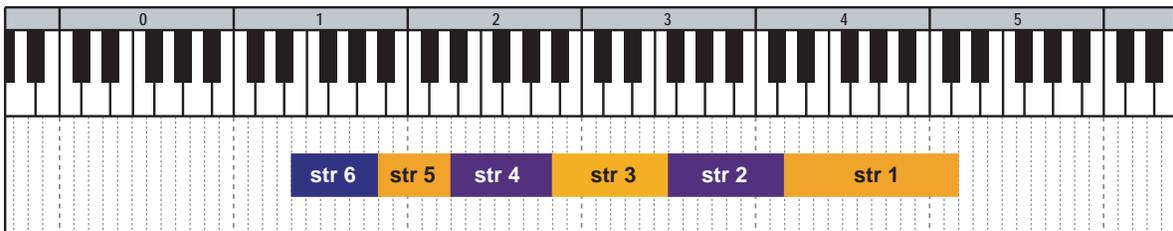
フル・マッピング (全音・単発トリル)



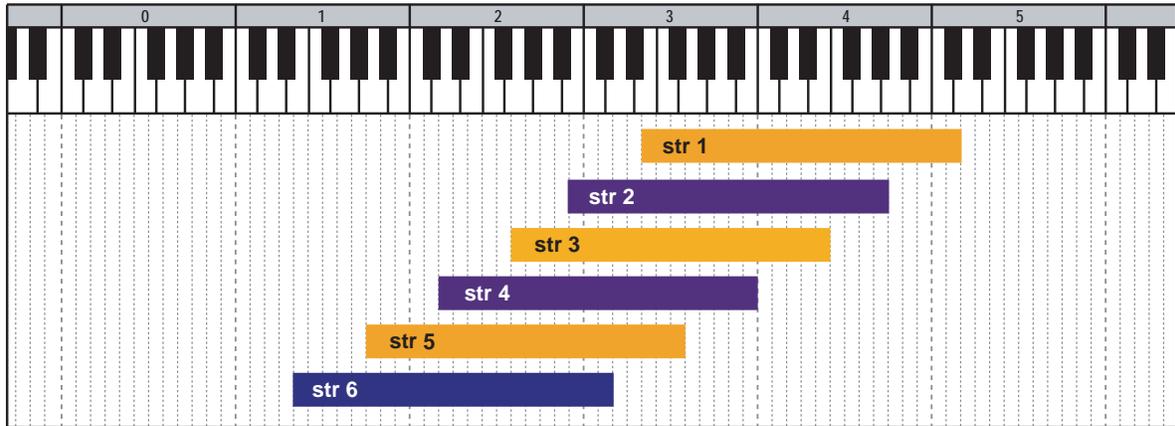
フル・マッピング (全音・連続トリル)



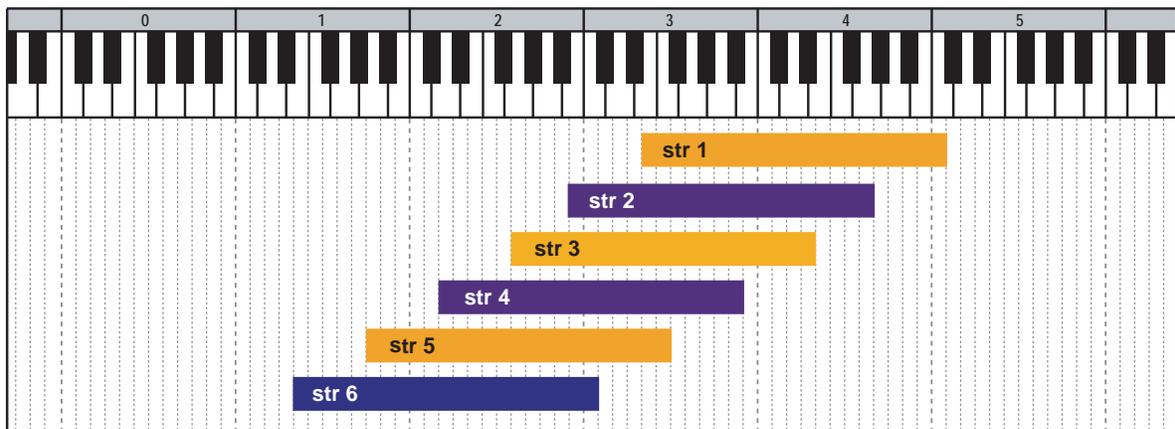
最適化・マッピング



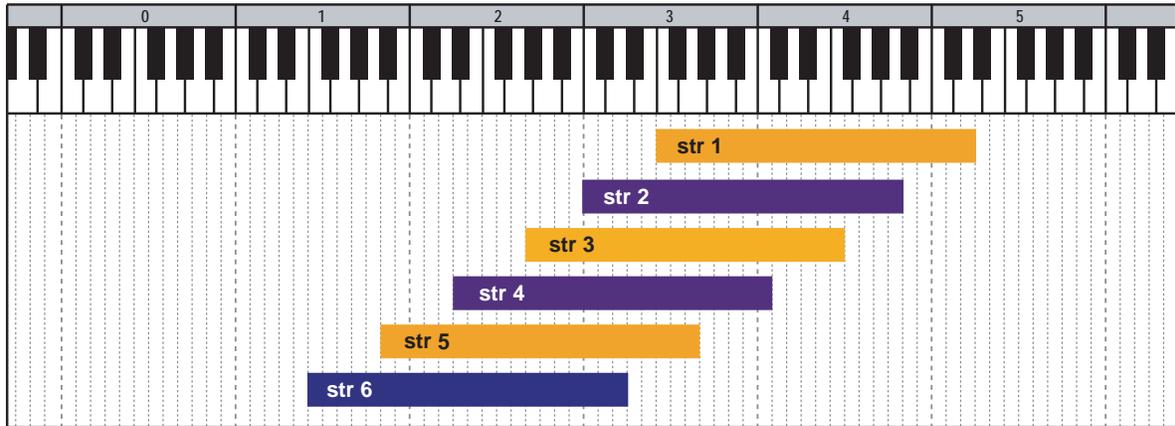
半音ハンマリング



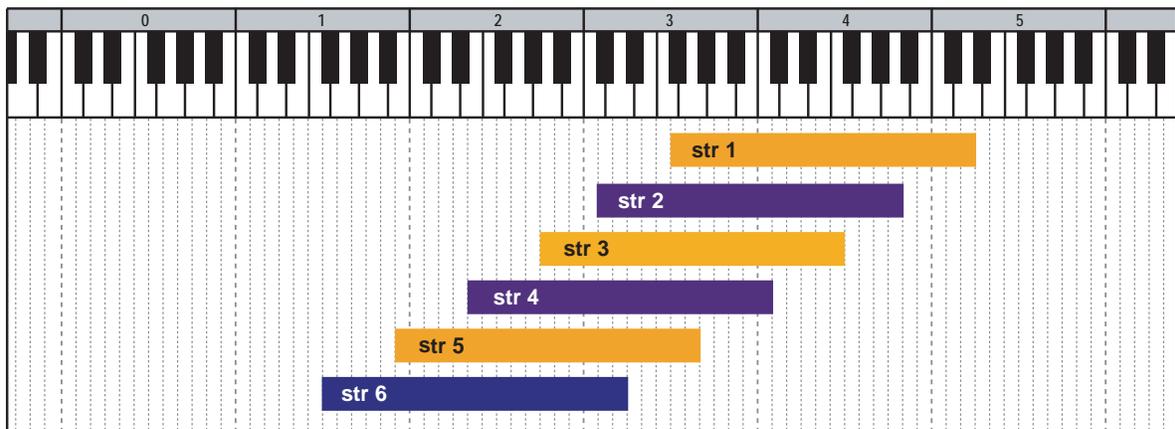
全音ハンマリング



半音プリング

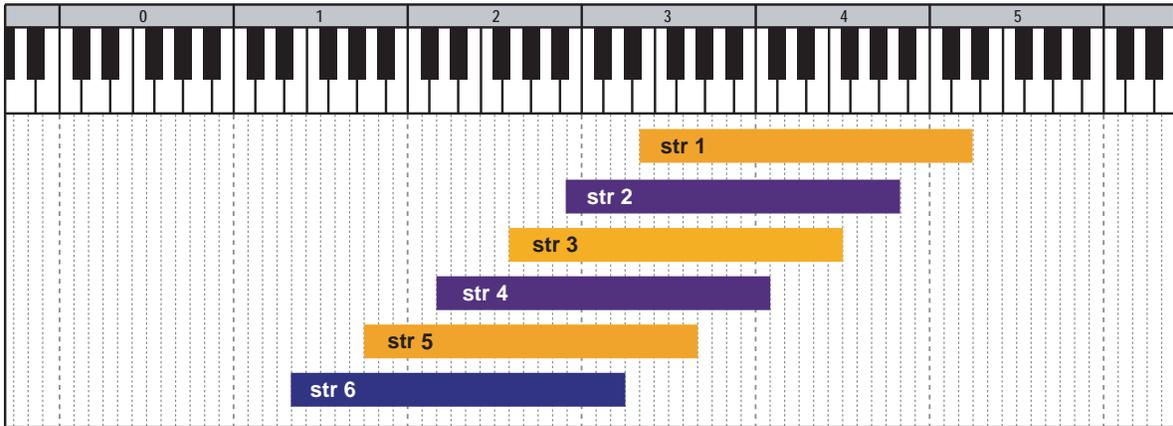


全音プリング

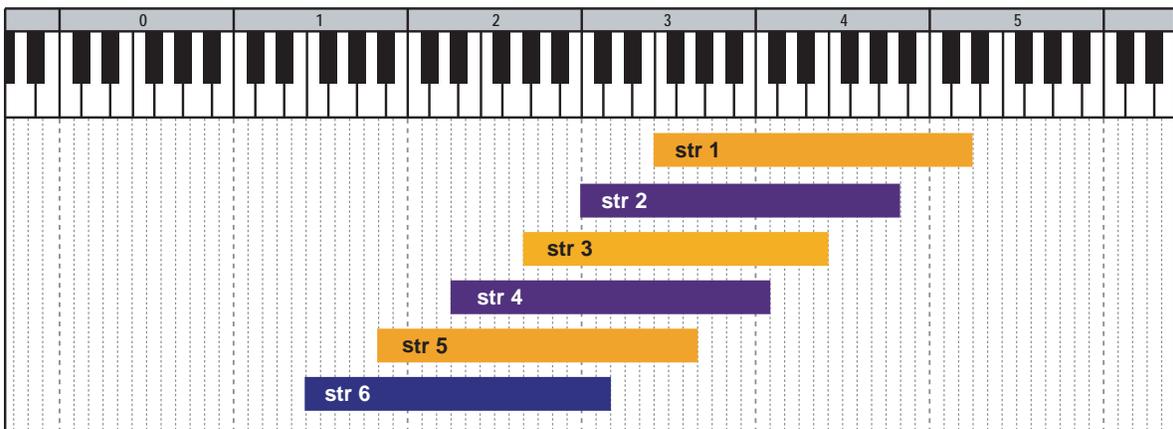


034\_single\_picking\_harmonics

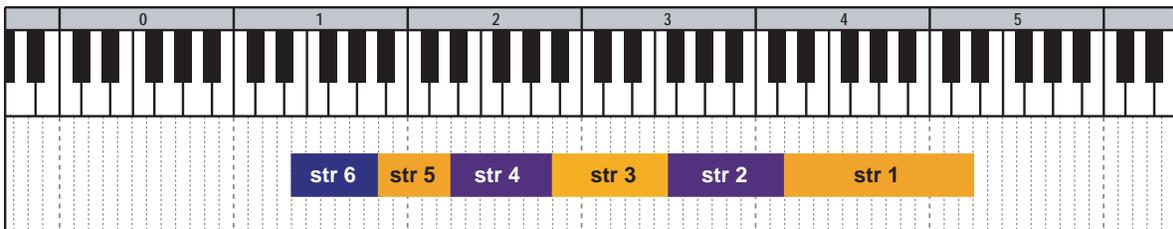
フル・マッピング (ビブラートあり)



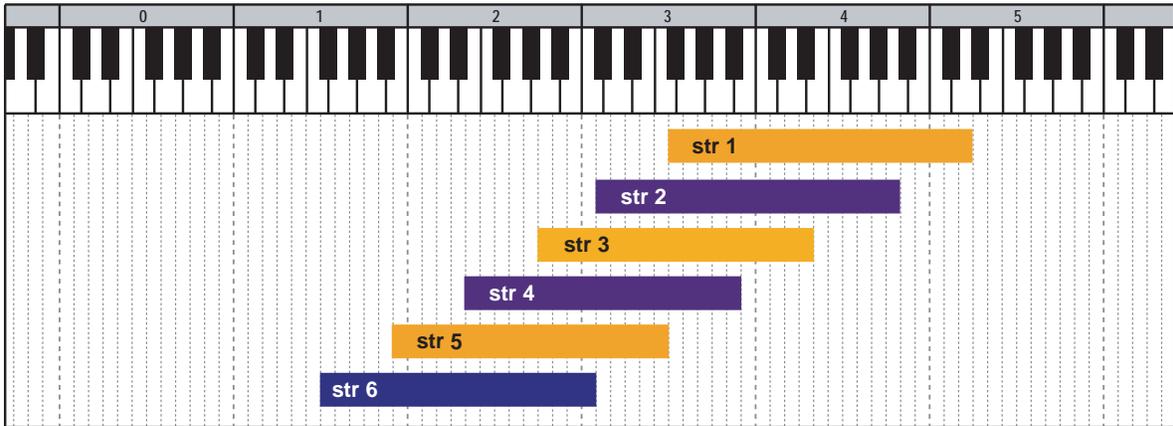
フル・マッピング (ビブラートなし)



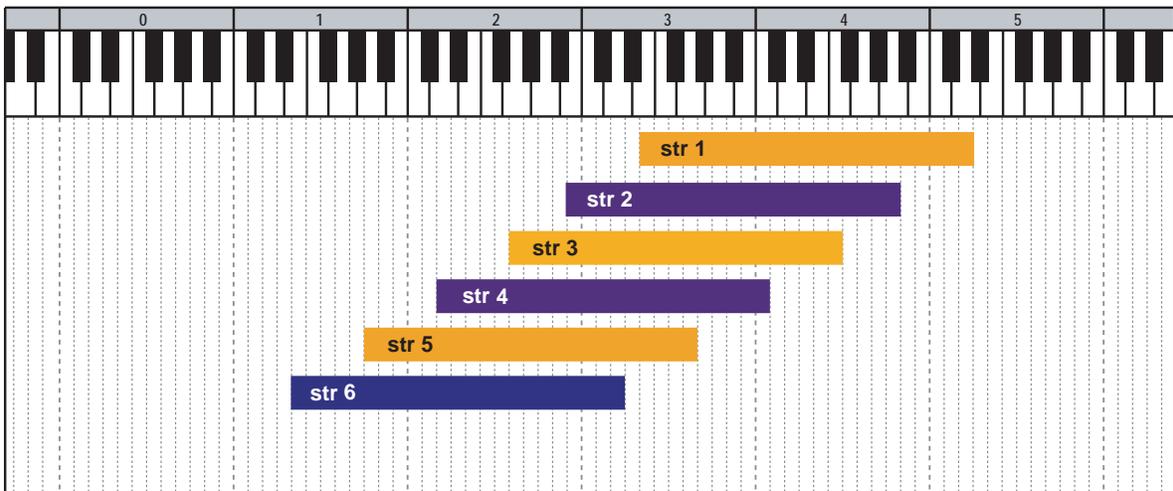
最適マッピング



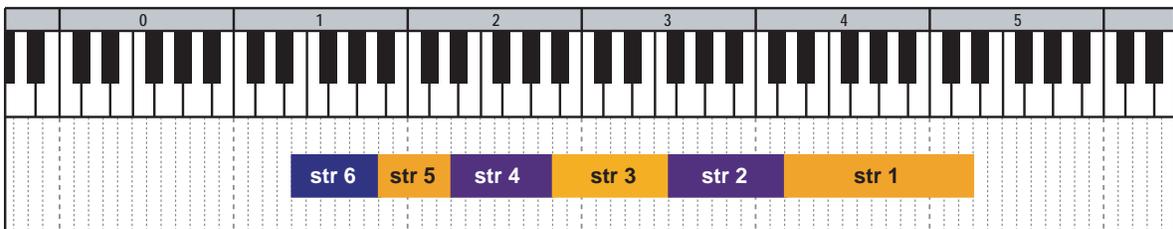
035\_single\_bend  
036\_s\_bend\_pick\_harm



126\_tremolo\_picking



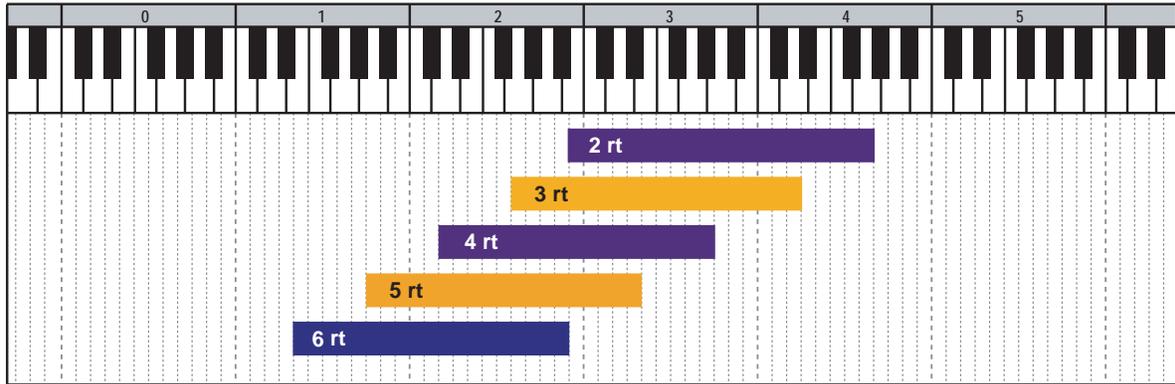
Optimized Mapping



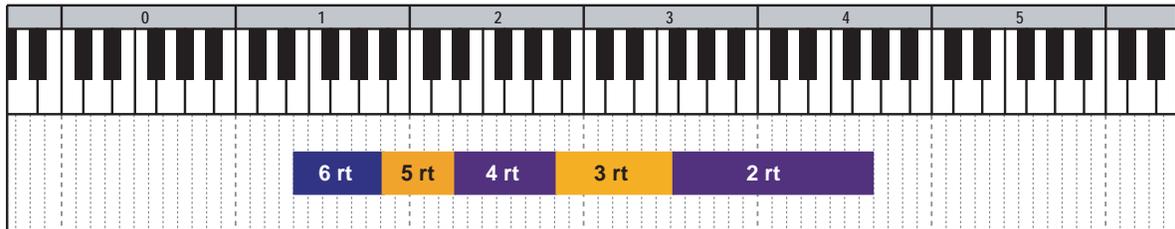
# 5th-dyad chord (5度コード)

037\_5th\_sustain

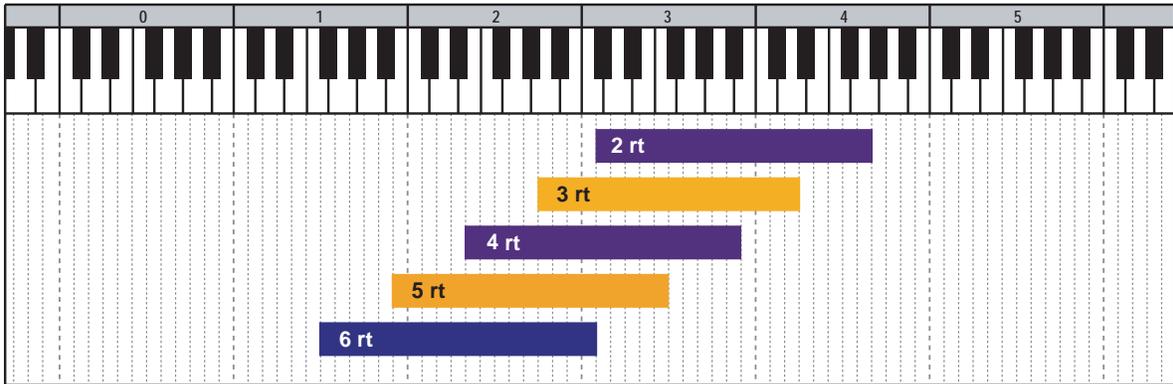
## フル・マッピング



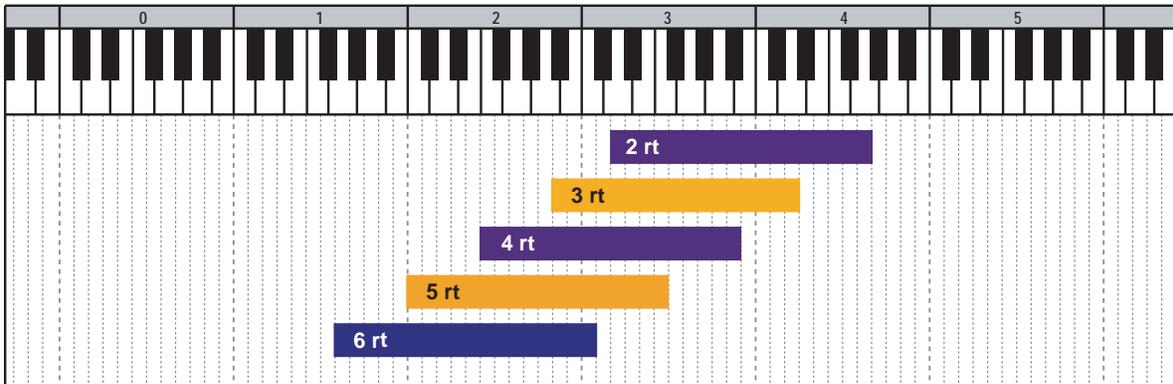
## オプティマイズ・マッピング



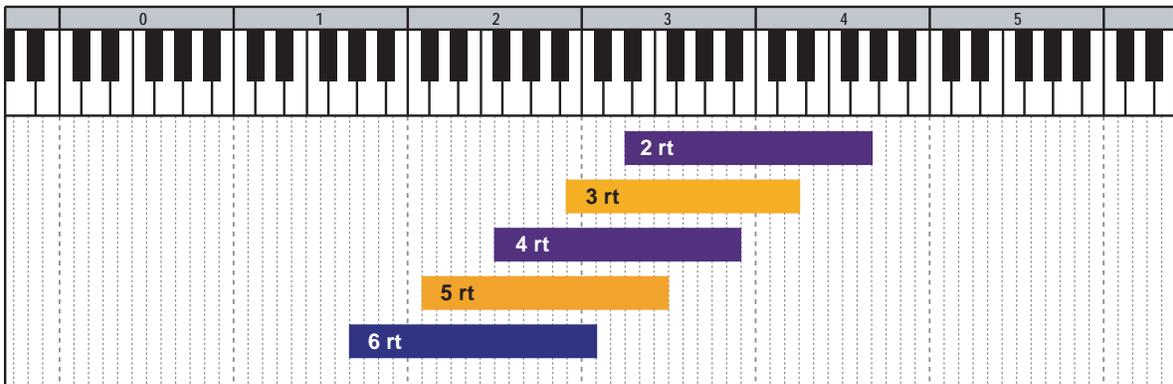
040\_5th\_slide\_down\_1fret



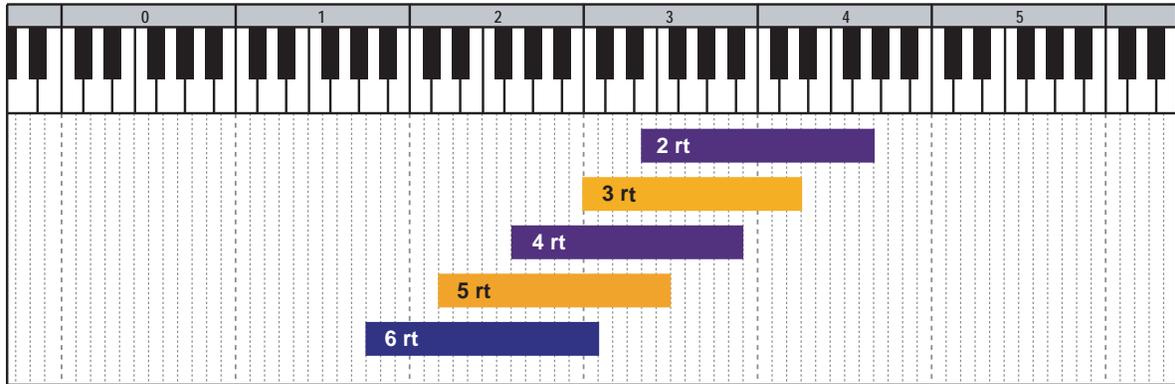
041\_5th\_slide\_down\_2fret



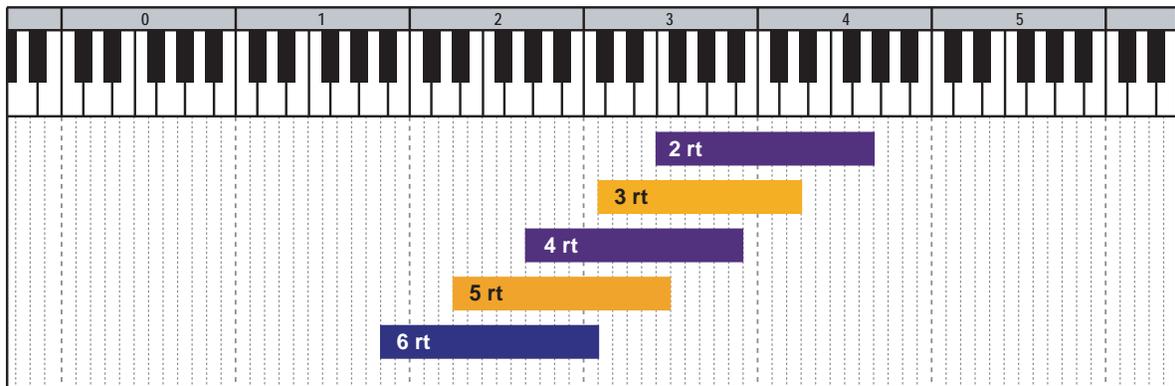
042\_5th\_slide\_down\_3fret



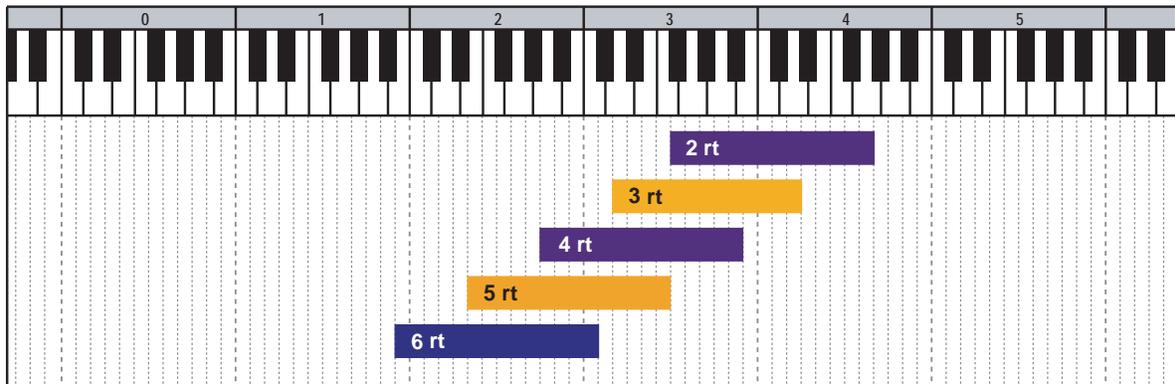
043\_5th\_slide\_down\_4fret



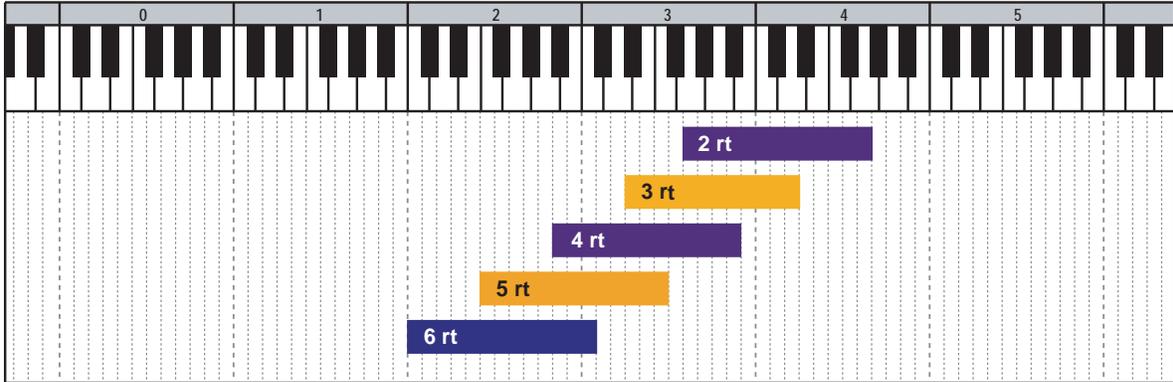
044\_5th\_slide\_down\_5fret



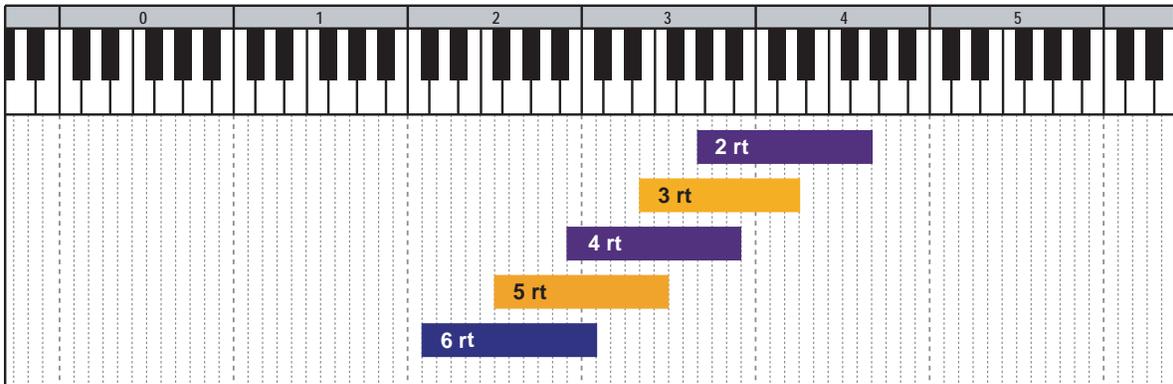
045\_5th\_slide\_down\_6fret



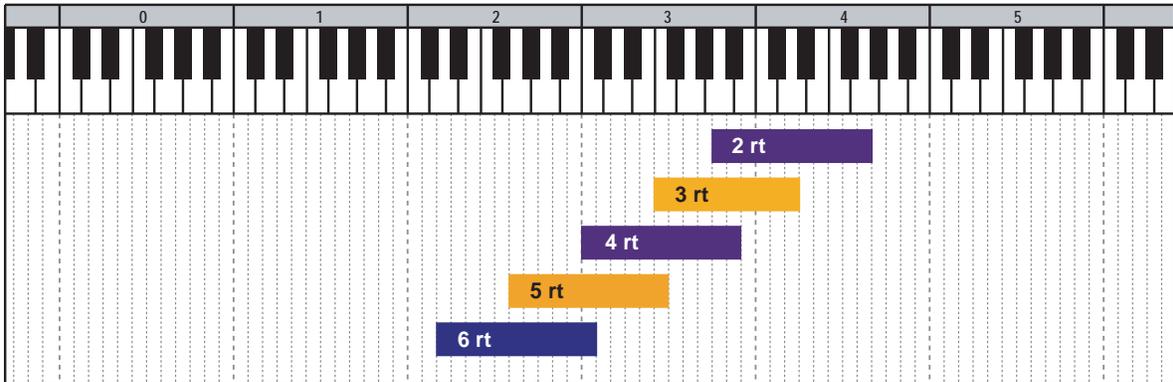
046\_5th\_slide\_down\_7fret



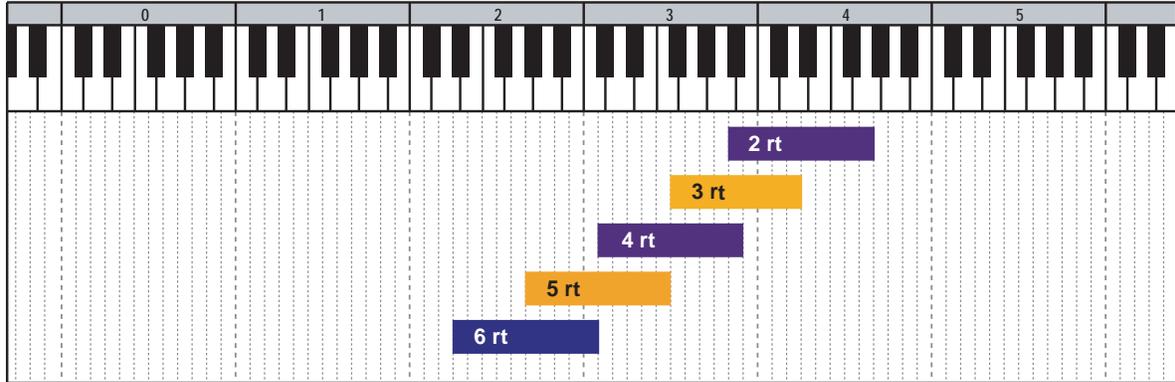
047\_5th\_slide\_down\_8fret



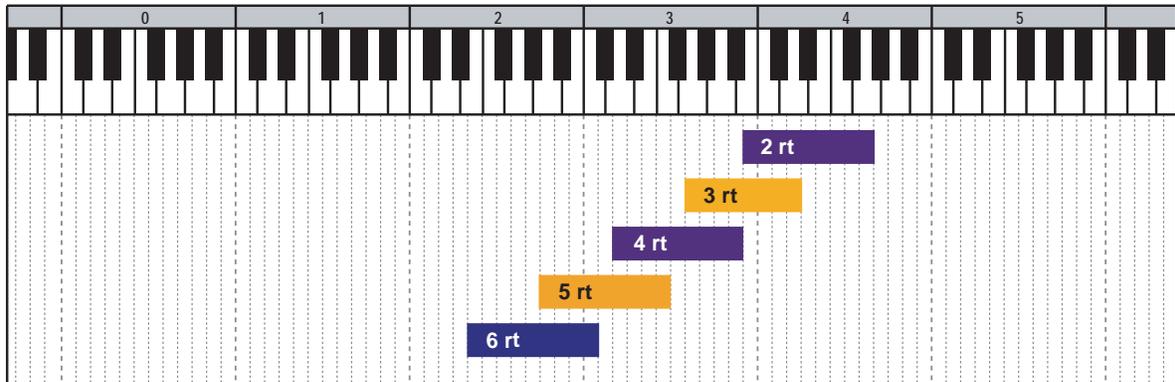
048\_5th\_slide\_down\_9fret



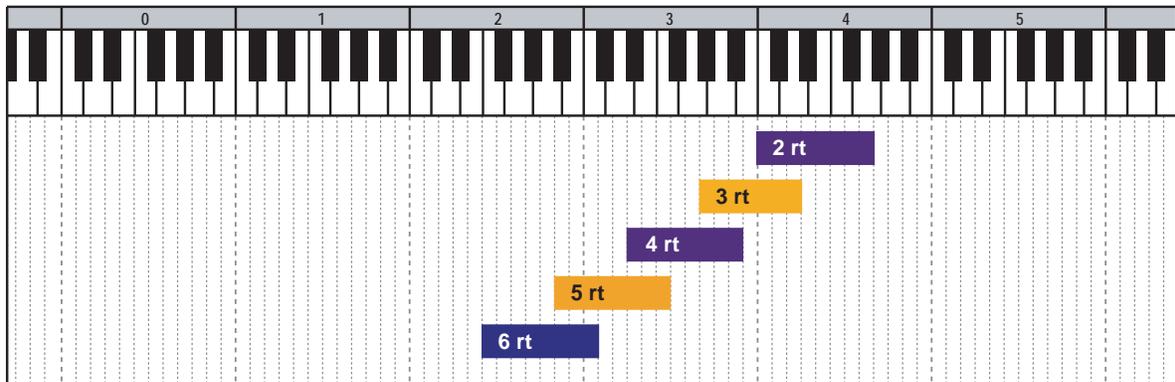
049\_5th\_slide\_down\_10fret



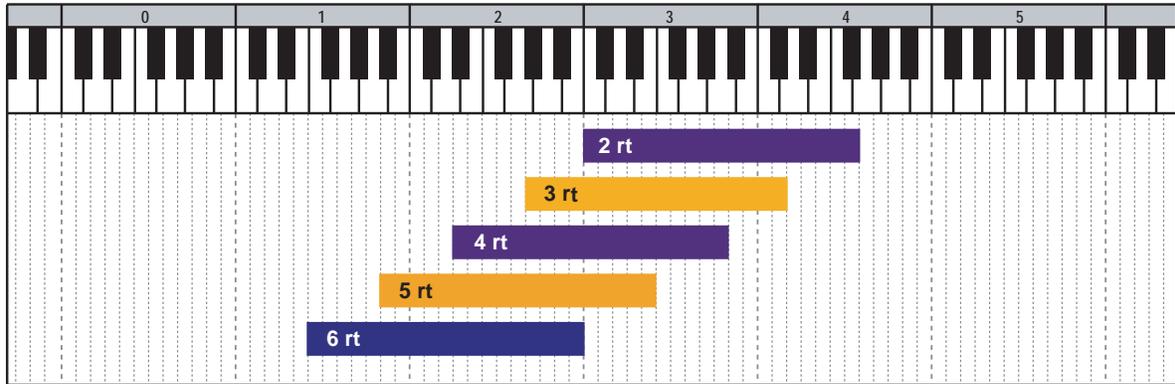
050\_5th\_slide\_down\_11fret



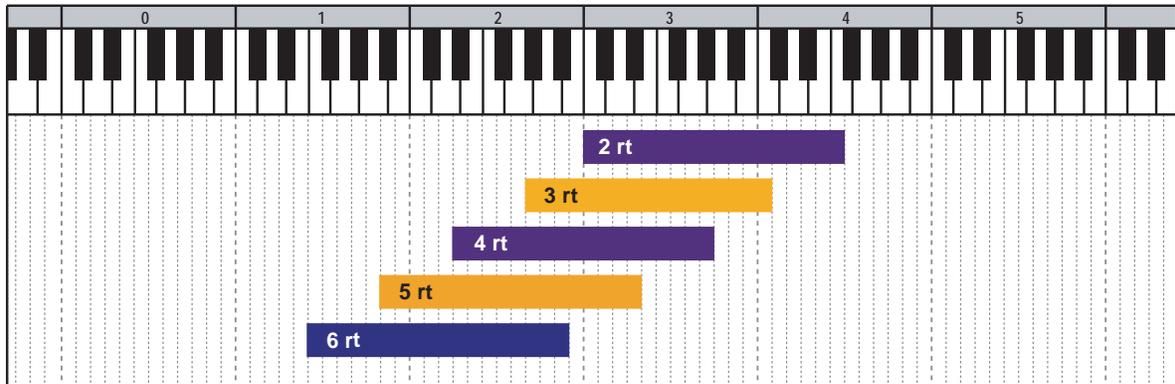
051\_5th\_slide\_down\_12fret



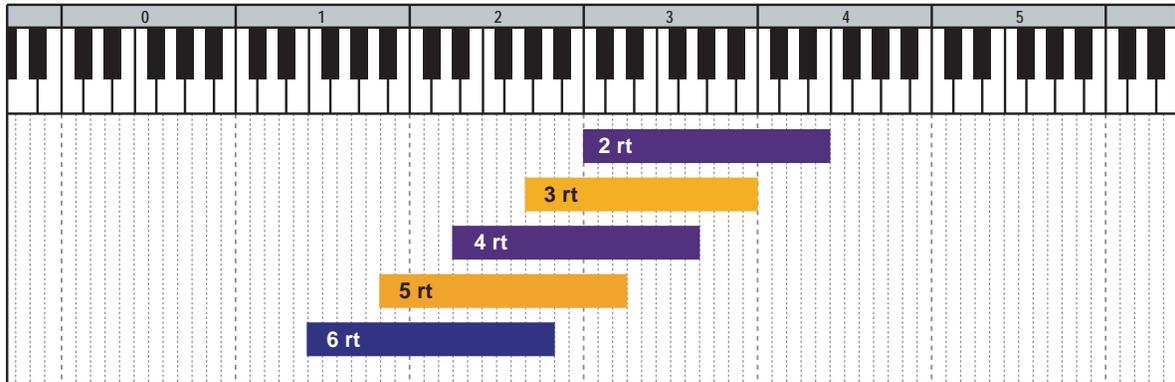
052\_5th\_slide\_up\_1fret



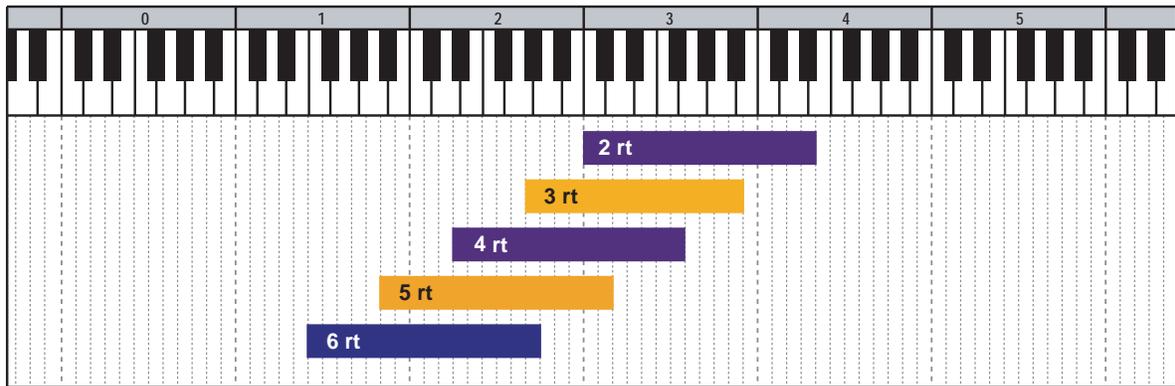
053\_5th\_slide\_up\_2fret



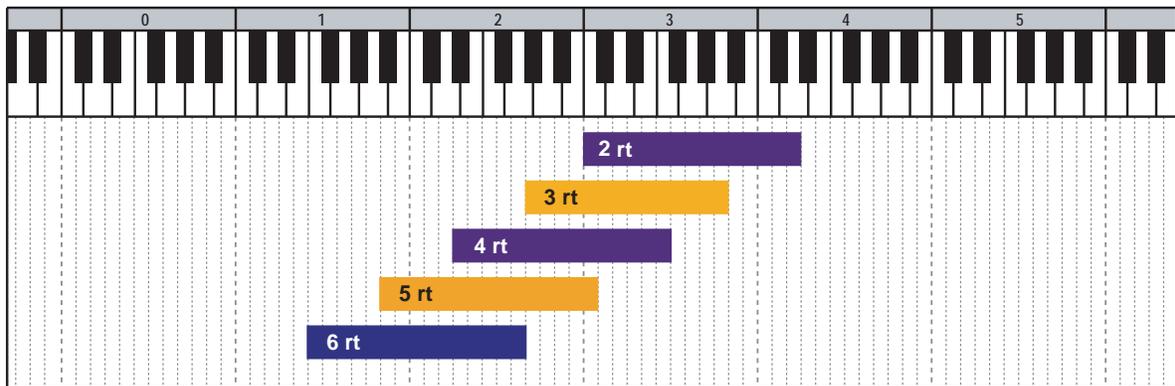
054\_5th\_slide\_up\_3fret



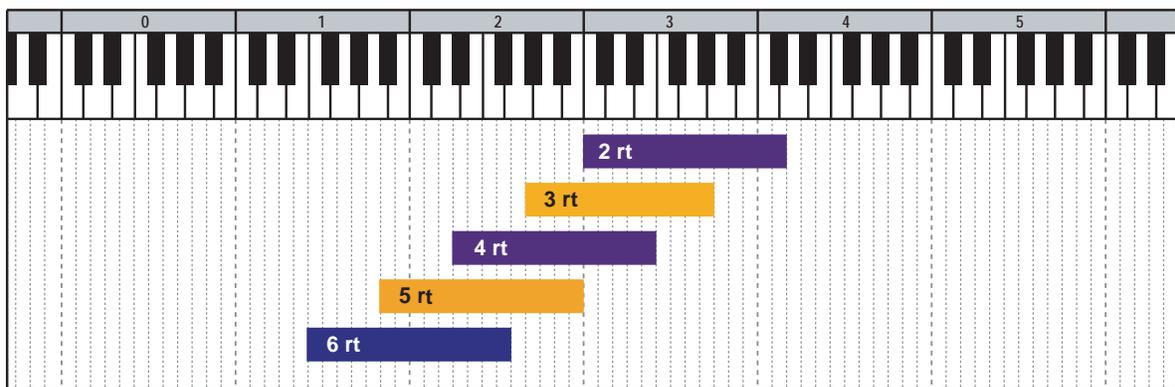
055\_5th\_slide\_up\_4fret



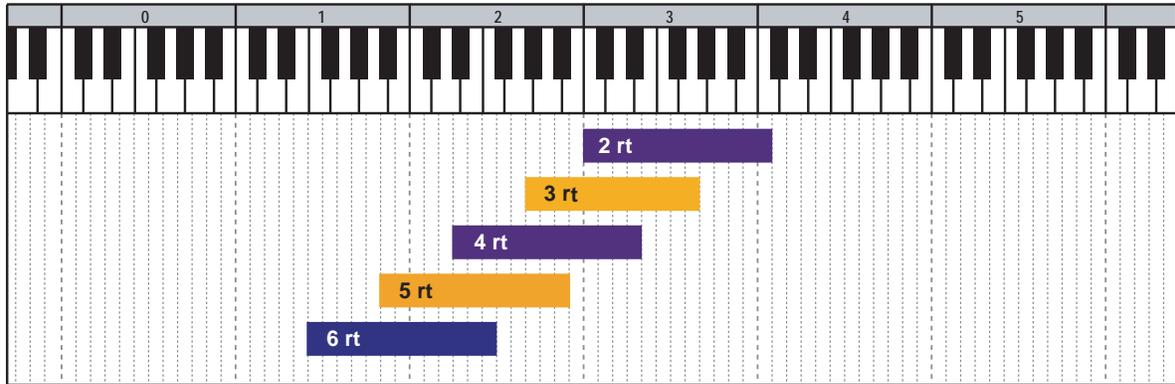
056\_5th\_slide\_up\_5fret



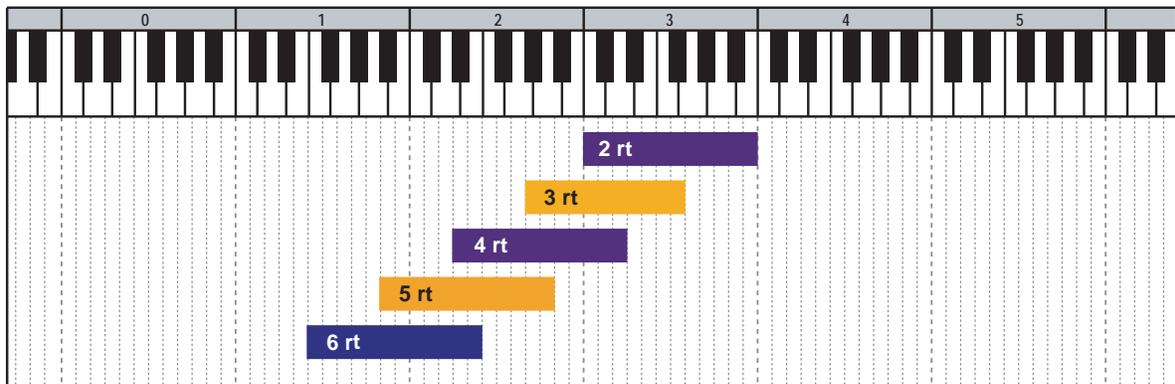
057\_5th\_slide\_up\_6fret



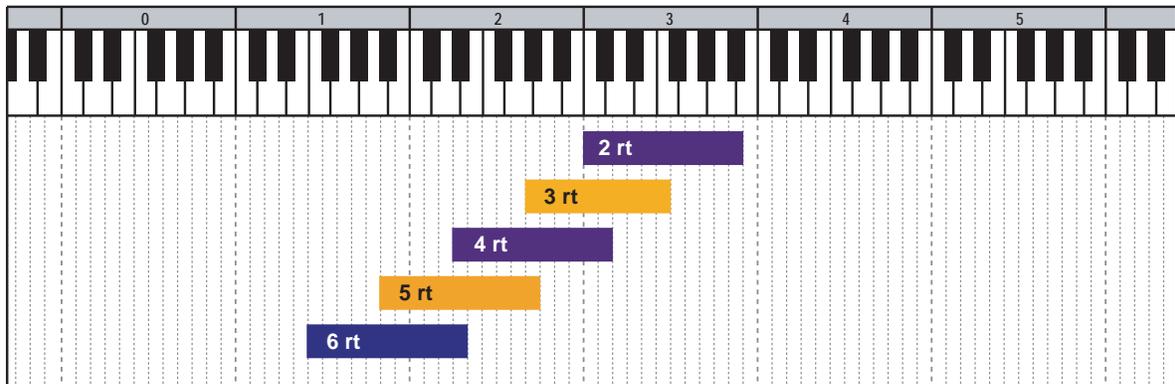
058\_5th\_slide\_up\_7fret



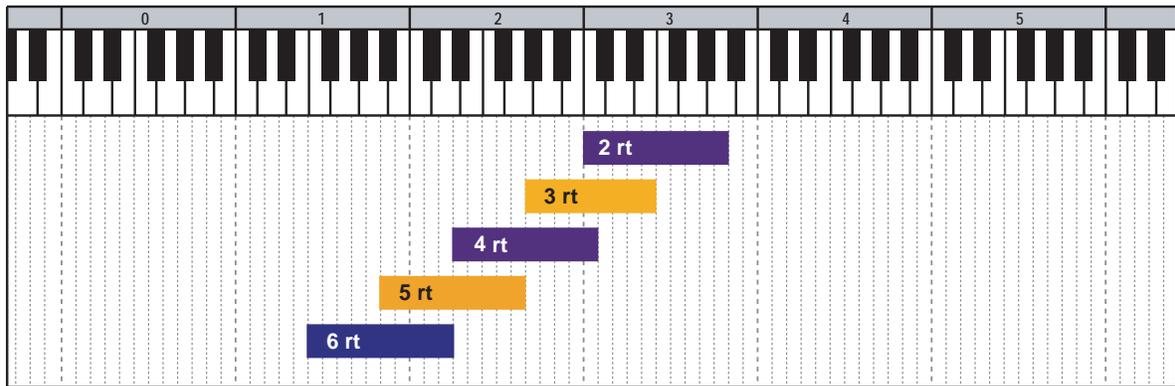
059\_5th\_slide\_up\_8fret



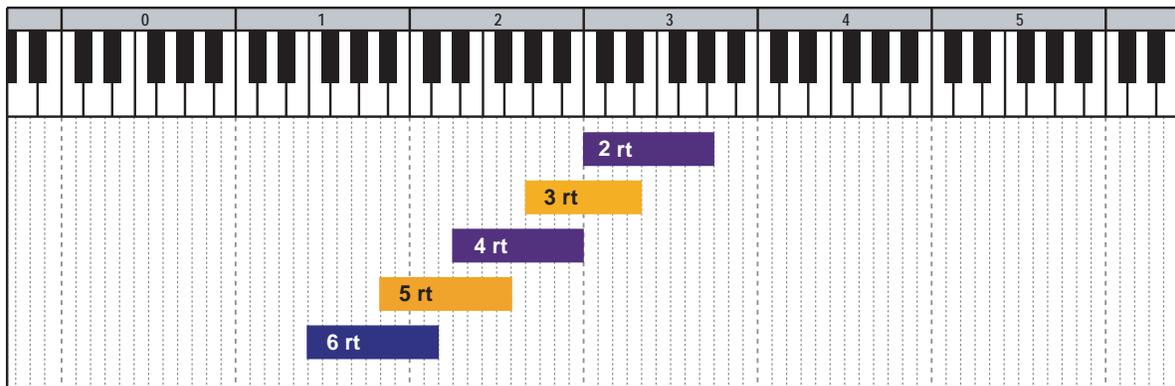
060\_5th\_slide\_up\_9fret



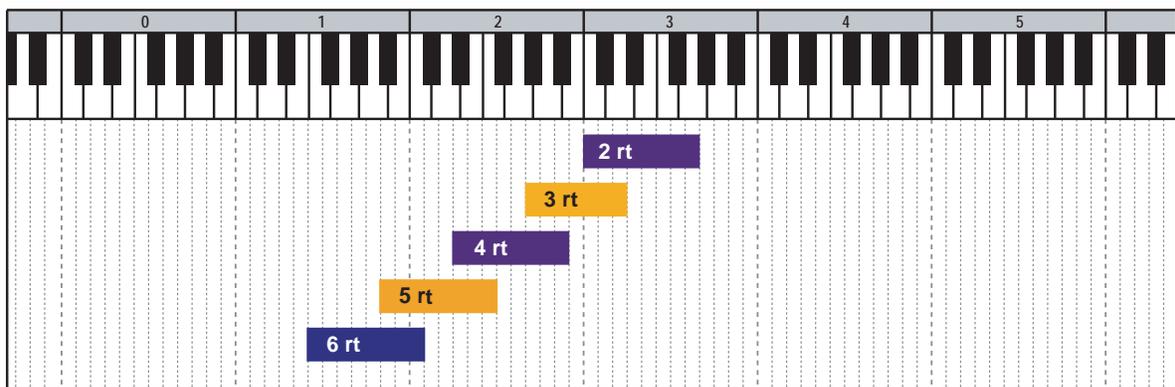
061\_5th\_slide\_up\_10fret



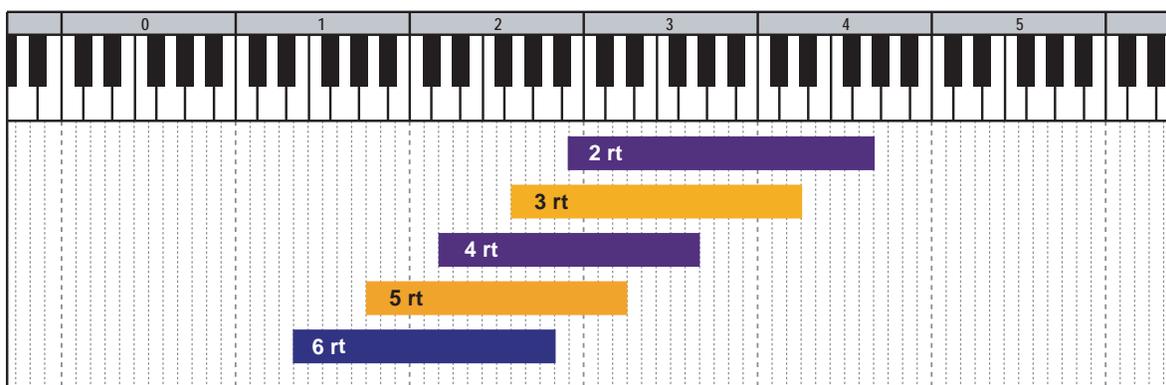
062\_5th\_slide\_up\_11fret



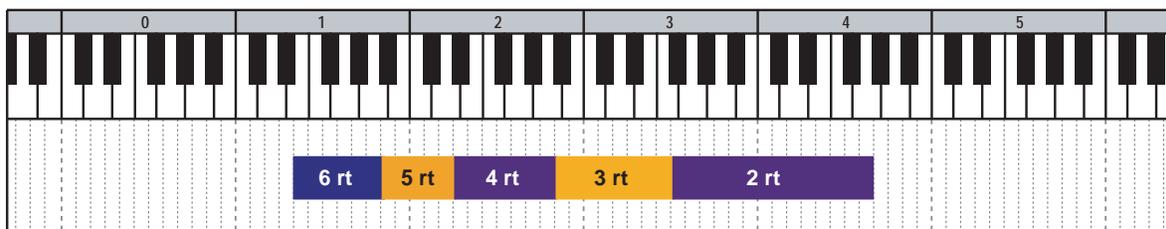
063\_5th\_slide\_up\_12fret



フル・マッピング

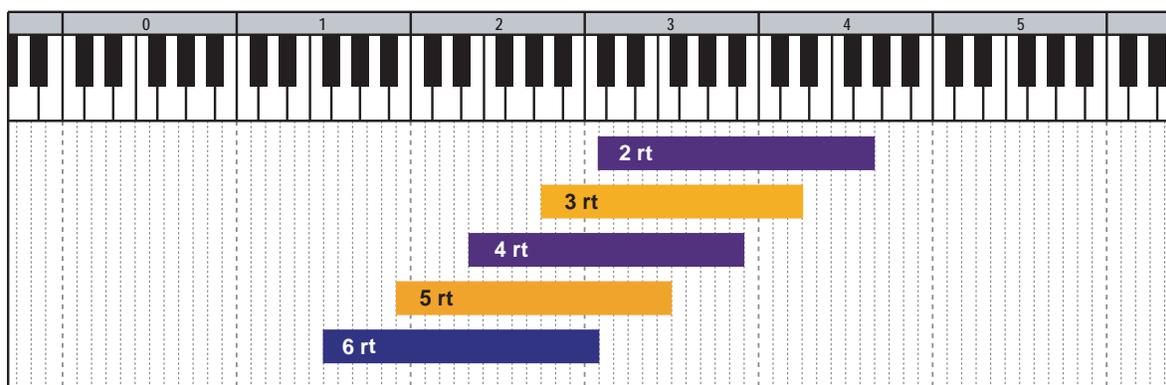


最適化・マッピング

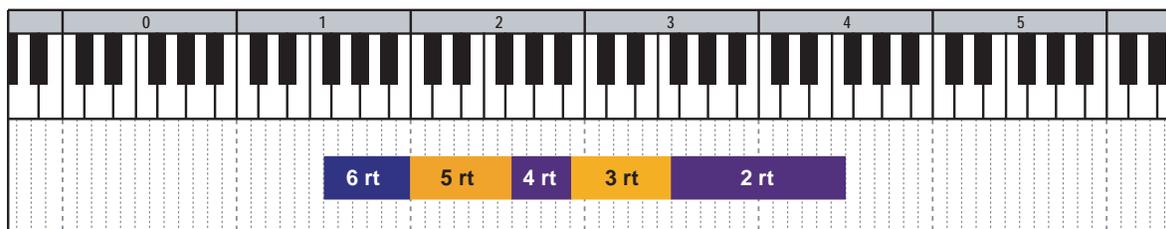


065\_5th\_gliss\_down

フル・マッピング



オプティマイズ・マッピング

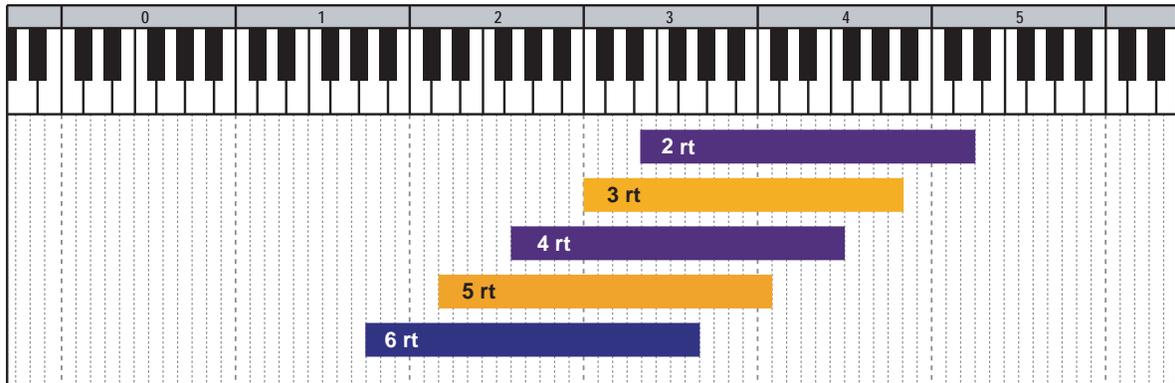


# 4th-dyad chord (4度コード)

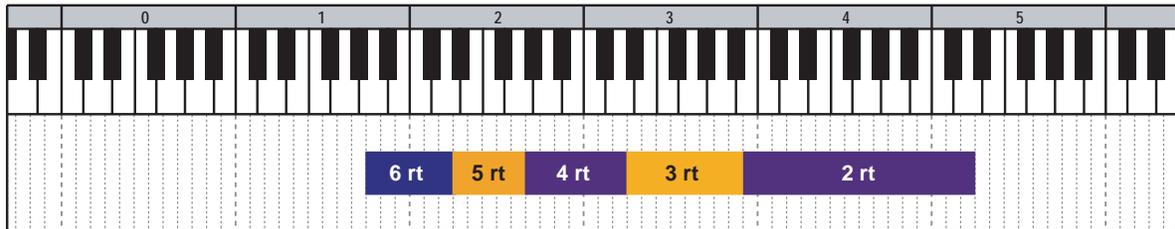
071\_4th\_sustain

098\_4th\_mute

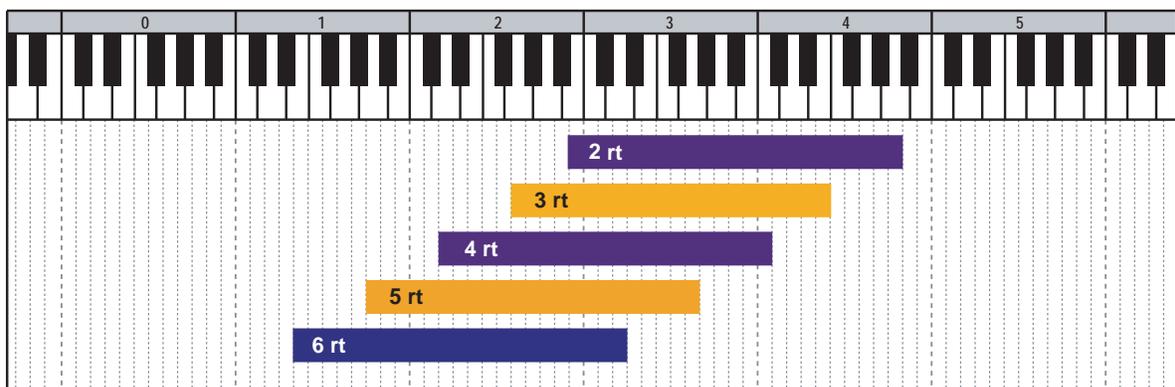
フル・マッピング (top note = key)



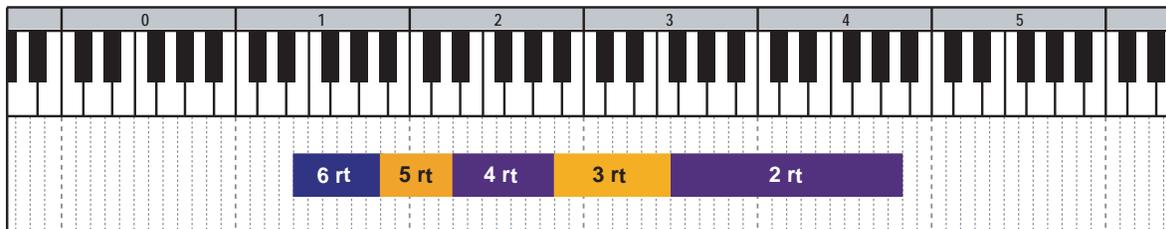
オプティマイズ・マッピング (top note = key)



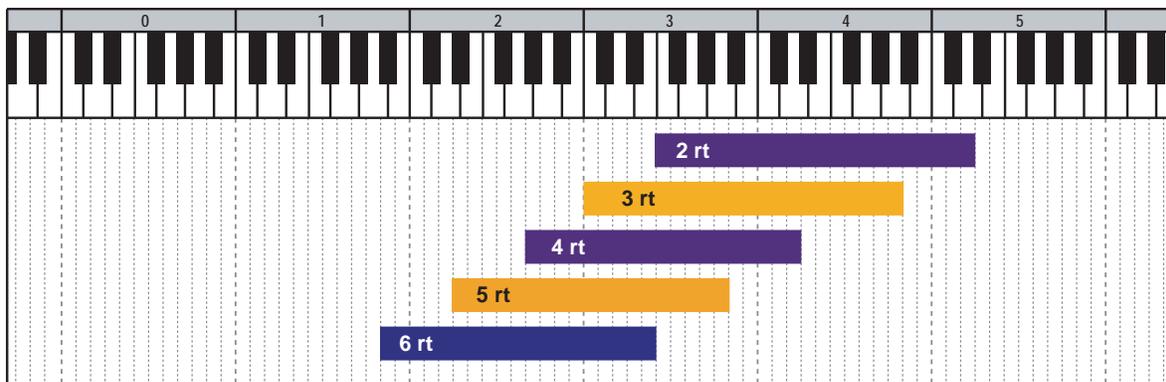
フル・マッピング (bottom note = key)



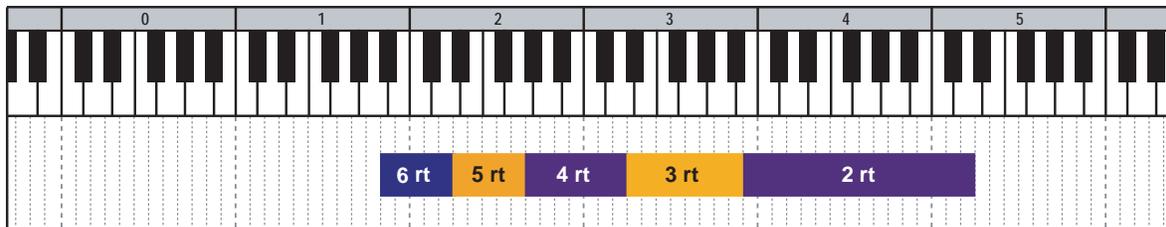
最適化・マッピング (bottom note = key)



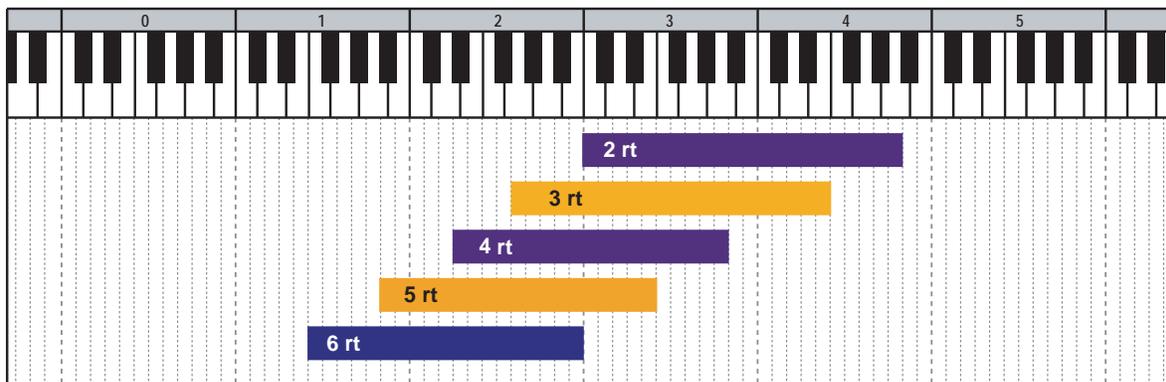
フル・マッピング (ビブラート: top note = key)



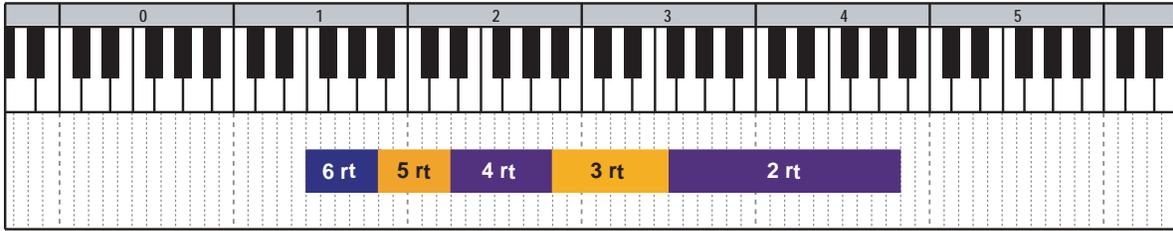
最適化・マッピング (ビブラート: top note = key)



フル・マッピング (ビブラート: bottom note = key)

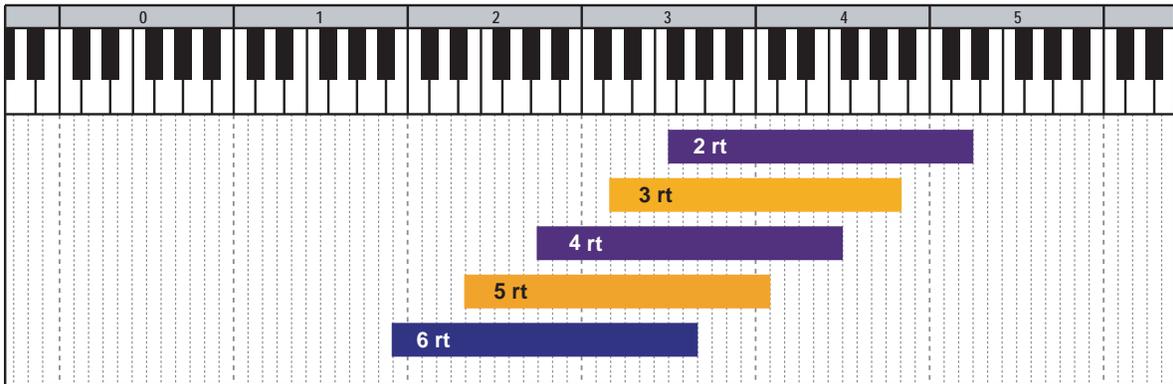


オプティマイズ・マッピング (ビブラート: bottom note = key)

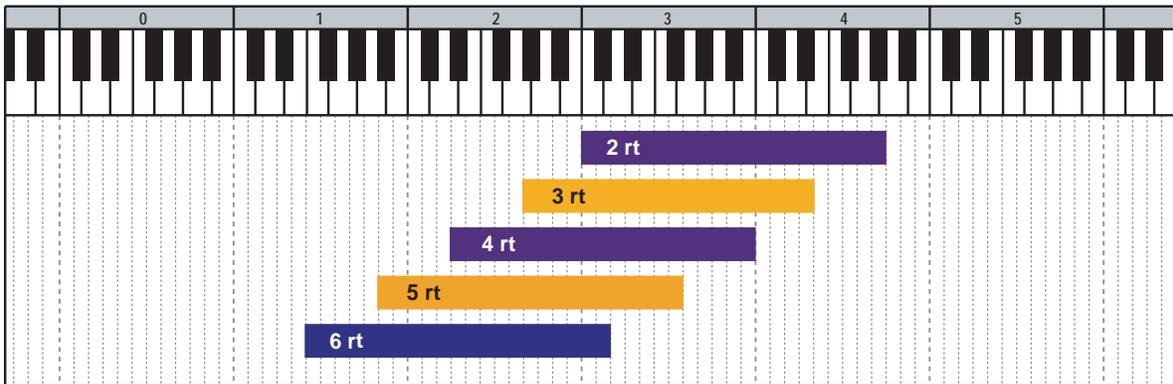


074\_4th\_slide\_down\_1fret

(top note = key)

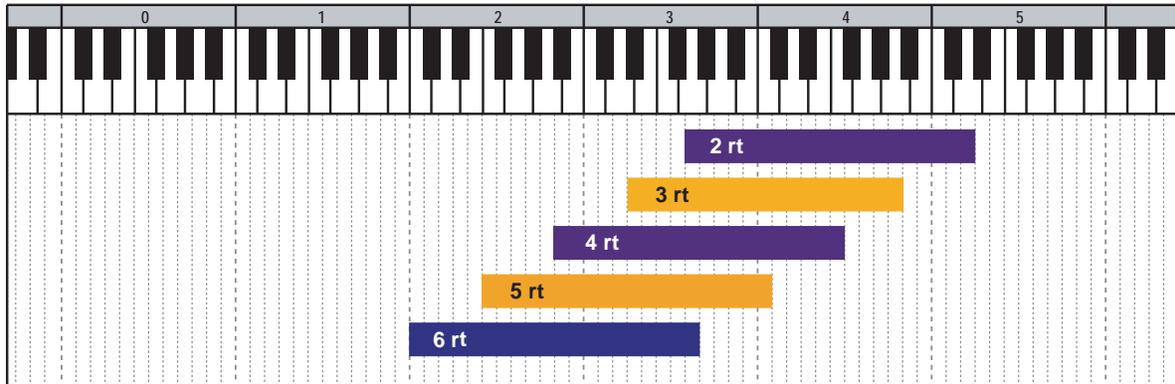


(bottom note = key)

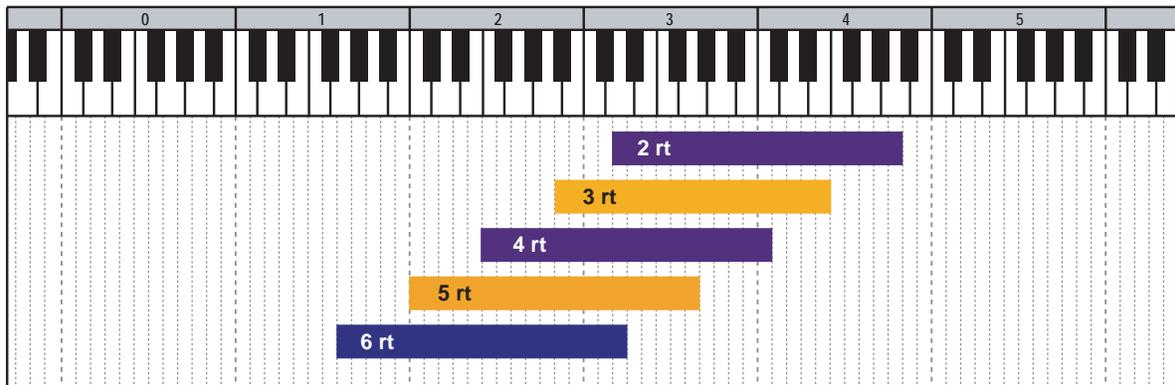


075\_4th\_slide\_down\_2fret

(top note = key)

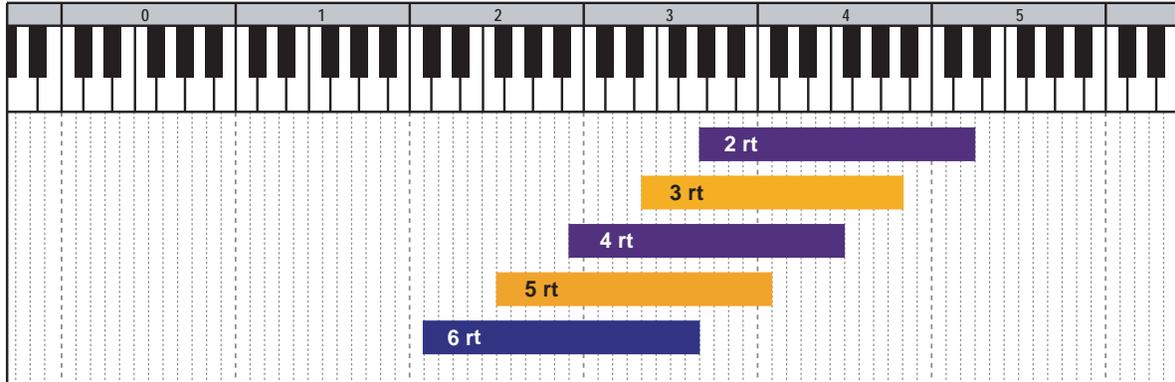


(bottom note = key)

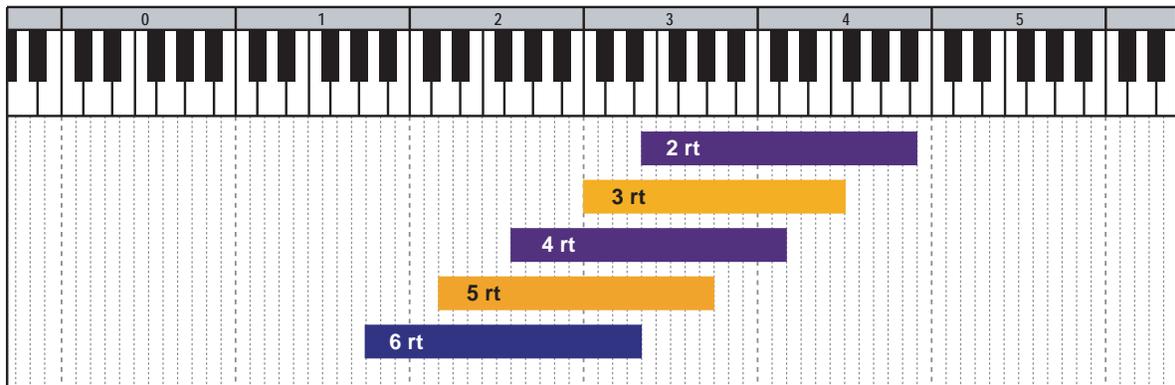


076\_4th\_slide\_down\_3fret

(top note = key)

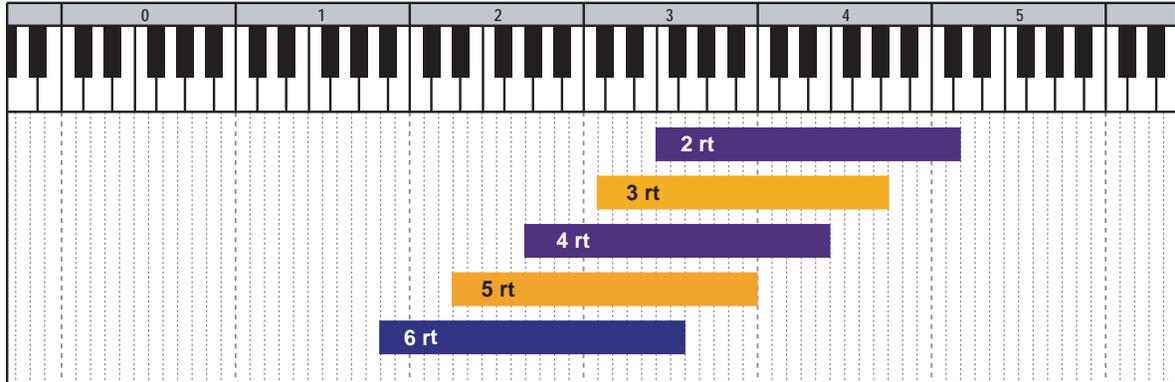


(bottom note = key)

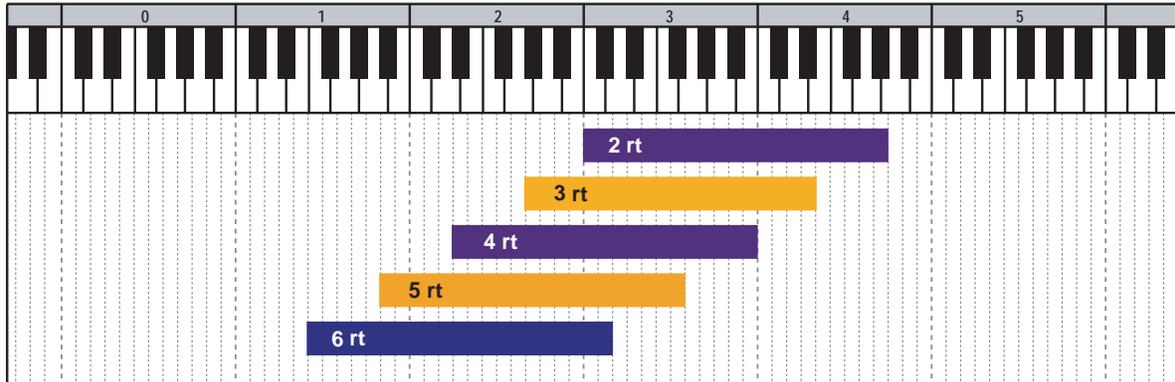


086\_4th\_slide\_up\_1fret

(top note = key)

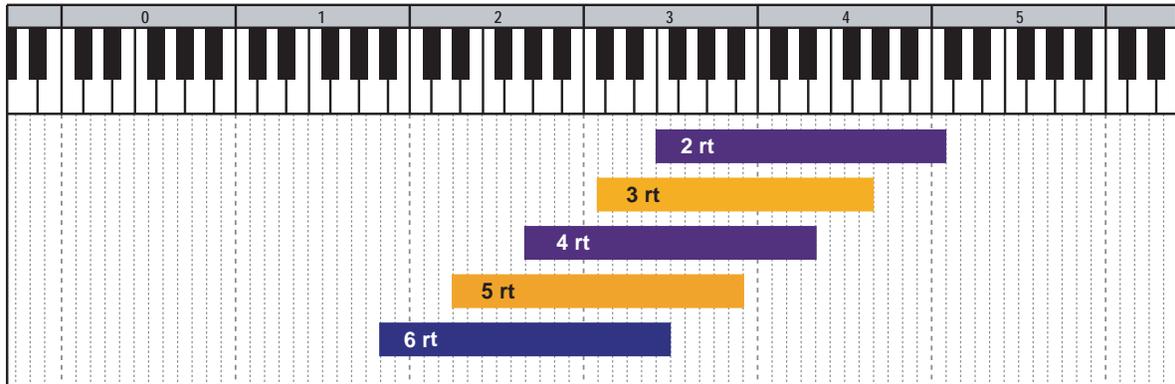


(bottom note = key)

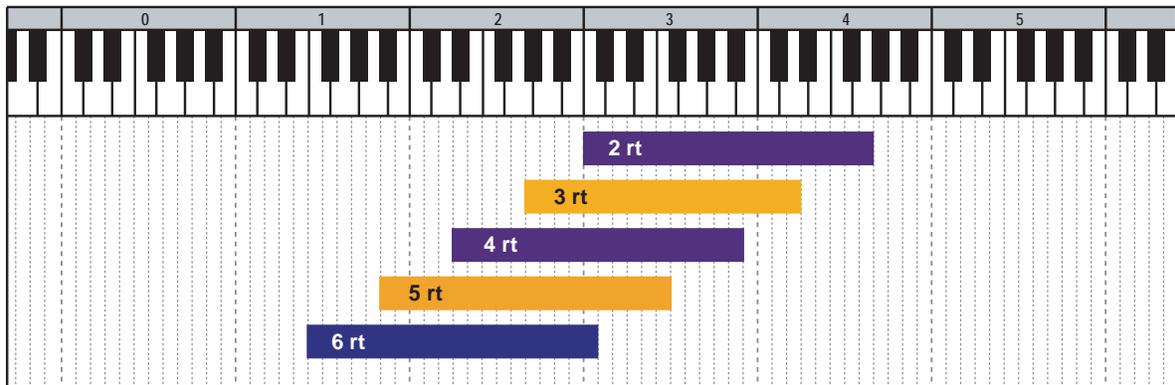


087\_4th\_slide\_up\_2fret

(top note = key)

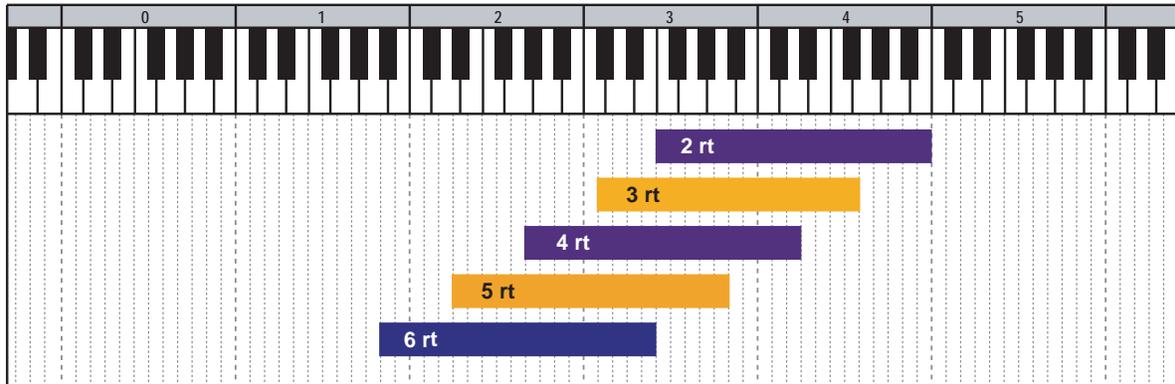


(bottom note = key)

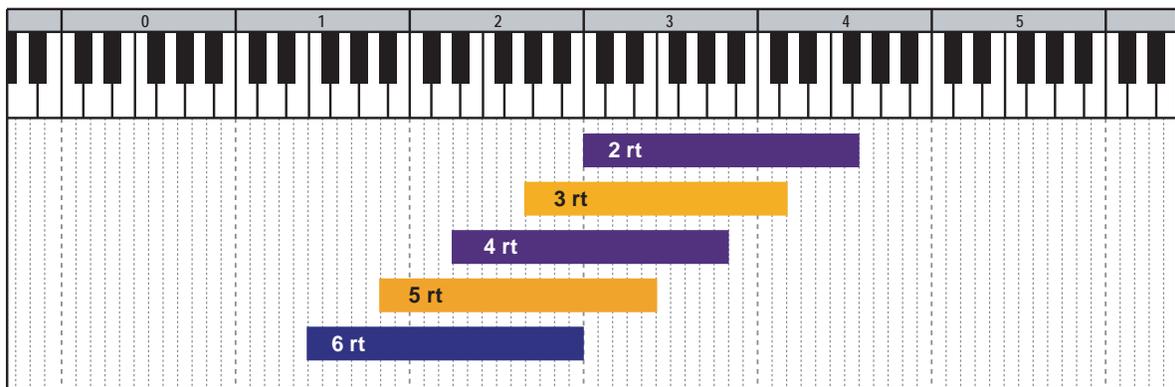


088\_4th\_slide\_up\_3fret

(top note = key)



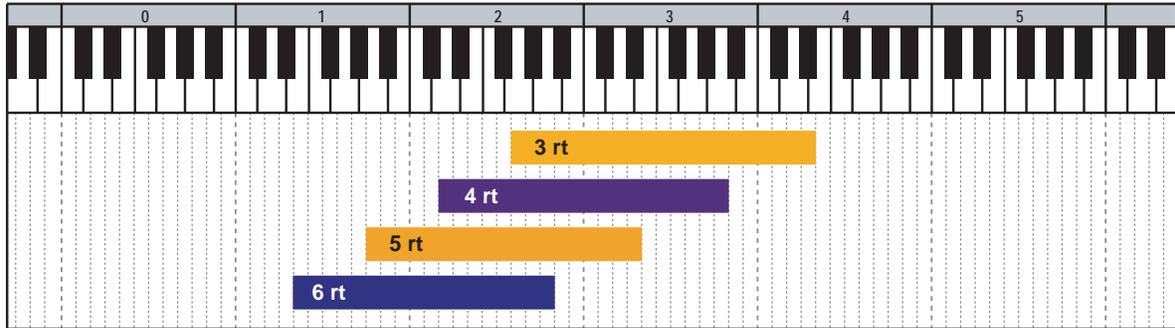
(bottom note = key)



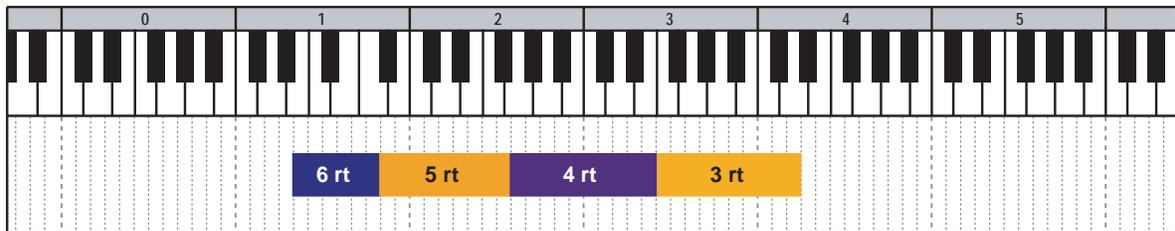
# Octave (オクターブ)

101\_octave\_sustain

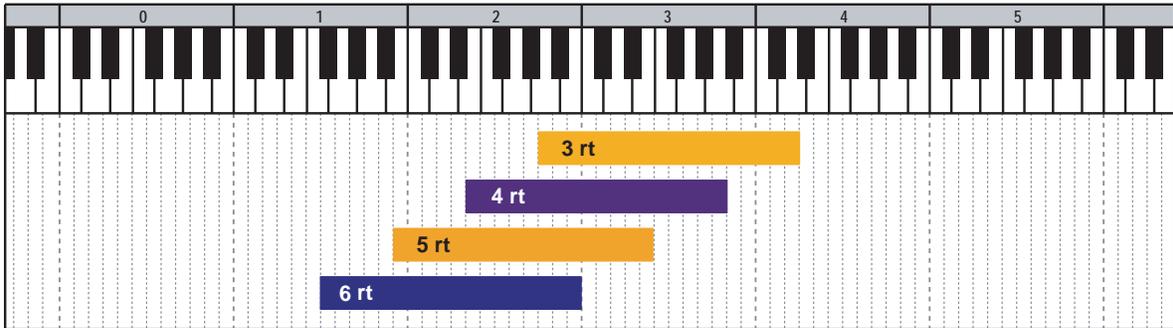
## フル・マッピング



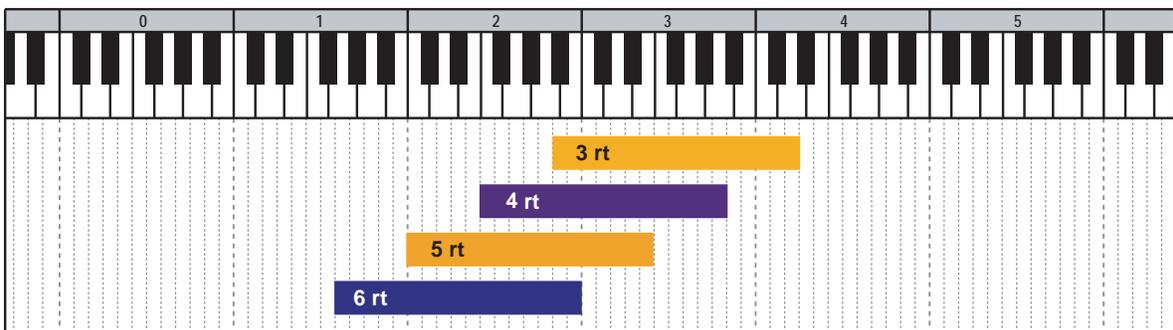
## 最適マッピング



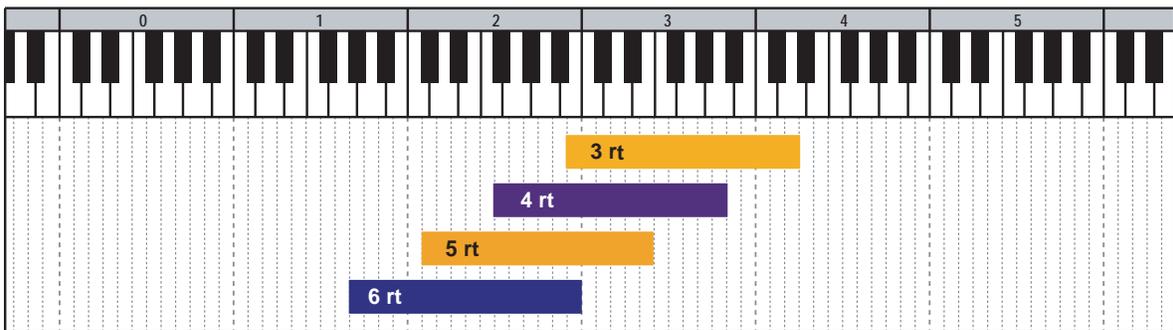
102\_octave\_slide\_down\_1fret



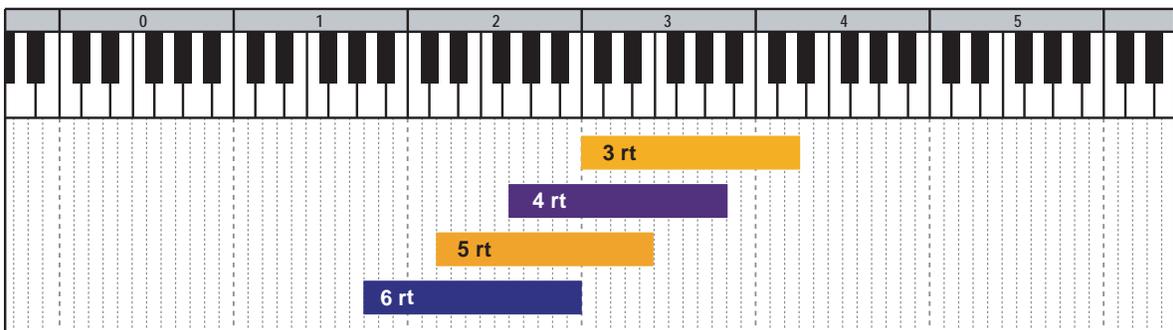
103\_octave\_slide\_down\_2fret



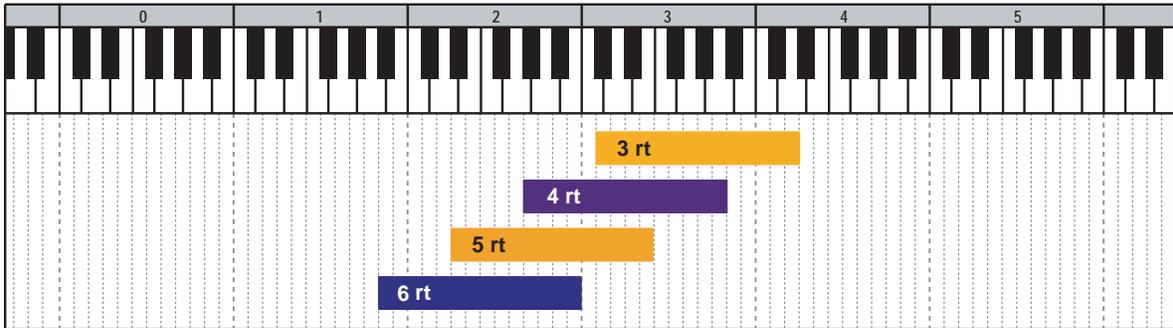
104\_octave\_slide\_down\_3fret



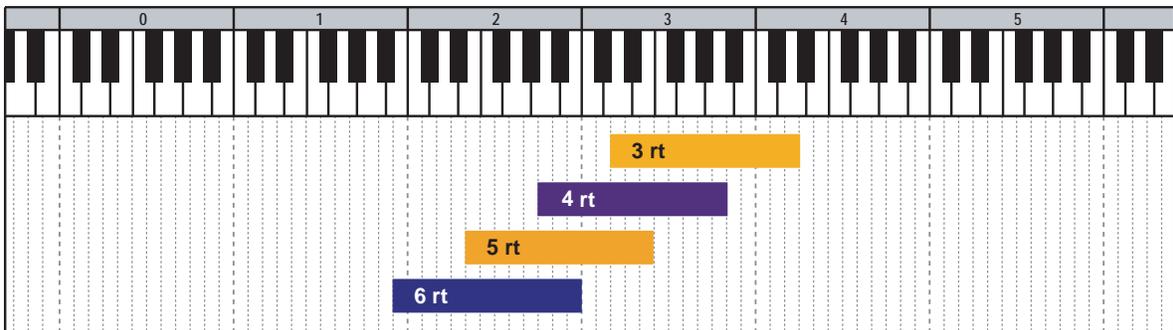
105\_octave\_slide\_down\_4fret



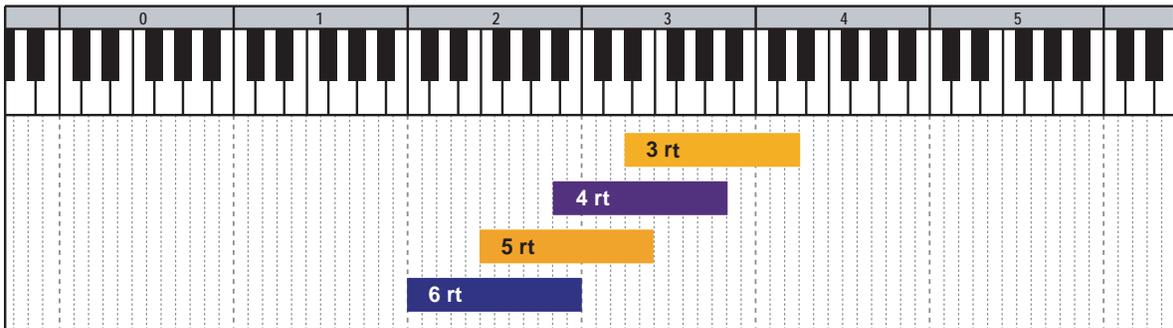
106\_octave\_slide\_down\_5fret



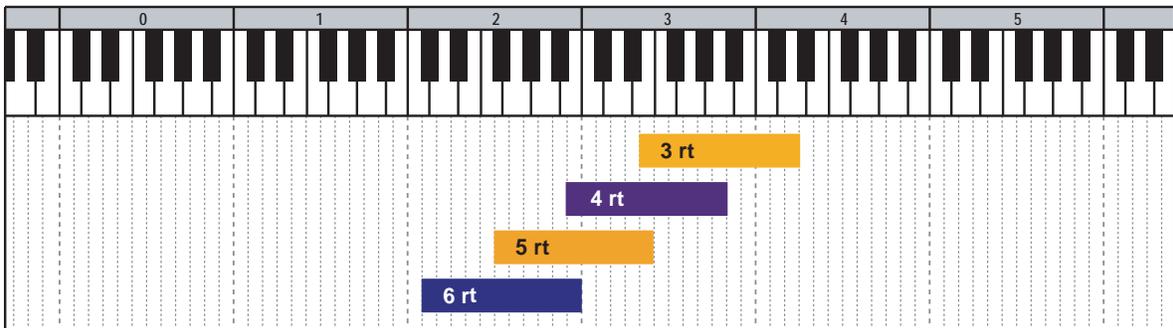
107\_octave\_slide\_down\_6fret



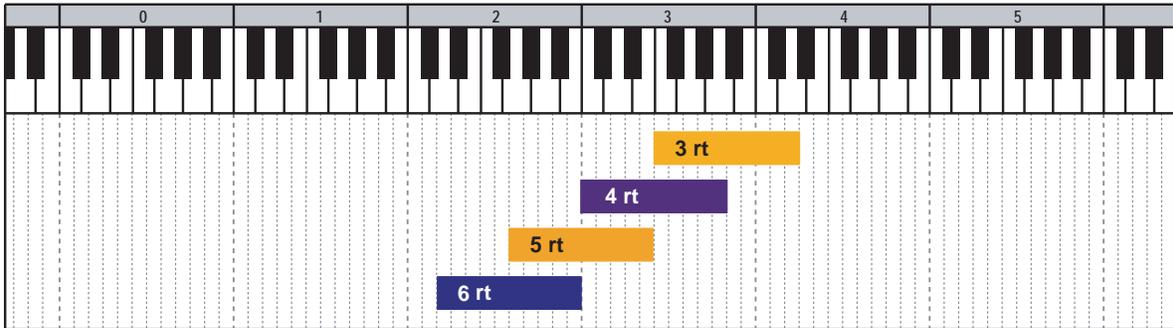
108\_octave\_slide\_down\_7fret



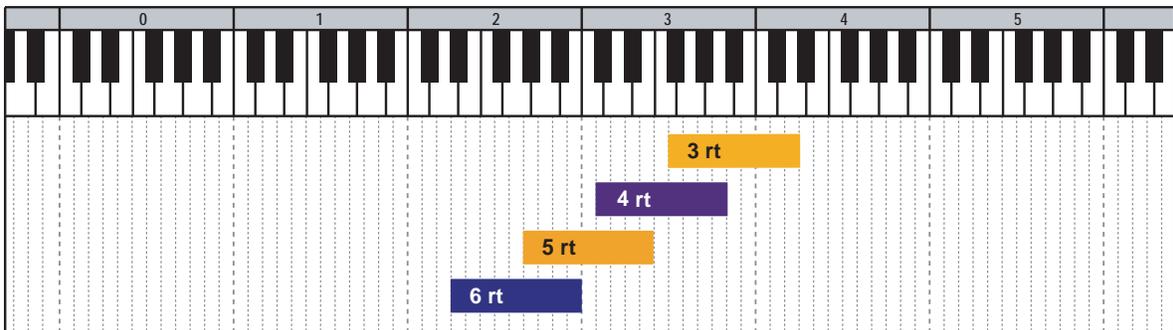
109\_octave\_slide\_down\_8fret



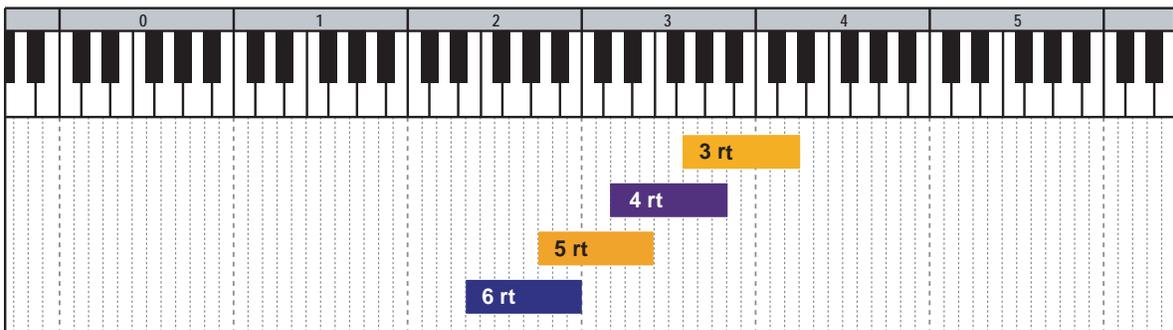
110\_octave\_slide\_down\_9fret



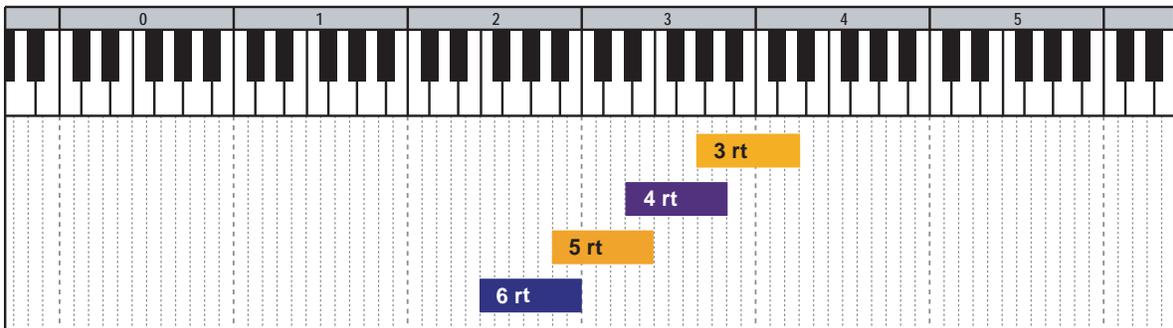
111\_octave\_slide\_down\_10fret



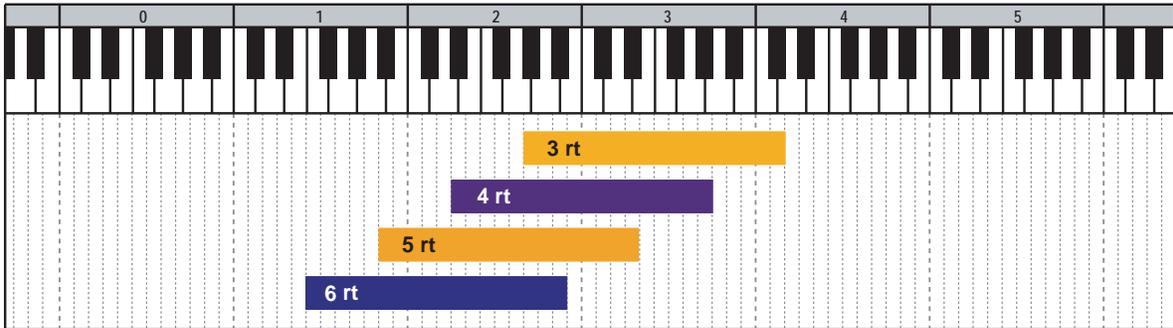
112\_octave\_slide\_down\_11fret



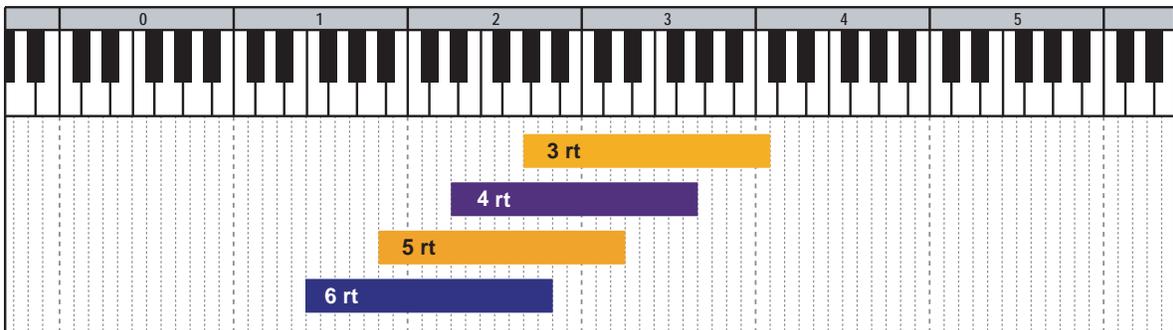
113\_octave\_slide\_down\_12fret



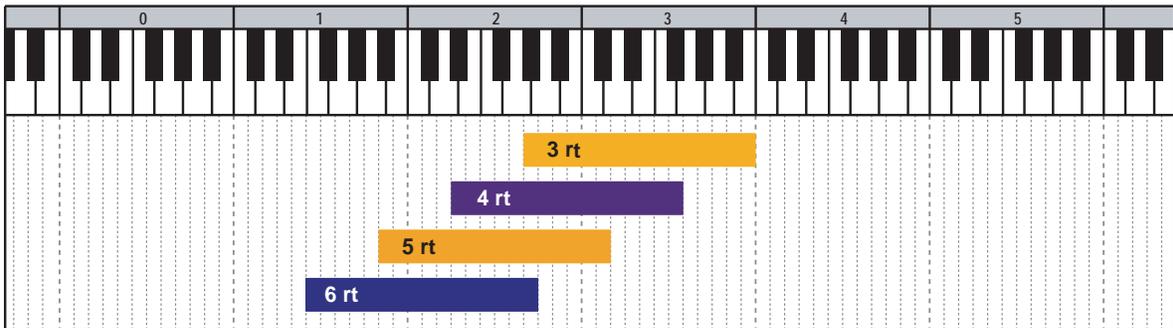
114\_octave\_slide\_up\_1fret



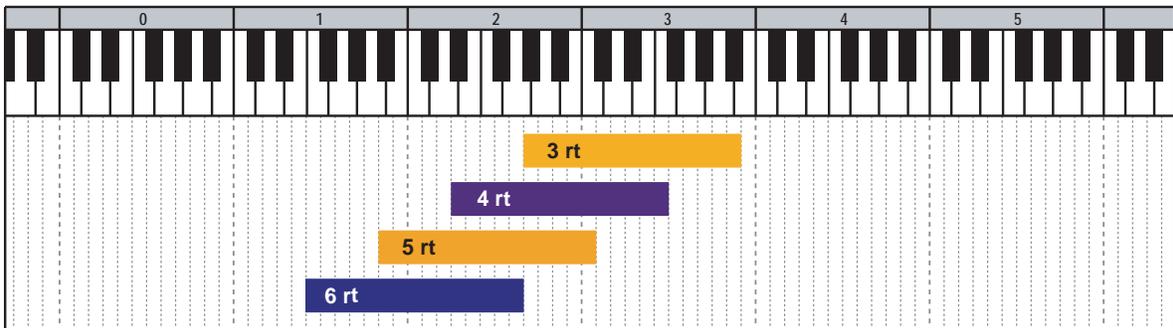
115\_octave\_slide\_up\_2fret



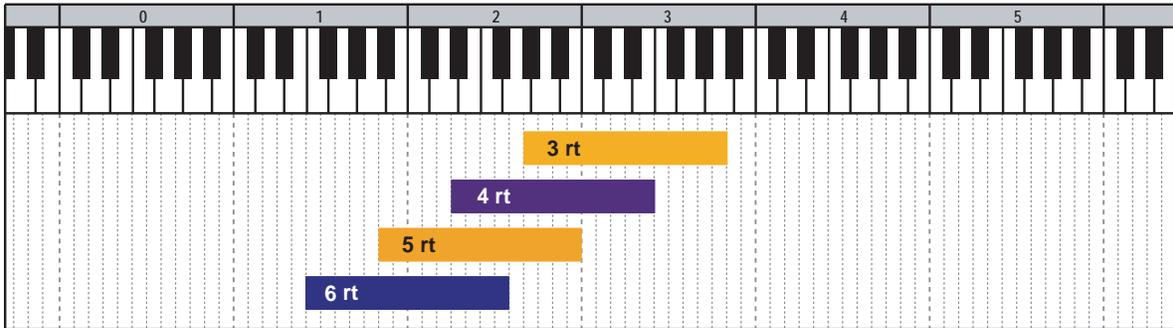
116\_octave\_slide\_up\_3fret



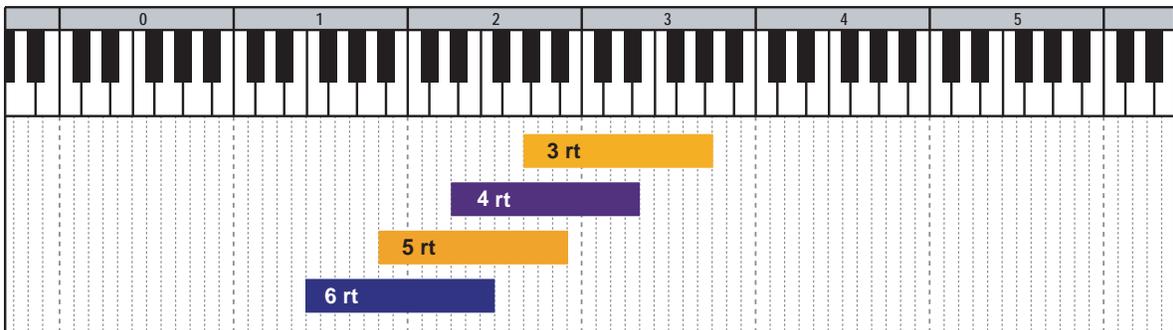
117\_octave\_slide\_up\_4fret



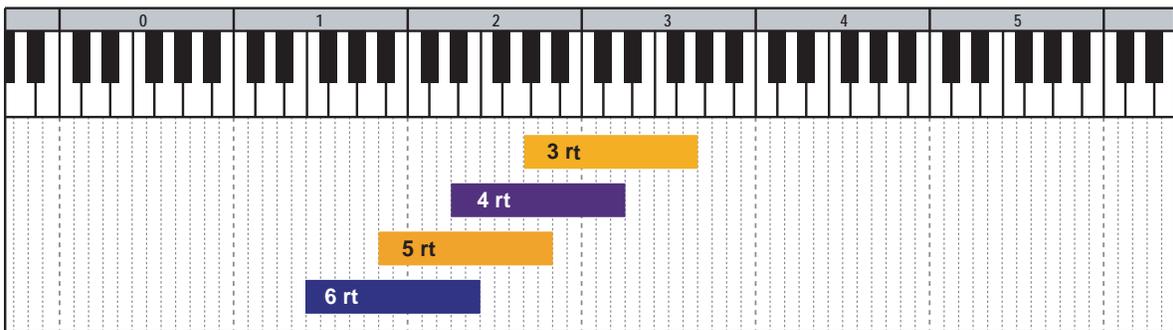
118\_octave\_slide\_up\_5fret



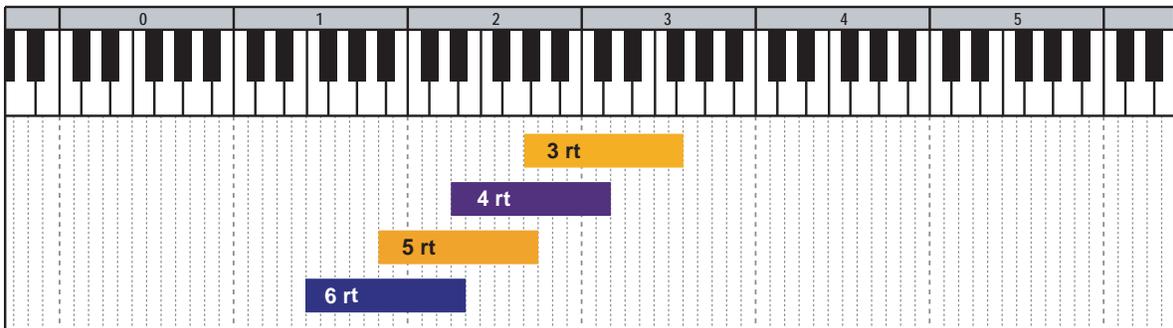
119\_octave\_slide\_up\_6fret



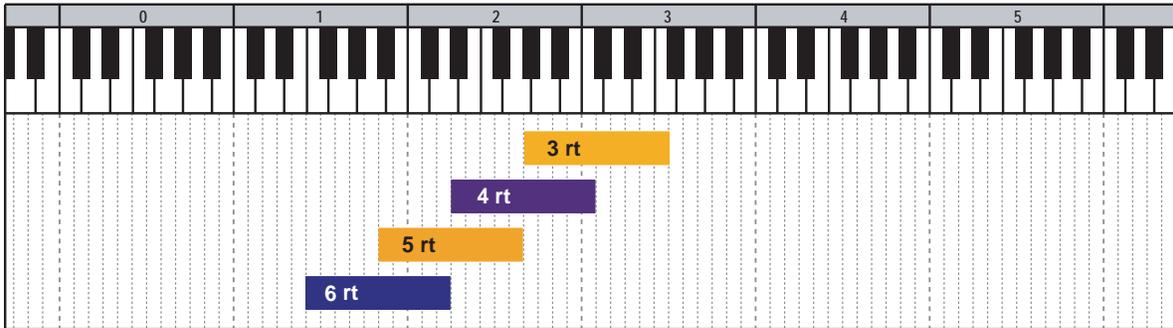
120\_octave\_slide\_up\_7fret



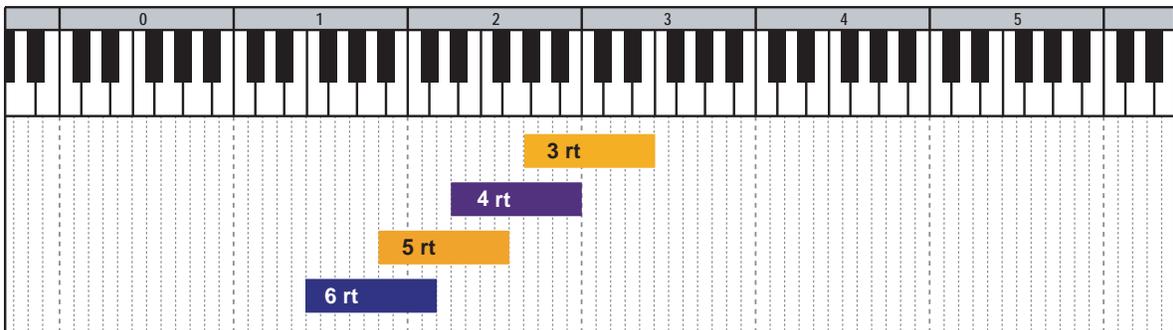
121\_octave\_slide\_up\_8fret



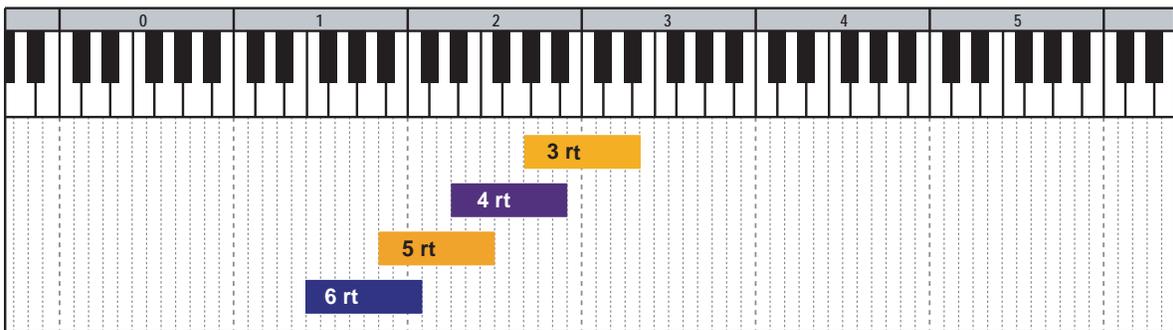
122\_octave\_slide\_up\_9fret



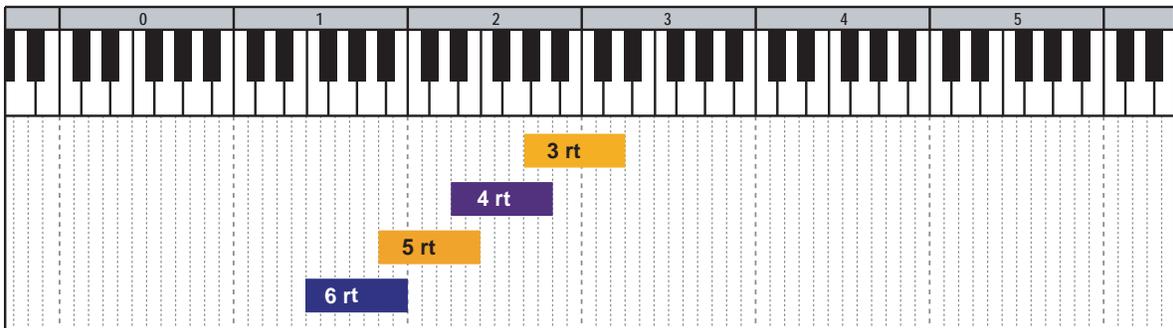
123\_octave\_slide\_up\_10fret



124\_octave\_slide\_up\_11fret

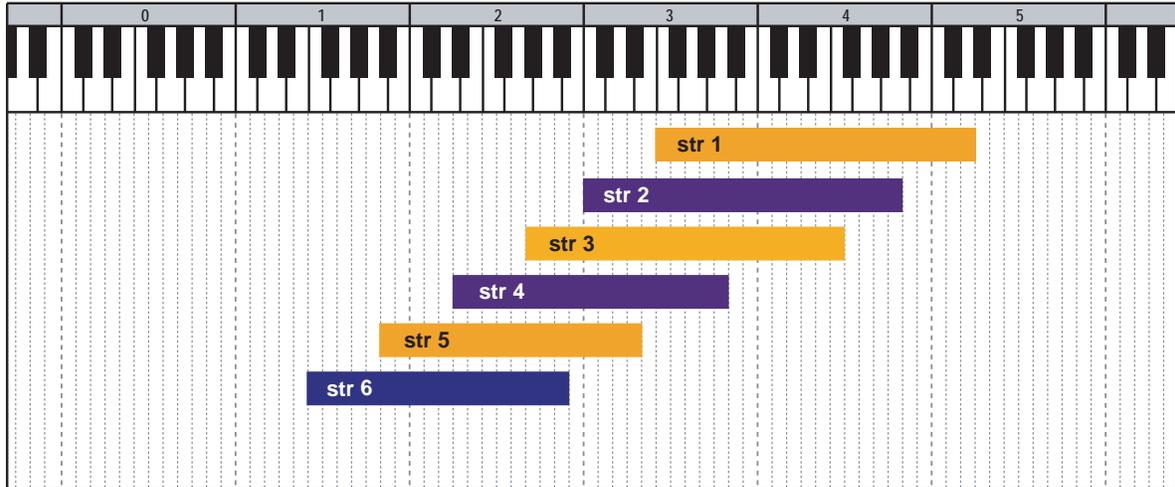


125\_octave\_slide\_up\_12fret

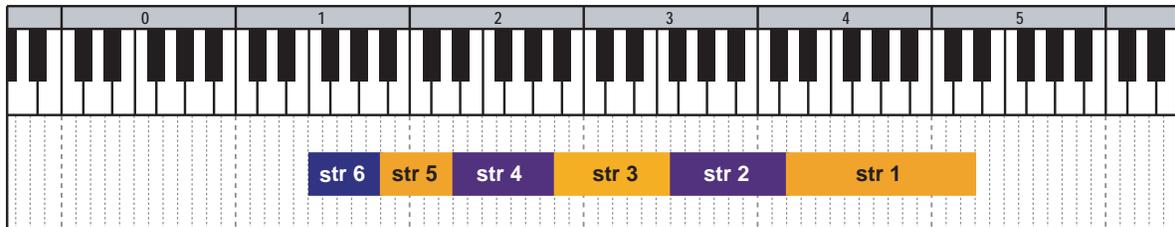


127\_single\_picking\_noise

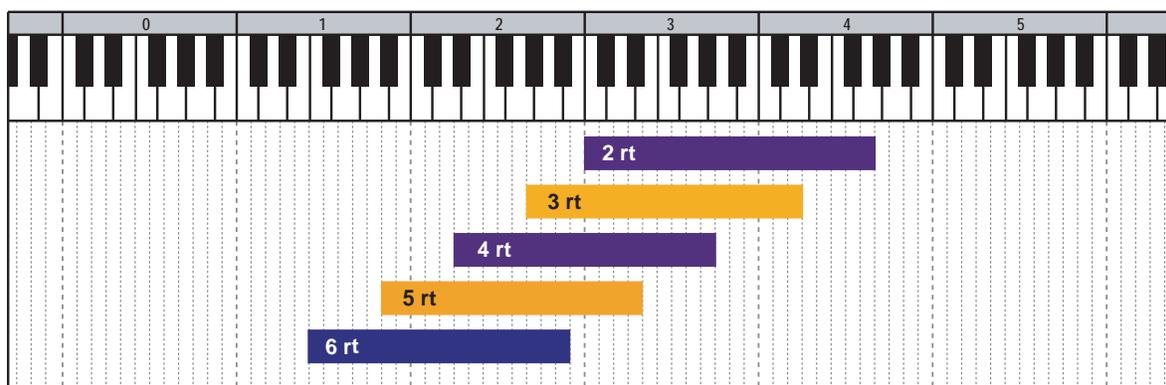
フル・マッピング



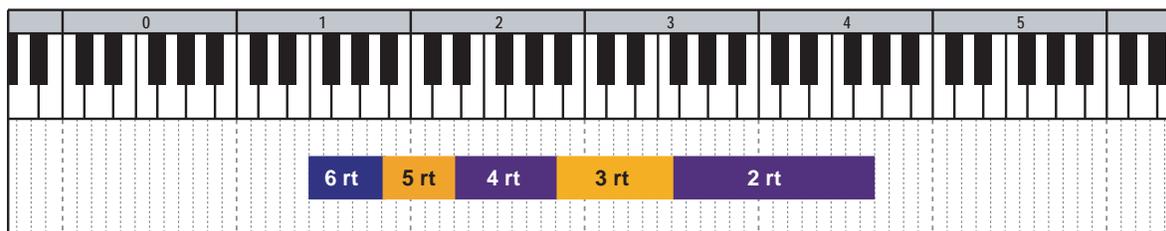
最適化・マッピング



フル・マッピング

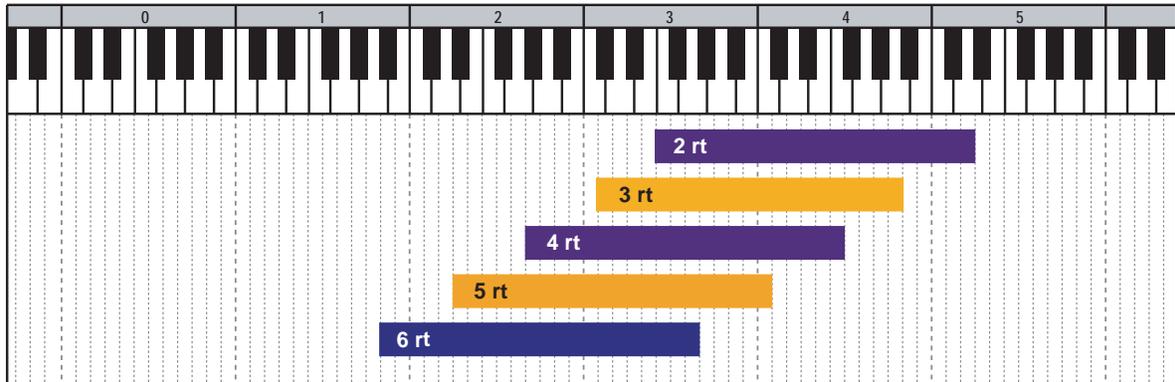


最適マッピング

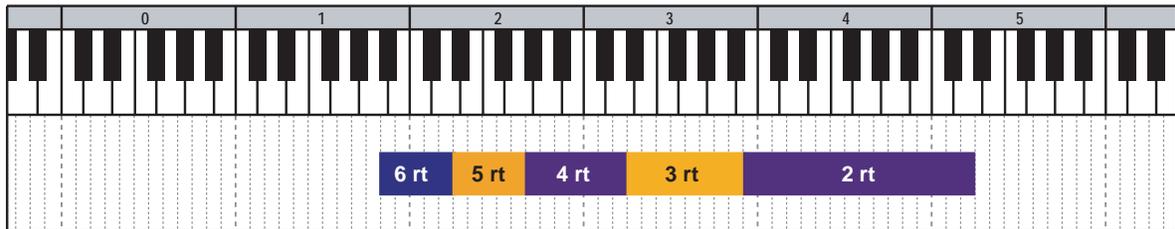


129\_4th\_picking\_noise

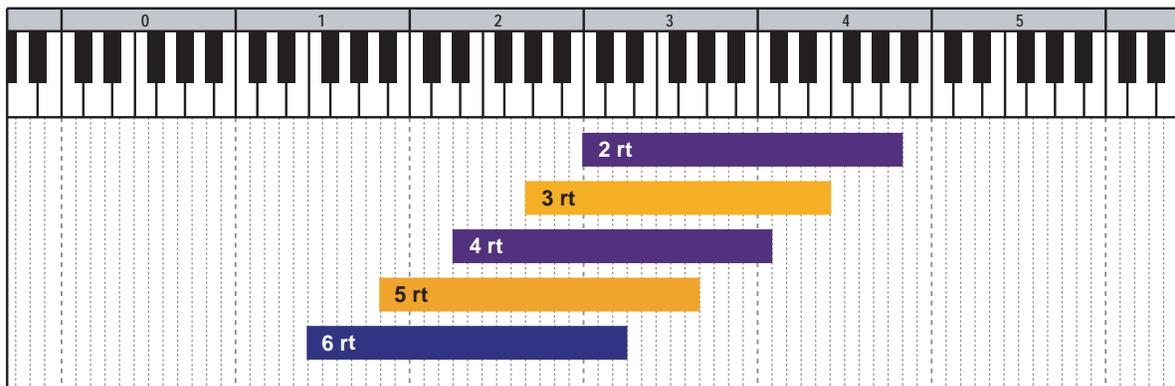
フル・マッピング (top note = key)



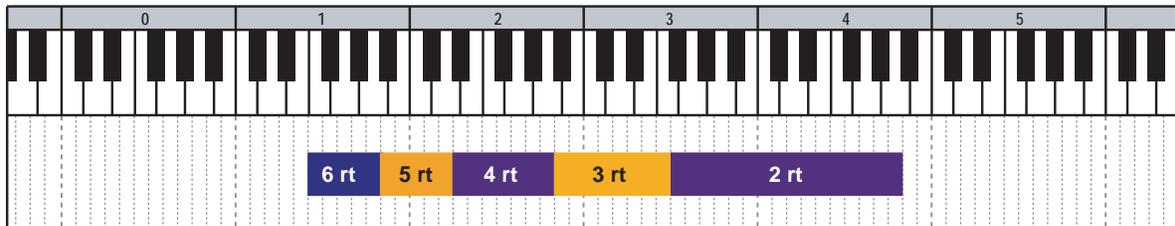
最適化・マッピング (top note = key)



フル・マッピング (bottom note = key)



最適化・マッピング (bottom note = key)



### 130\_brush\_noise

Diagram illustrating the fretboard for 130\_brush\_noise. The fretboard is divided into six fret positions (0 to 5). The noise patterns are as follows:

- form1: 6 rt down (blue box, frets 1-5)
- form2: 5 rt down (orange box, frets 2-5)
- form1: 6 rt up (purple box, frets 1-5)
- form2: 5 rt up (orange box, frets 2-5)

### 133\_fret\_noise

6弦: スライド・ダウン

Diagram illustrating the fretboard for 133\_fret\_noise. The fretboard is divided into six fret positions (0 to 5). The slide-down patterns for the 6th string are as follows:

- str 6: slide 6 frets (blue box, frets 1-6)
- str 6: slide 5 frets (purple box, frets 2-6)
- str 6: slide 4 frets (blue box, frets 3-6)
- str 6: slide 3 frets (purple box, frets 4-6)
- str 6: slide 2 frets (blue box, frets 5-6)
- str 6: slide 1 fret (blue box, frets 6-6)

5弦: スライド・ダウン

Diagram illustrating the fretboard for 133\_fret\_noise. The fretboard is divided into six fret positions (0 to 5). The slide-down patterns for the 5th string are as follows:

- str 5: slide 6 frets (orange box, frets 1-6)
- str 5: slide 5 frets (orange box, frets 2-6)
- str 5: slide 4 frets (orange box, frets 3-6)
- str 5: slide 3 frets (orange box, frets 4-6)
- str 5: slide 2 frets (orange box, frets 5-6)
- str 5: slide 1 fret (orange box, frets 6-6)

### 4弦: スライド・ダウン

A diagram illustrating the slide down technique for the 4th string. At the top, a piano keyboard is shown with fret numbers 0, 1, 2, 3, 4, and 5 marked above the strings. Below the keyboard, a series of vertical dotted lines represent the fretboard. Six blue horizontal bars are stacked vertically, each representing a slide down from a specific fret to the next lower fret: 'str 4: slide 6 frets', 'str 4: slide 5 frets', 'str 4: slide 4 frets', 'str 4: slide 3 frets', 'str 4: slide 2 frets', and 'str 4: slide 1 fret'.

### 6弦: スライド・アップ

A diagram illustrating the slide up technique for the 6th string. At the top, a piano keyboard is shown with fret numbers 0, 1, 2, 3, 4, and 5 marked above the strings. Below the keyboard, a series of vertical dotted lines represent the fretboard. Six blue horizontal bars are stacked vertically, each representing a slide up from a specific fret to the next higher fret: 'str 6: slide 6 frets', 'str 6: slide 5 frets', 'str 6: slide 4 frets', 'str 6: slide 3 frets', 'str 6: slide 2 frets', and 'str 6: slide 1 fret'.

### 5弦: スライド・アップ

A diagram illustrating the slide up technique for the 5th string. At the top, a piano keyboard is shown with fret numbers 0, 1, 2, 3, 4, and 5 marked above the strings. Below the keyboard, a series of vertical dotted lines represent the fretboard. Six orange horizontal bars are stacked vertically, each representing a slide up from a specific fret to the next higher fret: 'str 5: slide 6 frets', 'str 5: slide 5 frets', 'str 5: slide 4 frets', 'str 5: slide 3 frets', 'str 5: slide 2 frets', and 'str 5: slide 1 fret'.

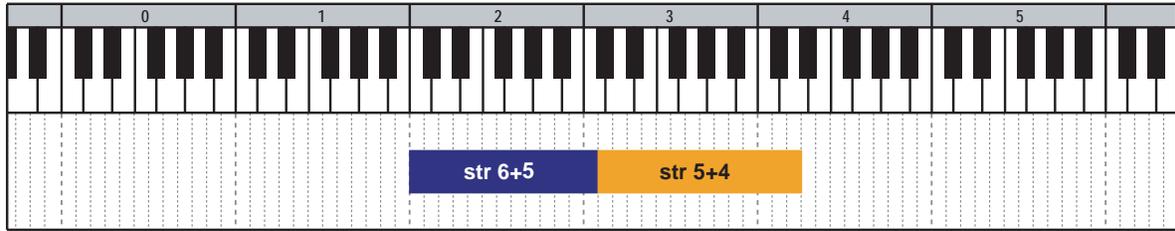
4弦: スライド・アップ

The diagram illustrates the 4th string of a guitar fretboard, divided into six fret positions labeled 0 through 5. Below the fretboard, six horizontal bars represent slide-up techniques, each labeled with its starting fret and the number of frets slid:

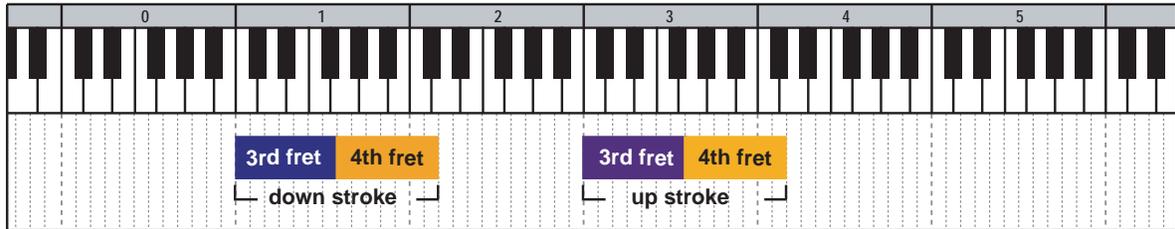
- str 4: slide 6 frets (from fret 0 to fret 6)
- str 4: slide 5 frets (from fret 1 to fret 6)
- str 4: slide 4 frets (from fret 2 to fret 6)
- str 4: slide 3 frets (from fret 3 to fret 6)
- str 4: slide 2 frets (from fret 4 to fret 6)
- str 4: slide 1 fret (from fret 5 to fret 6)

135\_other\_noise

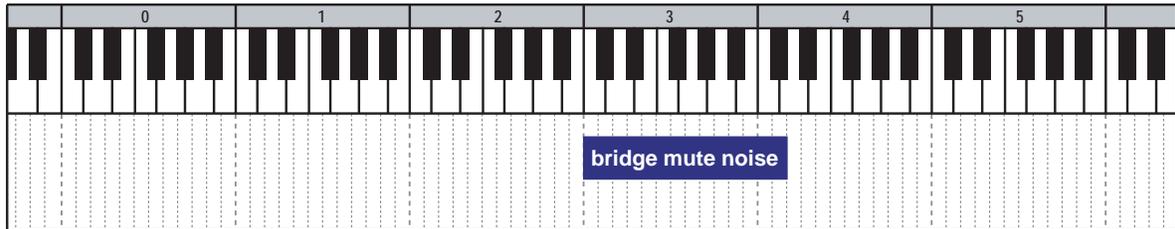
scrape (スクラッチ)



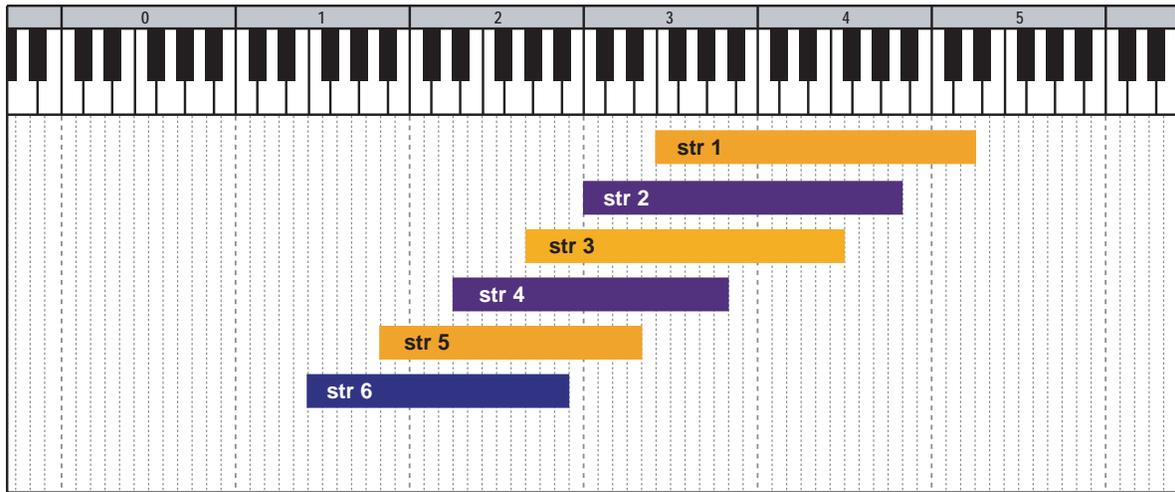
brush\_harm (ブラッシング・ノイズ+ハーモニクス)



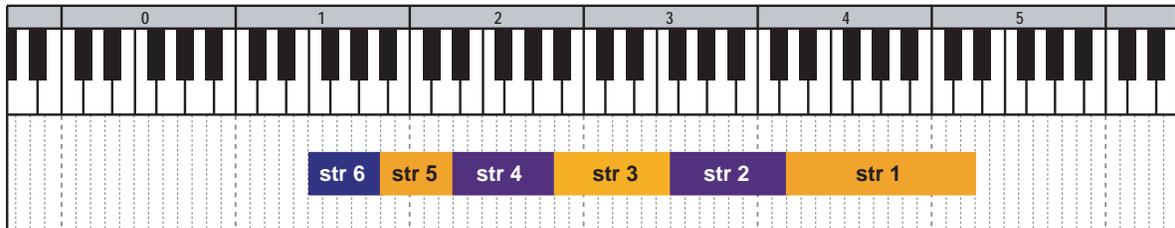
bridge\_mute\_noise (ブリッジ・ミュート・ノイズ)



finger\_rel\_noise (フィンガー・リリース・ノイズ: フル・マッピング)

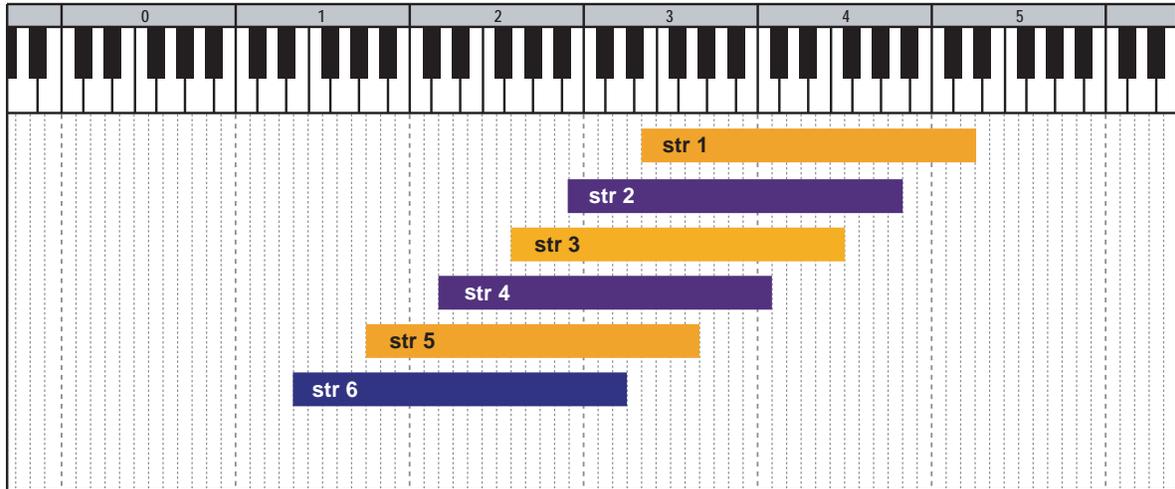


finger\_rel\_noise (フィンガー・リリース・ノイズ: オプティマイズ・マッピング)

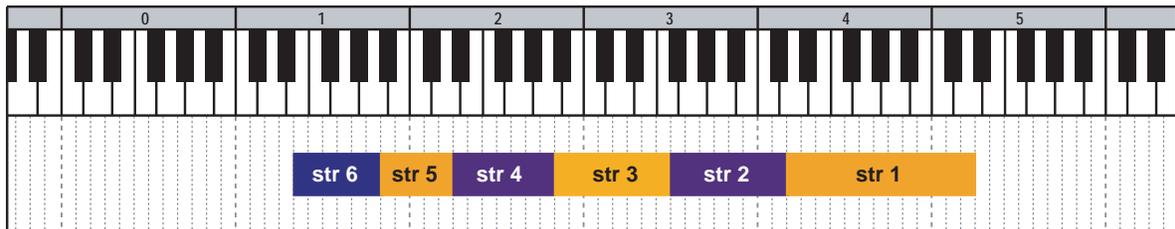


153\_pick\_stop\_noise

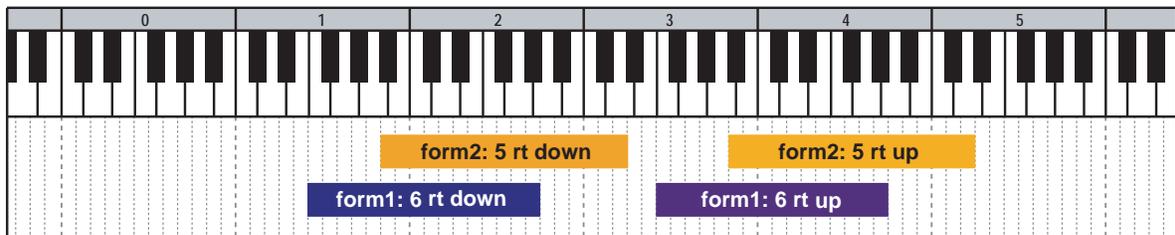
フル・マッピング



最適化・マッピング



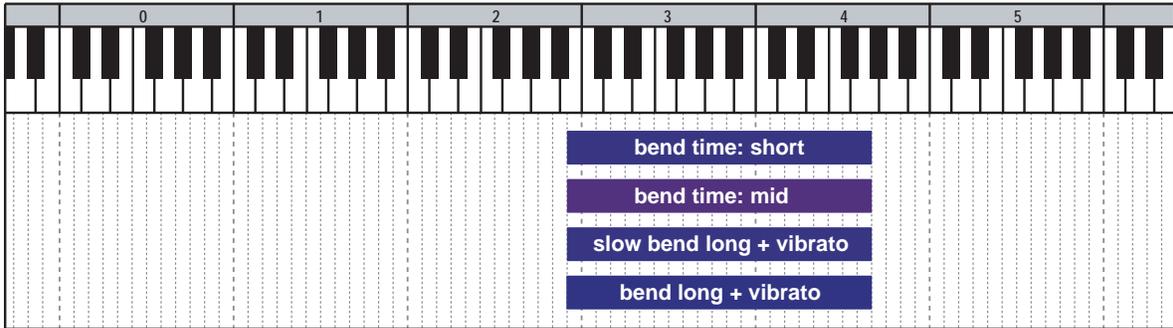
157\_crunch\_brush\_noise (ディストーション・バージョンのみに収録)



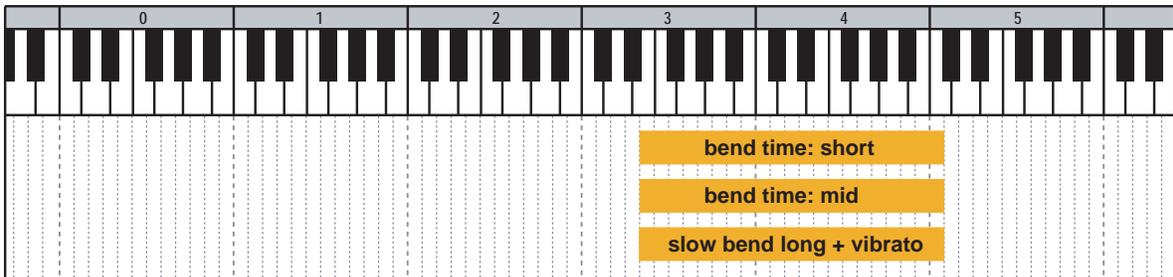
Additional bend techniques (その他のチョーキング)

136\_unison\_bend

3+2弦

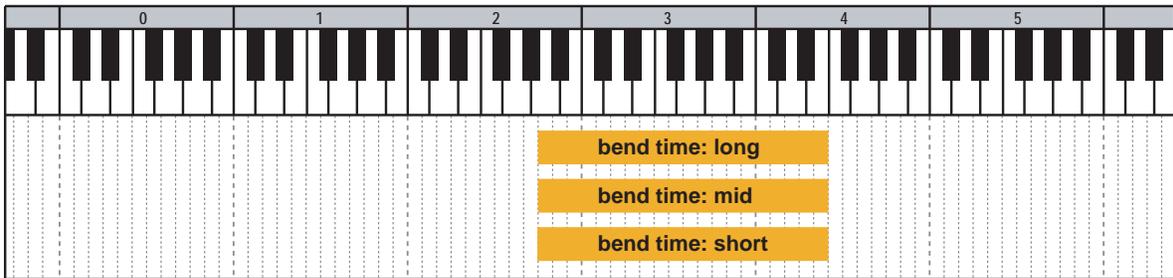


2+1弦

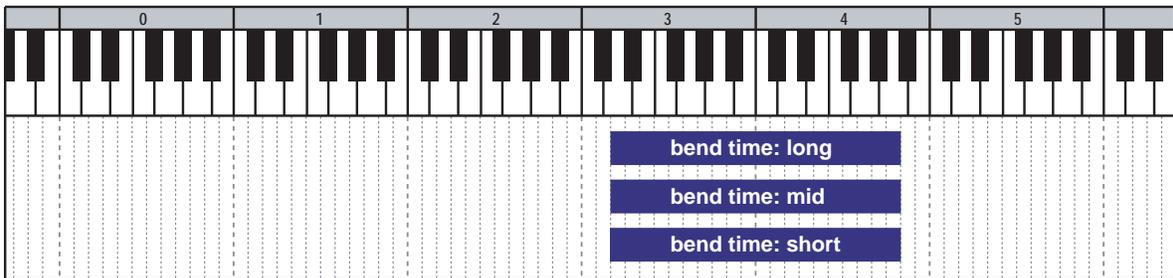


## 137\_stationary\_bend

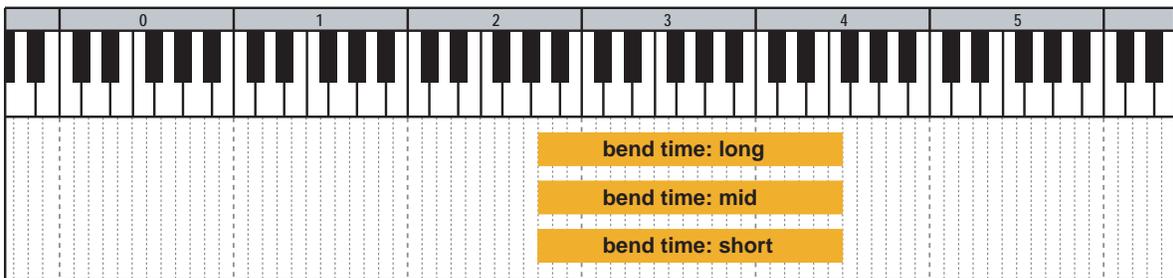
3+2弦



2+1弦



## 138\_double\_bend



## Various Chords (色々なコード)

### 139\_major

Form 1: root = string 6

Diagram illustrating the fret positions and movement directions for Form 1 (root = string 6) on a piano keyboard. The fret positions are labeled 0, 1, 2, 3, 4, and 5. The diagram shows the fretboard and the corresponding movement directions (down/up) and speeds (slow/fast) for the form.

- form1: down slow
- form1: down fast
- form1: up slow
- form1: up fast

Form 2: root = string 5

Diagram illustrating the fret positions and movement directions for Form 2 (root = string 5) on a piano keyboard. The fret positions are labeled 0, 1, 2, 3, 4, and 5. The diagram shows the fretboard and the corresponding movement directions (down/up) and speeds (slow/fast) for the form.

- form2: down slow
- form2: down fast
- form2: up slow
- form2: up fast

### 140\_minor

Form 1: root = string 1

Diagram illustrating the fret positions and movement directions for Form 1 (root = string 1) on a piano keyboard. The fret positions are labeled 0, 1, 2, 3, 4, and 5. The diagram shows the fretboard and the corresponding movement directions (down/up) and speeds (slow/fast) for the form.

- form1: down slow
- form1: down fast
- form1: up fast

Form 2: root = string 3

Diagram illustrating the fret positions and movement directions for Form 2 (root = string 3) on a piano keyboard. The fret positions are labeled 0, 1, 2, 3, 4, and 5. The diagram shows the fretboard and the corresponding movement directions (down/up) and speeds (slow/fast) for the form.

- form2: down slow
- form2: down fast
- form2: up fast

### 141\_7th

Form 1: root = string 6

Diagram of a piano keyboard showing six fret positions (0 to 5). Below the keyboard, two sets of movement instructions are provided for frets 1-2 and 3-4:

- form1: down slow
- form1: down fast
- form1: up slow
- form1: up fast

Form 2: root = string 5

Diagram of a piano keyboard showing six fret positions (0 to 5). Below the keyboard, two sets of movement instructions are provided for frets 2-3 and 4-5:

- form2: down fast
- form2: up slow
- form2: down fast
- form2: up fast

142\_m7

Form 1: root = string 6

Diagram of a piano keyboard showing six fret positions (0 to 5). Below the keyboard, two sets of movement instructions are provided for frets 1-2 and 3-4:

- form1: down slow
- form1: down fast
- form1: up slow
- form1: up fast

Form 2: root = string 5

Diagram of a piano keyboard showing six fret positions (0 to 5). Below the keyboard, two sets of movement instructions are provided for frets 2-3 and 4-5:

- form2: down slow
- form2: down fast
- form2: up slow
- form2: up fast

143\_maj7th

Form 1: root = string 6

Diagram illustrating the fret positions (0 to 5) and corresponding string forms for the 143\_maj7th chord. The diagram shows two columns of boxes representing different forms:

- Form 1: down slow
- Form 1: down fast
- Form 1: up slow
- Form 1: up fast

Form 2: root = string 5

Diagram illustrating the fret positions (0 to 5) and corresponding string forms for the 143\_maj7th chord. The diagram shows two columns of boxes representing different forms:

- Form 2: down slow
- Form 2: down fast
- Form 2: up slow
- Form 2: up fast

144\_add9

Diagram illustrating the fret positions (0 to 5) and corresponding string forms for the 144\_add9 chord. The diagram shows two columns of boxes representing different forms:

- down slow
- down fast
- up slow
- up fast

145\_7th\_9th

Diagram illustrating the fret positions (0 to 5) and corresponding string forms for the 145\_7th\_9th chord. The diagram shows two columns of boxes representing different forms:

- down slow
- down fast
- up slow
- up fast

146\_maj7th\_9th

A piano keyboard diagram showing fingerings 0 through 5. Below the keyboard, there are four orange boxes with the following text: "down slow", "down fast", "up slow", and "up fast".

147\_sus4

Form 1: root = string 6

A piano keyboard diagram showing fingerings 0 through 5. Below the keyboard, there are four blue boxes with the following text: "form1: down slow", "form1: down fast", "form1: up slow", and "form1: up fast".

Form 2: root = string 5

A piano keyboard diagram showing fingerings 0 through 5. Below the keyboard, there are four orange boxes with the following text: "form2: down slow", "form2: down fast", "form2: up slow", and "form2: up fast".

148\_dim7

Form 1: root = string 6

Diagram showing fret positions 0 through 5. Below the keyboard, there are two columns of fret positions. The left column is labeled "form1: down slow" and "form1: down fast". The right column is labeled "form1: up slow" and "form1: up fast".

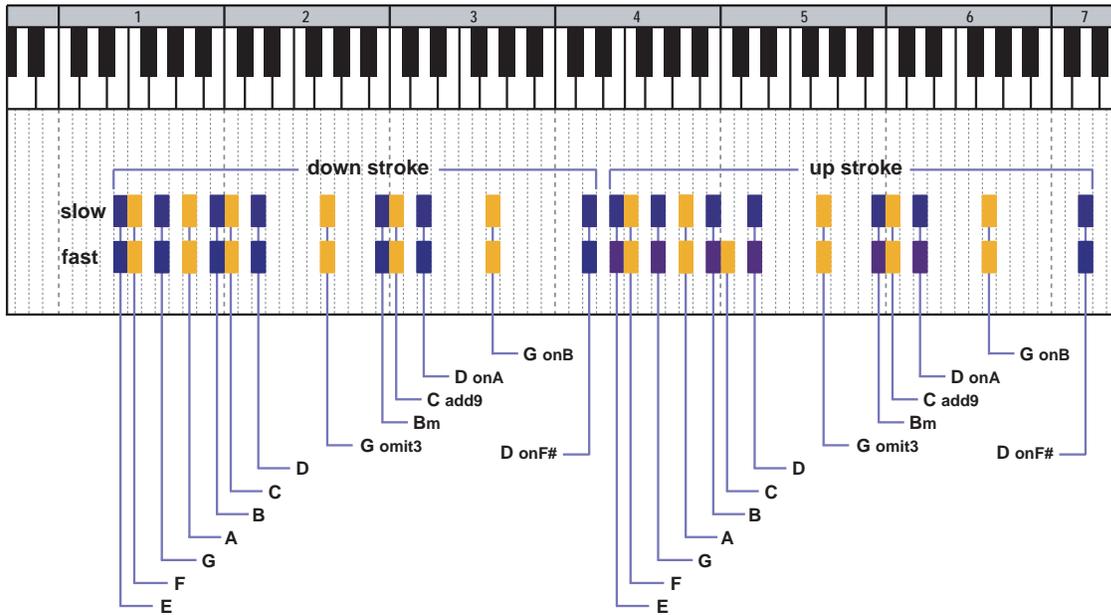
Form 2: root = string 5

Diagram showing fret positions 0 through 5. Below the keyboard, there are two columns of fret positions. The left column is labeled "form2: down slow" and "form2: down fast". The right column is labeled "form2: up slow" and "form2: up fast".

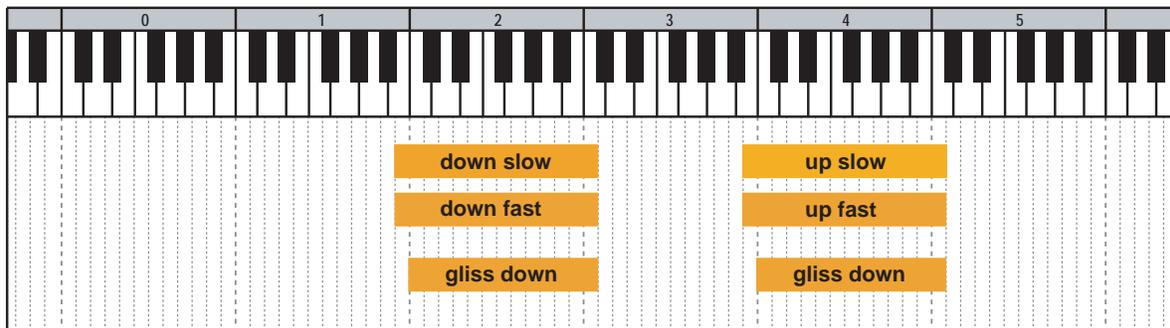
154\_major3rd\_vibrato

Diagram showing fret positions 0 through 5. Below the keyboard, there are two columns of fret positions. The left column is labeled "(down stroke)" and contains "form2: string 3+2+1", "form1: string 4+3+2", and "form1: string 4+3+2 (with picking harmonics, down stroke)". The right column is labeled "(up stroke)" and contains "form2: string 3+2+1", "form1: string 4+3+2", and "form1: string 4+3+2".

# 155\_open\_chords



# 156\_#9



## 158\_other\_chords

Diagram illustrating the fretboard for 158\_other\_chords, showing frets 0 through 5. The diagram includes a piano keyboard above and a guitar fretboard below. The fretboard is divided into two sections: 'down stroke' and 'up stroke'. Each section shows 'fast stroke' and 'slow stroke' patterns. The fast stroke patterns are represented by blue and yellow blocks, while the slow stroke patterns are represented by blue and white blocks. Lines connect the fretboard patterns to a list of chords below:

- chord 9: E = B6sus4(omit5)
- chord 8: D6<sup>(9)</sup> = A6<sup>(9)</sup>sus4 = Bm11
- chord 7: Cmaj7 = G13(omit5)
- chord 6: B11 = F#13sus4(omit5)
- chord 5: Aadd9 = E6sus4
- chord 4: G6 = D6<sup>(9)</sup>sus4(omit5) = Em7
- chord 3: F#11 = C#m13(omit5)
- chord 2: Fmaj7(#11) = Cmaj7(13)(omit5)
- chord 1: E = B6sus4(omit5)

## 159\_m7(9)

Diagram illustrating the fretboard for 159\_m7(9), showing frets 0 through 5. The diagram includes a piano keyboard above and a guitar fretboard below. The fretboard is divided into two sections: 'down stroke' and 'up stroke'. Each section shows 'slow' and 'fast' stroke patterns. The slow stroke patterns are represented by orange blocks, and the fast stroke patterns are represented by white blocks.

# Credits

## **Produced and Programmed by**

AKIHITO OKAWA

## **Guitar Performance**

AKIHITO KINOSHITA

## **Audio Editing**

AKIHITO OKAWA

HOZO OKAZAKI

## **Demo Music**

AKIHITO OKAWA

HOZO OKAZAKI

## **Executive Producer**

Akira Sato

## **Thanks to;**

Native Instruments GmbH(Germany), Nick Batzdorf (Virtual Instruments Magazine, USA), Flavio Gargano CM2 (CM2, ITALY), Matt Houghton (Sound on Sound Magazine, UK), Thomas Raukamp (Beat Magazine, Germany), Keyboard Magazine (USA), Geary Yelton (Electronic Musician, USA), Gino Robair (Electronic Musician, USA), EQ magazine (USA), Computer Music (UK), Gerhardt Kusche (Amazona.de), Thorsten Walter (Amazona.de), Keyboards (Germany), Kevin Becka (Mix magazine, USA), Garth Hjelte (Chicken Systems, Inc.) Sound Designer (JAPAN), Sound & Recording Magazine (JAPAN), Akira Ishiguro, Keyboard Magazine (JAPAN), Northern Sound Source, Sonic Control, VI Control, KVR, Harmony Central, Audio Franzine, Synthtopia, best service GmbH(Germany), Prima Gakki (Japan), audioMIDI.com (USA), West LA Music (USA), Music Studio Direct (USA), JRR shop (USA), Summit Consultation & Custom Sales LLC (USA), ScitScat Music (USA), Soundabout Music (USA), Solotech Quebec Inc. (Canada), Rage Audio (Spain), HIT PRODUKCIJA d.o.o. (Croatia), Audio Chocolate (Australia), Yuka, Tsubasa, Komomo

**LPC Electric Guitar User's Manual**

V2.50

July 2009

Copyright © 2004 – 2009 Prominy All rights reserved.



URL: <http://prominy.com>

Email: [info@prominy.com](mailto:info@prominy.com)